

亀山公園庭球場便所新築工事

R 5 . 3



株式会社 阿波設計事務所 三重支店

< 意匠図 >

< 構造図 >

< 電気設備図 >

< 機械設備図 >

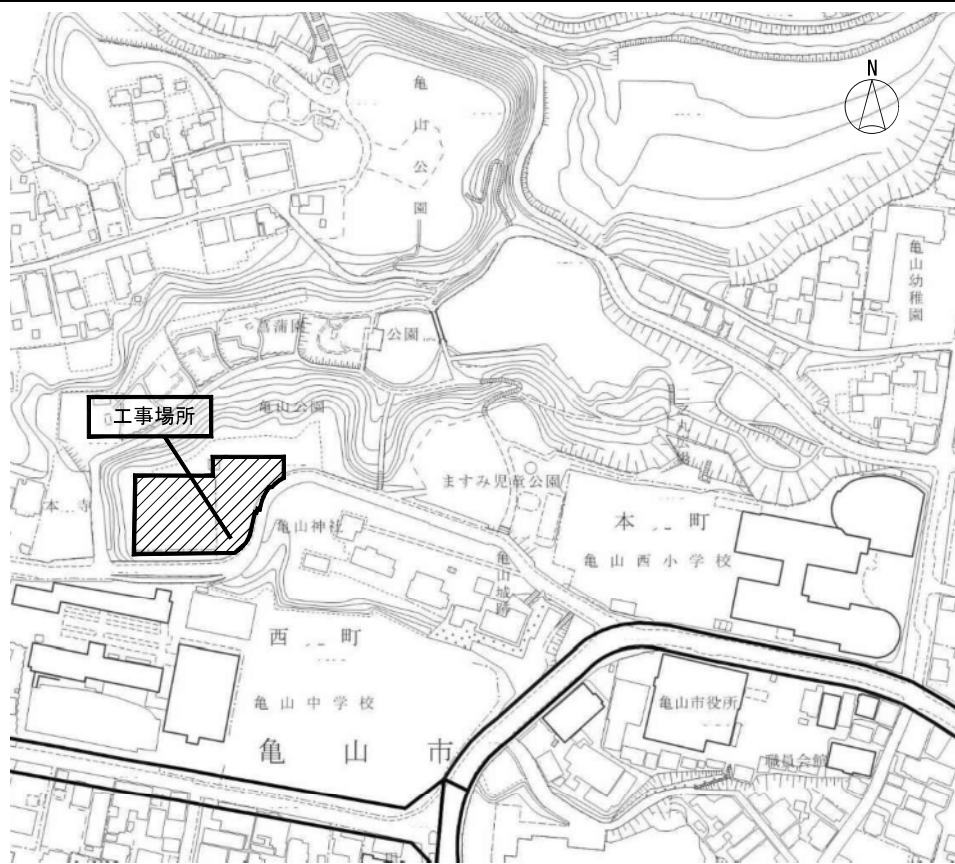
A-01 付近見取図・建築概要
A-02 特記仕様書(1)
A-03 特記仕様書(2)
A-04 特記仕様書(3)
A-05 特記仕様書(4)
A-06 特記仕様書(5)
A-07 特記仕様書(6)
A-08 特記仕様書(7)
A-09 特記仕様書(8)
A-10 敷地求積図・建物求積図
A-11 外部仕上表・内部仕上表
A-12 全体配置図(1)
A-13 全体配置図(2)
A-14 配置図
A-15 平面図・屋根伏図
A-16 立面図
A-17 断面図
A-18 短計図(1)
A-19 短計図(2)
A-20 平面詳細図
A-21 展開図(1)
A-22 展開図(2)
A-23 天井伏図
A-24 建具表
A-25 雜詳細図

A-26 屋根詳細図
A-27 外構図
A-28 外構詳細図(1)
A-29 外構詳細図(2)
A-30 新築時仮設計面図

S-01 構造特記仕様書
S-02 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
S-03 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
S-04 柱状図
S-05 基礎伏図・基礎リスト
S-06 1階床伏図
S-07 木工事特記仕様書
S-08 伏図・部材リスト
S-09 軸組図

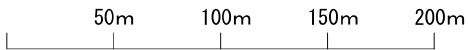
E-01 電気設備特記仕様書
E-02 改修後配置図
E-03 盤結線図・照明器具姿図
E-04 コンセント設備平面図
E-05 電灯設備平面図
E-06 既設撤去図

M-01 機械設備 特記仕様書
M-02 換気設備 機器表、平面図
M-03 給排水衛生設備 器具表、凡例
M-04 給排水衛生設備 配置図
M-05 給排水衛生設備 平面詳細図
M-06 給排水衛生設備 既設配置図



工事場所

付近見取図 1 : 2500



■ 建築概要

工事名称	亀山公園庭球場便所新築工事				
地名地番	三重県亀山市西丸町字西丸566番1の一部				
主要用途	公衆便所				
用途地域	1. 第1種低層住居専用 2. 第2種低層住居専用 9. 近隣商業 10. 商業	3. 第1種中高層住居専用 4. 第2種中高層住居専用 10. 準工業 11. 工業	5. 第1種住居 6. 第2種住居 12. 準工業 13. 工業専用	7. 準住居 8. 田園住居 14. 指定無	
地区	都市計画区域内 区域区分非設定				
防火地域	1. 防火	2. 準防火	3. 指定なし		
その他の区域	法22条地域、都市計画公園（亀山公園）				
建蔽率	60%（角地適用 有 無 %）				
容積率	200%（12m未満道路巾員による容積率 6.72×0.4=268 %）				
日影規制	1. 有10（M以上）（5時間 3時間 水平測定面 GL+ 4 m） 2. 無				
構造	1. SRC造 4. W造	2. RC造 5. CB造	3. S造 6. WRC造	2階建	
敷地面積	2,495.09㎡				
最高軒高さ	2.520m		最高高さ	3.700m	
建築面積	増築：68.07㎡	既設：17.28㎡	延床面積	増築：66.41㎡	既設：17.28㎡
	合計：85.35㎡			合計：83.69㎡	
建蔽率	3.42%		容積率	3.36%	

注記

変更	月.日		

工事名称

亀山公園庭球場便所新築工事



阿波設計事務所 三重支店
二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
豊 慎 昌

図面名称

付近見取図・建築概要

日付

校閲

製図

縮尺

1:2500

図面No.

A / 01

<p>1. 工事概要</p> <p>1. 工事場所 三重県 亀山市 西町 地内</p> <p>2. 敷地面積 約2,005.09㎡</p> <p>3. 工事種別</p> <p>1) 公共施設 水造 1階建 (地下 0階)</p> <p>建築基準法品類</p> <p>建築面積 68.07㎡</p> <p>延べ面積 66.41㎡</p> <p>4. 工 期 契約締結日の翌日から 令和 6年 1月 31日 まで</p>	<p>特記仕様書</p> <p>1. 適用基準</p> <p>2. 関係法令等</p> <p>3. 別契約の関連工事</p> <p>4. 設計GL</p> <p>5. 電気電気設備等</p> <p>6. 発注者の処理等</p> <p>7. 環境への配慮</p> <p>8. 材料の品質等</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び仕様標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。</p> <p>2) 本設計図書における「標準仕様」とは、次の基準を指す。</p> <p>3) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>4) 設計GL</p> <p>5) 電気電気設備等</p> <p>6) 発注者の処理等</p> <p>7) 環境への配慮</p> <p>8) 材料の品質等</p>	<p>特記事項</p> <p>1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び仕様標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。</p> <p>2) 本設計図書における「標準仕様」とは、次の基準を指す。</p> <p>3) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>4) 設計GL</p> <p>5) 電気電気設備等</p> <p>6) 発注者の処理等</p> <p>7) 環境への配慮</p> <p>8) 材料の品質等</p>
<p>注記</p>	<p>変更</p>	<p>工事名称</p>	<p>図面名称</p> <p>特記仕様書 (1)</p> <p>製図 縮尺</p> <p>日付</p> <p>図面No.</p> <p>A / 02</p>



阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 橋 昌

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). Includes sections for 4. 地盤工事 (Groundwork), 4.1 基礎の処理等 (Foundation treatment), 4.2 基礎の中心位置 (Foundation center), 4.3 基礎のコンクリート同士の接合 (Foundation concrete joint), 4.4 基礎のコンクリート施工 (Foundation concrete construction), 4.5 基礎のコンクリート養生 (Foundation concrete curing), 4.6 基礎のコンクリート養生 (Foundation concrete curing), 4.7 基礎のコンクリート養生 (Foundation concrete curing), 4.8 基礎のコンクリート養生 (Foundation concrete curing).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). Includes sections for 5. 鉄筋工事 (Reinforcement work), 5.1 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.2 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.3 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.4 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.5 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.6 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.7 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.8 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.9 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.10 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.11 鉄筋の位置 (Reinforcement position), 5.12 鉄筋の位置 (Reinforcement position).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). Includes sections for 6. 土留工事 (Soil retention work), 6.1 土留工事 (Soil retention work), 6.2 土留工事 (Soil retention work), 6.3 土留工事 (Soil retention work), 6.4 土留工事 (Soil retention work), 6.5 土留工事 (Soil retention work), 6.6 土留工事 (Soil retention work), 6.7 土留工事 (Soil retention work), 6.8 土留工事 (Soil retention work), 6.9 土留工事 (Soil retention work), 6.10 土留工事 (Soil retention work), 6.11 土留工事 (Soil retention work), 6.12 土留工事 (Soil retention work).

Table with 4 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Remarks), 項目 (Item), 特記事項 (Remarks). Includes sections for 7. 鉄骨工事 (Steelwork), 7.1 スタッフ (Staff), 7.2 スタッフ (Staff), 7.3 スタッフ (Staff), 7.4 スタッフ (Staff), 7.5 スタッフ (Staff), 7.6 スタッフ (Staff), 7.7 スタッフ (Staff), 7.8 スタッフ (Staff), 7.9 スタッフ (Staff), 7.10 スタッフ (Staff), 7.11 スタッフ (Staff), 7.12 スタッフ (Staff).

項目	特記事項
1. 特殊コンクリートブロック工法	ブロックの種類等 (表2.2) 断面形状及び 圧縮強度による区分 モルタルの割合 (容積比) (表2.3) 各別の配筋 (表2.5) ※断面による () ※モルタルはコンクリートで充填するブロックの範囲 ※断面による ()
2. コンクリートブロック組立壁及び扉	ブロックの種類等 (表2.4) 断面形状及び 圧縮強度による区分 ※圧入ブロック (1階) ※特殊ブロック (2階) 扉の厚さ (表2.6) 壁脚部の継手、定着及び完成後の折り曲り形状 (表2.4) ※断面による () 各別の配筋 (表2.4) ※断面による ()
3. 丸口パネル	パネルの区分 単位荷重 (N/m) 厚さ (mm) 幅 (mm) 耐火性能 加工 積法の種類 ※耐火性能 加工 積法の種類 ※耐火性能 加工 積法の種類
4. 開口部埋め込み工法 (表2.7)	パネルの種類 形状 長さ (mm) 幅 (mm) 工法の種類 備考 ※耐火性能 加工 積法の種類 ※耐火性能 加工 積法の種類
5. アスファルト防水	単層保護防水 防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材(有) ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件 ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件

項目	特記事項
9. 防水工事	屋根露出防水断熱断熱工法の場合、ルーフレンドリ及び立上り部周辺の断熱材の張りし位置 ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
2. 改質アスファルトシート防水	防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材(有) ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
3. 合成高分子系ルーフレンドリ防水	防水層の種類 種別 施工箇所 断熱材(有) ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件

項目	特記事項
9. 防水工事	ルーフレンドリの種類及び厚さ 種別 厚さ ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
4. 塗膜防水	防水層の種類 (表2.8, 表2.9, 表2.10) 種別 施工箇所 断熱材(有) ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
5. ケイ酸系塗布防水	防水層の種類 (表2.11, 表2.12) 種別 施工箇所 断熱材(有) ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
⑩ シーリング	シーリングの種類 (表2.13, 表2.14) 種別 施工箇所 断熱材(有) ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
7. 施工	石材の割付け ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
10. 石工事	天然石 種別 等級 形状及び寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面仕上げの種類 備考 ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
8. 石材、石材等	天然石 種別 等級 形状及び寸法 (mm) 厚さ (mm) 表面仕上げの種類 備考 ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件

項目	特記事項
10. 石工事	石置込み処理 ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
3. 外壁造り工法	受金物 材質 ※SIS304 形状及び寸法 L175×75×6(mm)の加工 長さ100mm L75×75×6(mm)の加工 長さ150mm アンカーの材質及び寸法 ※S400 M12 ※と他アンカーの材質及び寸法等 () フレキシブルの材質 ※樹脂 ネットメッシュ クロスウェーブ巻き 25-25 石置込み処理 ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
4. 内装壁工法	受金物 材質 ※SIS304 形状及び寸法 L75×75×6(mm)の加工 長さ 100mm L75×75×6(mm)の加工 長さ 150mm アンカーの材質及び寸法 ※S400 M12 ※と他アンカーの材質及び寸法等 () 石置込み処理 ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
5. 乾式工法	乾式工法の方式による受金物の種類、形状、寸法等 () 取付け方法 ※スライド方式 ※ロッキング方式 アンカーの材質及び寸法 ※SIS304 M10 ※と他アンカーの材質及び寸法等 () 石置込み処理 ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
6. 床及び階段の石張り	床石張りの石置込み処理 ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
7. アーチ、上げ梁等の石張り	取付け工法 ※内装壁工法 ※乾式工法 取付け金物 構造仕様書(表2.2)(3) 材質 ※ステンレス (SIS304) 寸法 引金物 ※SIS304 径6mm長さ80mm (加工物) 化剤用リール ※SIS304 M10化剤用リール付き ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件
8. 石材、石材等の石張り	取付け工法 ※内装壁工法 ※乾式工法 取付け金物 構造仕様書(表2.2)(3) 材質 ※SIS304 寸法 引金物 ※SIS304 径6mm長さ80mm (加工物) 化剤用リール ※SIS304 M10化剤用リール付き ※断熱材の種類 ※断熱材の厚さ ※断熱材の施工方法 ※断熱材の施工場所 ※断熱材の施工時期 ※断熱材の施工条件

<p>11. 1. 伸張調整目地及びひびき処理目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1.1.1による 目地付き ※表示</p> <p>2. セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>3. 有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>⑩ 表面仕上げ</p> <p>⑪ 装材</p> <p>⑫ 造作用集材</p>	<p>特記事項</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の造作用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の造作用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p>	<p>12. 1. 伸張調整目地及びひびき処理目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1.1.1による 目地付き ※表示</p> <p>2. セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>3. 有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>⑩ 表面仕上げ</p> <p>⑪ 装材</p> <p>⑫ 造作用集材</p> <p>13. 1. 伸張調整目地及びひびき処理目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1.1.1による 目地付き ※表示</p> <p>2. セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>3. 有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>⑩ 表面仕上げ</p> <p>⑪ 装材</p> <p>⑫ 造作用集材</p> <p>14. 1. 伸張調整目地及びひびき処理目地 位置 ※標準仕様書表11.1.1.1.1による 目地付き ※表示</p> <p>2. セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>3. 有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>⑩ 表面仕上げ</p> <p>⑪ 装材</p> <p>⑫ 造作用集材</p>	<p>特記事項</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の造作用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」による化粧りり構造用集材</p> <p>「集材の日本産林産物」以外の化粧りり構造用集材</p>
<p>注記</p> <p>変更</p> <p>月 日</p>	<p>工事名称</p> <p>園名</p> <p>工務所</p>		<p>日付</p> <p>図面 No.</p> <p>製図 縮尺</p>



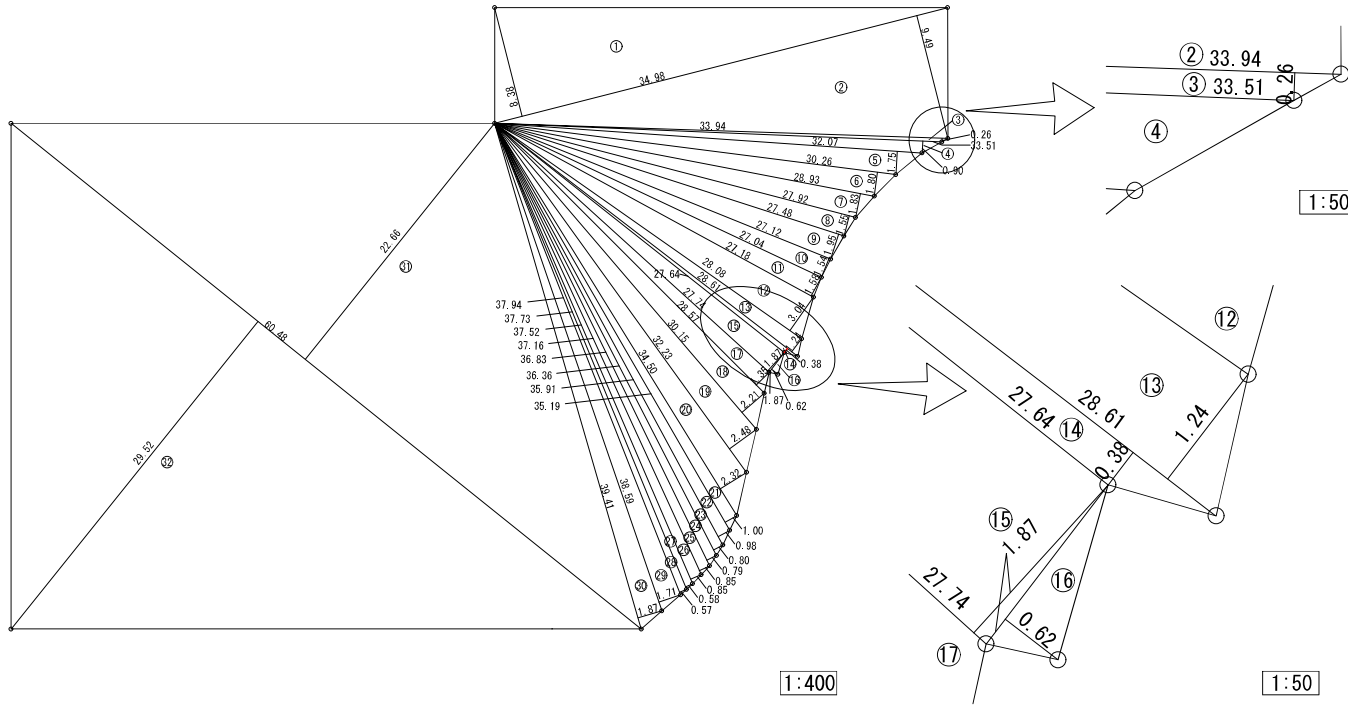
20 ニュータイプの住宅工事
① トイレブース
⑤ 扉
⑩ 表示
⑪ 換気ライニング
⑫ フラインド
⑬ ロールスクリーン
⑭ カーテン
⑮ カーテンレール
⑯ プライドボックス及びカーテンボックス
⑰ 天井点検口

18 床点検口
19 耐震スリット
20 止水板
21 エキスパンションジョイント金物
22 くつきマット
23 洗しユニット
24 旗竿
25 窓枠金物
26 車止めさく
27 フェンス
28 プレキャストコンクリート
29 間接石及びコンクリート間接ブロック
30 床の裏材の取付け金物
31 壁交換取出口
32 設備基礎
33 洗濯カウンター
34 多量排水用排水たけ式ベド
35 保水層

20 トイレレンク
30 換気扇ボックス
40 金物・丸鋼
41 郵便受
42 窓内枠取付
43 壁外換気扇
44 屋根
45 敷地境界石積
21 排水工事
② 排水・排水槽
③ 排水・排水槽
④ グレーチング
⑤ 排水工事

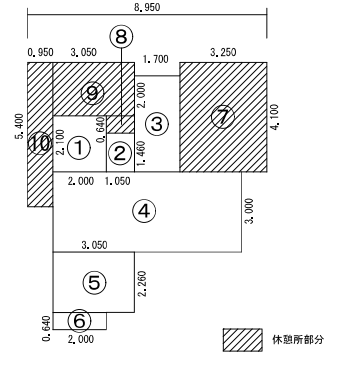
22 換気工事
② 階段
③ アスファルト舗装
④ コンクリート舗装
5 カラー舗装
6 透水性アスファルト舗装
7 ブロック系舗装

業 項目	特記事項	業 項目	特記事項	業 項目	特記事項	業 項目	特記事項																																																																																		
22 舗装工事	<p>・インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>単位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※普通ブロック(N)</td> <td>車道</td> <td>・四角</td> <td>※80</td> <td>※5.0</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>※透水性ブロック(P)</td> <td>・歩道</td> <td>・四角</td> <td>※80</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※保水性ブロック(M)</td> <td>・歩道</td> <td>・四角</td> <td>※80</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※普通ブロック(N)</td> <td>歩行者用</td> <td>・四角</td> <td>※60</td> <td>※3.0</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※透水性ブロック(P)</td> <td>・歩道</td> <td>・四角</td> <td>※60</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※保水性ブロック(M)</td> <td>・歩道</td> <td>・四角</td> <td>※60</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・型締めモルタル 歩行者用通路に適用する普通ブロックは図(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは図(透水性コンクリート)とする。 仕上げ面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・砕石舗装</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>形状・寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・花崗岩</td> <td>・四角</td> <td>・</td> <td>・うろこ張り</td> <td>・コンクリート層</td> <td>※70</td> </tr> <tr> <td>・砕石</td> <td>・四角</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・アスファルト混合物</td> <td>※50</td> </tr> </tbody> </table> <p>クッション材 ※砂 ・型締めモルタル 仕上げ面の平坦性 ※歩行に支障となる段差がないものとし、砕石間の段差は3mm以内とする。</p> <p>⑧ 砂利敷き 種類 ・A種 (舗工範囲: ※道路 ・四角) (2.2.9.2) ・B種 (舗工範囲: ※建物周囲その他) ()</p> <p>⑨ 路面標示用塗料 路面標示用塗料は JIS K 5665 による。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>線幅 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※3種1号</td> <td>塗膜</td> <td>粉体状</td> <td>白</td> <td>○50</td> <td>○2.0</td> </tr> <tr> <td>・1種</td> <td>塗膜</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>・100</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・2種</td> <td>塗膜</td> <td>粉体状</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑩ 車止めブロック 既製品 P C製 アンカー止め 寸法W600 反射板付</p>	種類	単位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※普通ブロック(N)	車道	・四角	※80	※5.0	表面加工	※透水性ブロック(P)	・歩道	・四角	※80	・	・	※保水性ブロック(M)	・歩道	・四角	※80	・	・	※普通ブロック(N)	歩行者用	・四角	※60	※3.0	・	※透水性ブロック(P)	・歩道	・四角	※60	・	・	※保水性ブロック(M)	・歩道	・四角	※60	・	・	種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)	・花崗岩	・四角	・	・うろこ張り	・コンクリート層	※70	・砕石	・四角	・	・	・アスファルト混合物	※50	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	線幅 (mm)	※3種1号	塗膜	粉体状	白	○50	○2.0	・1種	塗膜	液状	・	・100	・	・2種	塗膜	粉体状	・	・	・	12. 園上緑化図 (2.3.5.2~4)	<p>植栽基礎及び材料 園上緑化システム 土層間の厚さ ・窓枠 ・ 幹線管材 (管の厚さ:) ・板状成形品 排水層 透水性用土 ※改土 ・人工軽質土 樹木、芝及び地被類の植栽又は移植、寸法、株立数等 ※図示 剪切り材、雑草材、排水孔、マルチング材等 ※図示 (高さ・性能等) ・(試験方法) ※建築材料等品質性能表による</p> <p>・園上緑化システム 樹木、芝及び地被類の植栽並びに移植、寸法、株立数等 ※図示 剪切り材、雑草材、排水孔、マルチング材等 ※図示 (高さ・性能等) ・(試験方法) ※建築材料等品質性能表による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定める風圧力の (+1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 支柱 ・設置する (形式 ・窓枠 ・) かん水装置 ・設置する (種類 ・)</p>	13. 樹名板	<p>・ 図示</p>
種類	単位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																																																																																				
※普通ブロック(N)	車道	・四角	※80	※5.0	表面加工																																																																																				
※透水性ブロック(P)	・歩道	・四角	※80	・	・																																																																																				
※保水性ブロック(M)	・歩道	・四角	※80	・	・																																																																																				
※普通ブロック(N)	歩行者用	・四角	※60	※3.0	・																																																																																				
※透水性ブロック(P)	・歩道	・四角	※60	・	・																																																																																				
※保水性ブロック(M)	・歩道	・四角	※60	・	・																																																																																				
種類	形状・寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																				
・花崗岩	・四角	・	・うろこ張り	・コンクリート層	※70																																																																																				
・砕石	・四角	・	・	・アスファルト混合物	※50																																																																																				
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	線幅 (mm)																																																																																				
※3種1号	塗膜	粉体状	白	○50	○2.0																																																																																				
・1種	塗膜	液状	・	・100	・																																																																																				
・2種	塗膜	粉体状	・	・	・																																																																																				
23 植栽及び樹上緑化工事	<p>1. 植栽地の確認等 土壌の水素イオン濃度指数 (pH) 試験 ・行う ・行わない (2.3.1.3) 電気伝導率 (EC) の試験 ・行う ・行わない</p> <p>2. 植栽基礎の整備 樹木の植栽基礎の整備 ○適用する ・適用しない (2.3.2.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>工法</th> <th>有効土厚の厚さ (cm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">○樹木</td> <td>※A種</td> <td>樹高12m以上 (※100・120・150)</td> <td>・葉張り部分</td> <td>○適用する</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>樹高10m以上~12m未満 (※80・100)</td> <td>○植栽部分</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td>樹高8m以上~10m未満 (※60・80)</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・D種</td> <td>樹高3m未満 (※50・60)</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※芝、地被</td> <td>※B種</td> <td>※20</td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>・焼</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・図示</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>植栽基礎の排水設備 ・取付る (※図示 ・) ○取付けない</p> <p>3. 植込み用土 ・弱塩性土壌改良土 ○腐土 (2.3.2.3)</p> <p>4. 土壌改良材 土壌改良材の適用 ○適用する ・適用しない (2.3.2.3) 埋戻及び増設等 ○一ヶ所埋戻区 植工箇所 ※植栽範囲 ○別示 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり ○0L () 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト) 図 腐土製所 ※植栽範囲 ・図示 使用量 植栽基礎面積1㎡あたり (・) 10L () 材料 [作業を含む作業現場]に係る判定基準を定める者(令)の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、音が認められないものとする。</p> <p>5. 樹木 樹種、寸法、株立数等 ※図示 (2.3.3.2)</p> <p>6. 支柱 支柱材 ※丸太 (樹皮材) 図 ・真竹 (2.3.3.2.3) 防腐処理方法 ※加圧防腐処理丸太材 形式 ・図示</p> <p>7. 幹巻き用材料 材料 ※幹巻きテープ ・わら及びこも (2.3.3.2)</p> <p>8. 芝 種類 (2.3.4.2.3) ※コウライシバ ・ノシバ 芝巻きの工法 平巻 ※目地張り ・べた張り 法巻 ※目地張り ※べた張り</p> <p>9. 吹付けは種 (2.3.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量 (g/㎡)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※洋芝類 (採取後2年以内)</td> <td>※発芽率80%以上</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>10. 地植え (2.3.4.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>⑪ 新植、芝等の保証、移植樹木の移植期間 新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の移植後の期間 ※引渡しの日から1年 ・無し 移植樹木の移植期間 ※引渡しの日から1年 ・無し</p>	種別	工法	有効土厚の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材	○樹木	※A種	樹高12m以上 (※100・120・150)	・葉張り部分	○適用する	・B種	樹高10m以上~12m未満 (※80・100)	○植栽部分	・適用しない	・C種	樹高8m以上~10m未満 (※60・80)	・図示	・	・D種	樹高3m未満 (※50・60)	・	・	※芝、地被	※B種	※20	・植栽部分	・適用する	・焼	・	・	・図示	・適用しない	種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考	・	・	・	・	※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上	・	・	樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数	・	・	・	・	23 植栽及び樹上緑化工事	<p>③ 植込み用土 (2.3.2.3)</p> <p>④ 土壌改良材 (2.3.2.3)</p> <p>⑤ 樹木 (2.3.3.2)</p> <p>⑥ 支柱 (2.3.3.2.3)</p> <p>⑦ 幹巻き用材料 (2.3.3.2)</p> <p>⑧ 芝 (2.3.4.2.3)</p> <p>⑨ 吹付けは種 (2.3.4.2)</p> <p>⑩ 地植え (2.3.4.2)</p> <p>⑪ 新植、芝等の保証、移植樹木の移植期間 (2.3.3.4.6) (2.3.4.7)</p>																																		
種別	工法	有効土厚の厚さ (cm)	整備範囲	土壌改良材																																																																																					
○樹木	※A種	樹高12m以上 (※100・120・150)	・葉張り部分	○適用する																																																																																					
	・B種	樹高10m以上~12m未満 (※80・100)	○植栽部分	・適用しない																																																																																					
	・C種	樹高8m以上~10m未満 (※60・80)	・図示	・																																																																																					
	・D種	樹高3m未満 (※50・60)	・	・																																																																																					
※芝、地被	※B種	※20	・植栽部分	・適用する																																																																																					
・焼	・	・	・図示	・適用しない																																																																																					
種子の種類	発芽率	種子の量 (g/㎡)	備考																																																																																						
・	・	・	・																																																																																						
※洋芝類 (採取後2年以内)	※発芽率80%以上	・	・																																																																																						
樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数																																																																																						
・	・	・	・																																																																																						



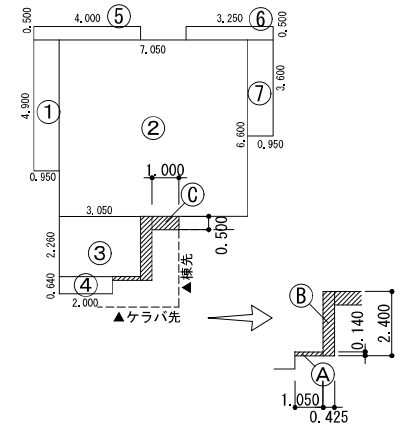
番号	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (㎡)	面積 (㎡)	番号	底辺 (m)	高さ (m)	倍面積 (㎡)	面積 (㎡)
1	34.98	8.38	293.13240	146.56620	19	32.23	2.48	79.93040	39.96520
2	34.98	9.49	331.96020	165.98010	20	34.50	2.32	80.04000	40.02000
3	33.94	0.26	8.82440	4.41220	21	35.19	1.00	35.19000	17.59500
4	33.51	0.90	30.15900	15.07950	22	35.91	0.98	35.19180	17.59590
5	32.07	1.75	56.12250	28.06125	23	36.36	0.80	29.08800	14.54400
6	30.26	1.80	54.46800	27.23400	24	36.83	0.79	29.09570	14.54785
7	28.93	1.83	52.94190	26.47095	25	37.16	0.85	31.58600	15.79300
8	27.92	1.55	43.27600	21.63800	26	37.52	0.85	31.89200	15.94600
9	27.48	1.95	53.58600	26.79300	27	37.73	0.58	21.88340	10.94170
10	27.12	1.54	41.76480	20.88240	28	37.94	0.57	21.62580	10.81290
11	27.18	1.58	42.94440	21.47220	29	38.59	1.71	65.98890	32.99445
12	28.08	3.04	85.36320	42.68160	30	39.41	1.87	73.69670	36.84835
13	28.61	1.24	35.47640	17.73820	31	60.48	22.66	1370.47680	685.23840
14	28.61	0.38	10.87180	5.43590	32	60.48	29.52	1785.36960	892.68480
15	27.74	1.87	51.87380	25.93690					
16	1.87	0.62	1.15940	0.57970					
17	28.57	1.35	38.56950	19.28475					
18	30.15	2.21	66.63150	33.31575					
敷地面積 合計					2495.09015				
					2495.09				

記号	延べ床面積 (㎡)				
公衆便所					
①	2.100 × 2.000	4	2000		
②	1.460 × 1.050	1	5300		
③	3.600 × 1.700	6	1200		
④	3.000 × 7.050	21	1500		
⑤	2.260 × 3.050	6	8930		
⑥	0.640 × 2.000	1	2800		
⑥	小計			41	1760
休憩所					
⑦	4.100 × 3.250	13	3250		
⑧	0.640 × 1.050	0	6720		
⑨	2.000 × 3.050	6	1000		
⑩	0.950 × 5.400	5	1300		
⑩	小計			25	2270
計				66	4030



延べ床面積求積図 1:200

記号	建築面積 (㎡)				
①	4.900 × 0.950	4	6550		
②	6.600 × 7.050	46	5300		
③	2.260 × 3.050	6	8930		
④	0.640 × 2.000	1	2800		
⑤	0.500 × 4.000	2	0000		
⑥	0.500 × 3.250	1	6250		
⑦	3.600 × 0.950	3	4200		
⑧	0.140 × 1.050	0	1470		
⑨	2.400 × 0.425	1	0200		
⑩	0.500 × 1.000	0	5000		
計				68	0700



建築面積求積図 1:200

…屋根後退算入部分

注記

変更	月 日		工事名称
			亀山公園庭球場便所新築工事

亀山公園庭球場便所新築工事

阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 慎 昌

図面名称	敷地求積図・建物求積図	日付	
校閲		製図	箱尺
		図示	図面 No. A / 10

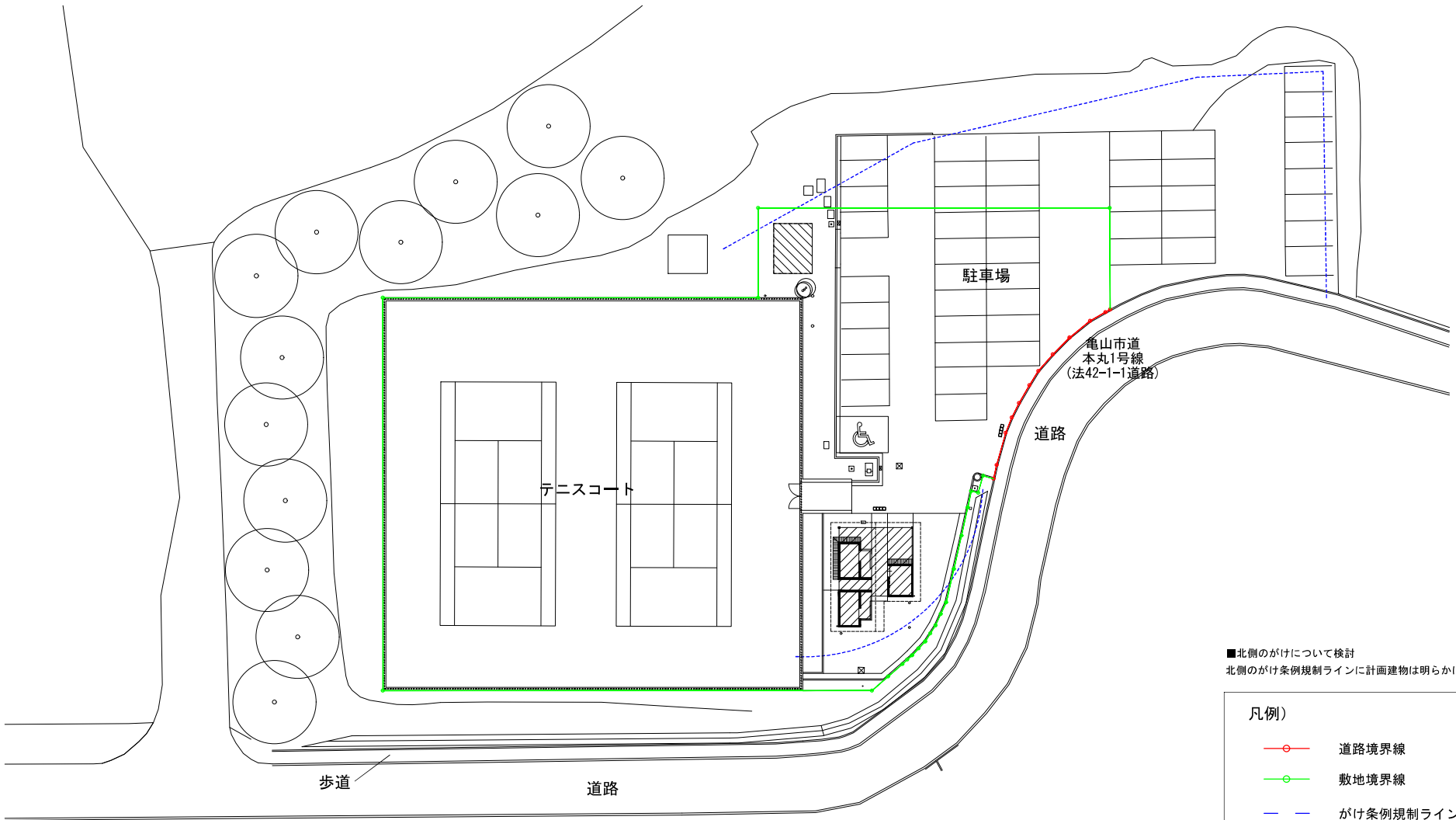
■外部仕上表

屋根	平形屋根用スレート t5.2	腰	RC打放し補修の上、薄塗モルタル t5	
	改質ASルーフィング t1.0・野地板：構造用合板 t12 特類		ベンチ：RC直均しの上、杉板(小節) 24×150 WP 木下地	
	母屋：45×135@500下地		軒裏	C L T 現し WP 塗
	破風板、鼻隠し：繊維混入セメントケイカル押出成形板 14×240(塗装品)			
外壁	窯業系サイディング t14 (塗装品) 横張(釘打工夫)	雨樋	軒樋：塩ビ製(落ち葉除けネット共)	
	木縦胴縁 15×45@500下地、透湿防水シート(標準品) 共		堅樋：カラーVP 75A ・ 鎖樋カラーガルバリウム鋼板(SUS杭共)	
	土台水切：カラーガルバリウム鋼板製 t0.35			
	軒裏見切：カラーガルバリウム鋼板製 t0.35			

■内部仕上表

室名	床仕上レベル		床		巾木		壁		天井		廻縁	内装制限	備考
	スラブレベル	下地	仕上	仕上	下地	仕上	下地	仕上					
男子トイレ	SGL+30	MO	塗床	薄塗MO t5	W	外壁同材	—	C L T 現し WP 塗	軒裏見切同材	—	小便器手摺、汚垂石、配管バック、板塀、化粧鏡		
	SGL-20										小便器フック、L型手摺、紙巻器、手洗いカウンター		
女子トイレ	SGL+30	MO	塗床	薄塗MO t5	W	外壁同材	—	C L T 現し WP 塗	軒裏見切同材	—	配管バック、板塀、L型手摺、紙巻器、化粧鏡		
	SGL-20										手洗いカウンター		
多機能トイレ	SGL+30	MO	塗床	薄塗MO t5	W	外壁同材	—	C L T 現し WP 塗	軒裏見切同材	—	L型手摺、跳上手摺、配管バック、ベビーチェア、紙巻器		
	SGL-20										フィッティングボード、おむつ替台、背もたれ、フック、化粧鏡		
休憩スペース	SGL+30	—	C直均し	薄塗MO t5	W	外壁同材	—	C L T 現し WP 塗	軒裏見切同材	—	ベンチ、緑台(別途工事)		
	SGL+30							柱型：WP 塗					
通路1	SGL+30	—	C洗出し	薄塗MO t5	W	外壁同材	—	C L T 現し WP 塗	軒裏見切同材	—	—		
	SGL+30												
通路2	SGL+30	—	C直均し	薄塗MO t5	W	外壁同材	—	C L T 現し WP 塗	軒裏見切同材	—	—		
	SGL+30												

<下地・仕上 略号>						<注記>
RC	鉄筋コンクリート	C L T	直交集成板	塗床	エポキシ樹脂系塗床	・外壁サイディング製品寸法は、t14 455×3030 塗装品 コーナー役物：外壁同材 t14 70×70×3030 塗装品とする。
C	コンクリート	A S	アスファルト			・土台水切、軒裏見切(外壁取合い)、破風板・鼻隠し、透湿防水シート、付属金物は外装メーカー専用品とする。
MO	モルタル					・外壁サイディングは塗壁調とすること。
W	木					・C L Tと屋根材の懐には、設備配管・配線を行う為母屋の配置等は十分に調整の上、施工を行うこと。



■北側のがけについて検討
北側のがけ条例規制ラインに計画建物は明らかに抵触しない

凡例)

- 道路境界線
- 敷地境界線
- - - がけ条例規制ライン
- 計画建物 (新設トイレ)
- 既設トイレ

注記

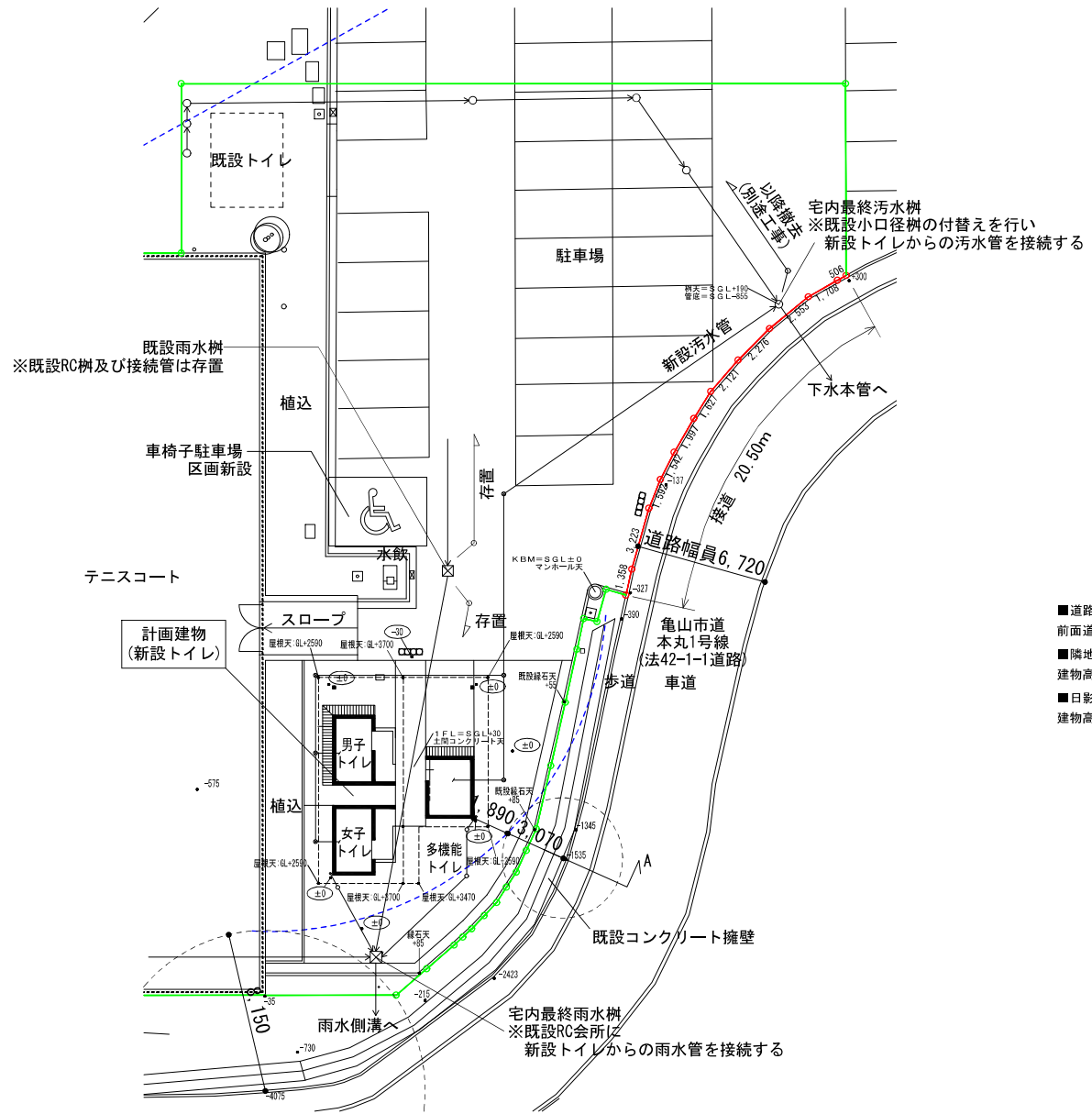
変更	月	日		

工事名称	亀山公園庭球場便所新築工事
------	---------------

阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 眞 昌

図面名称 全体配置図 (1)
 校閲 製図 縮尺 1:400
 日付 図面No. A / 12

製図	縮尺	1:400
日付	図面No.	A / 12



- 道路斜線検討
前面道路に面して建物を計画していない為、道路斜線は抵触しない
- 隣地斜線検討
建物高さが20mを越えない為、隣地斜線は抵触しない
- 日影規制検討
建物高さが10mを越えない為、制限を受けない

凡例

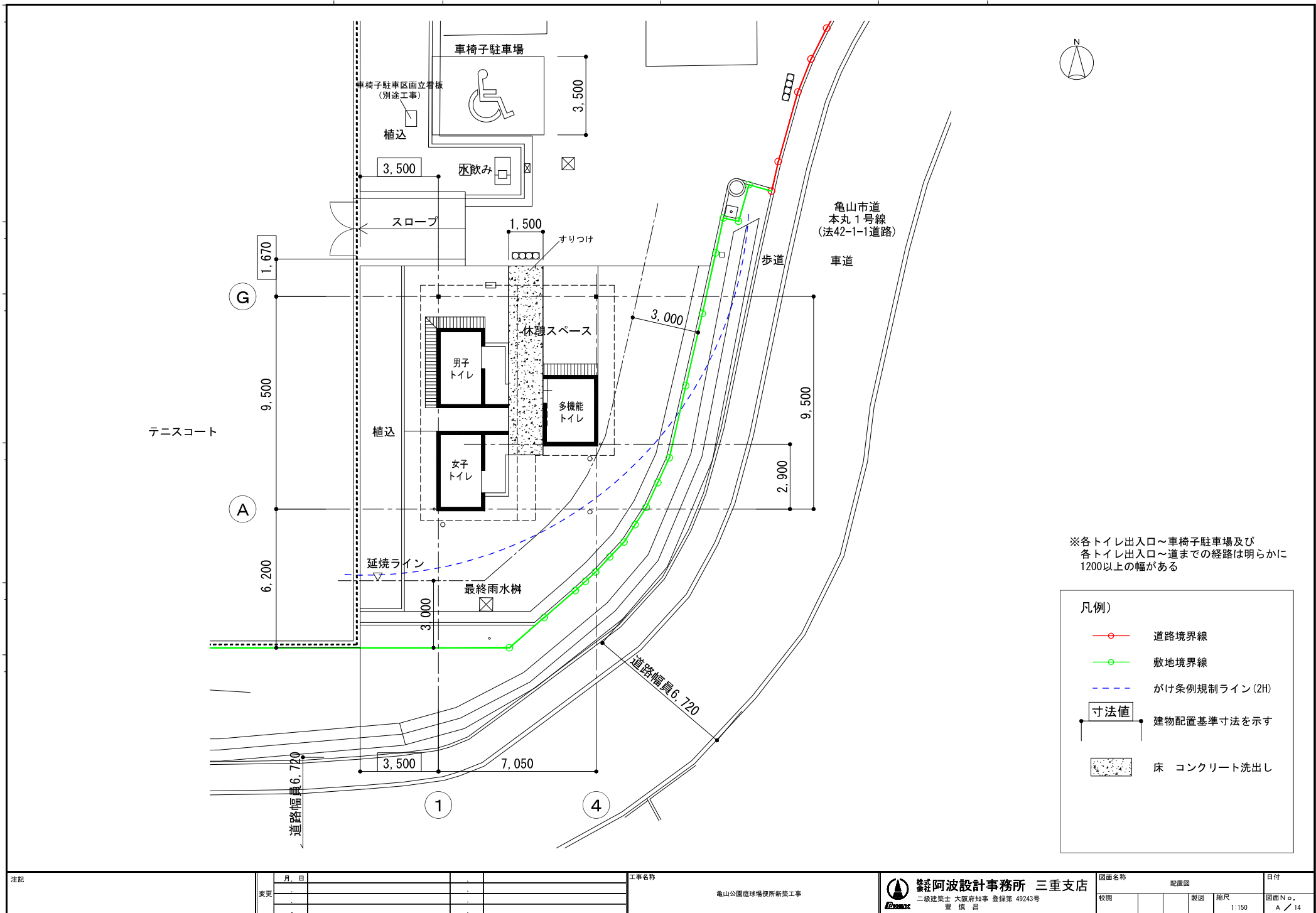
- 道路境界線
- 敷地境界線
- - - - がけ条例規制ライン
- - - - 屋根ライン
- KBM 仮ベンチマーク
- SGL 設計G.L
- ±0 SGLからの現況高さを示す
- ±0.0 SGLからの仕上高さを示す
- 雨水樹・雨水管
- 汚水管

注記	月 日		
変更			

工事名称	亀山公園庭球場便所新築工事
------	---------------

阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 慎 昌

図面名称	全体配置図(2)	日付	
校閲	製図 箱尺	図面No.	
	1:250	A	13

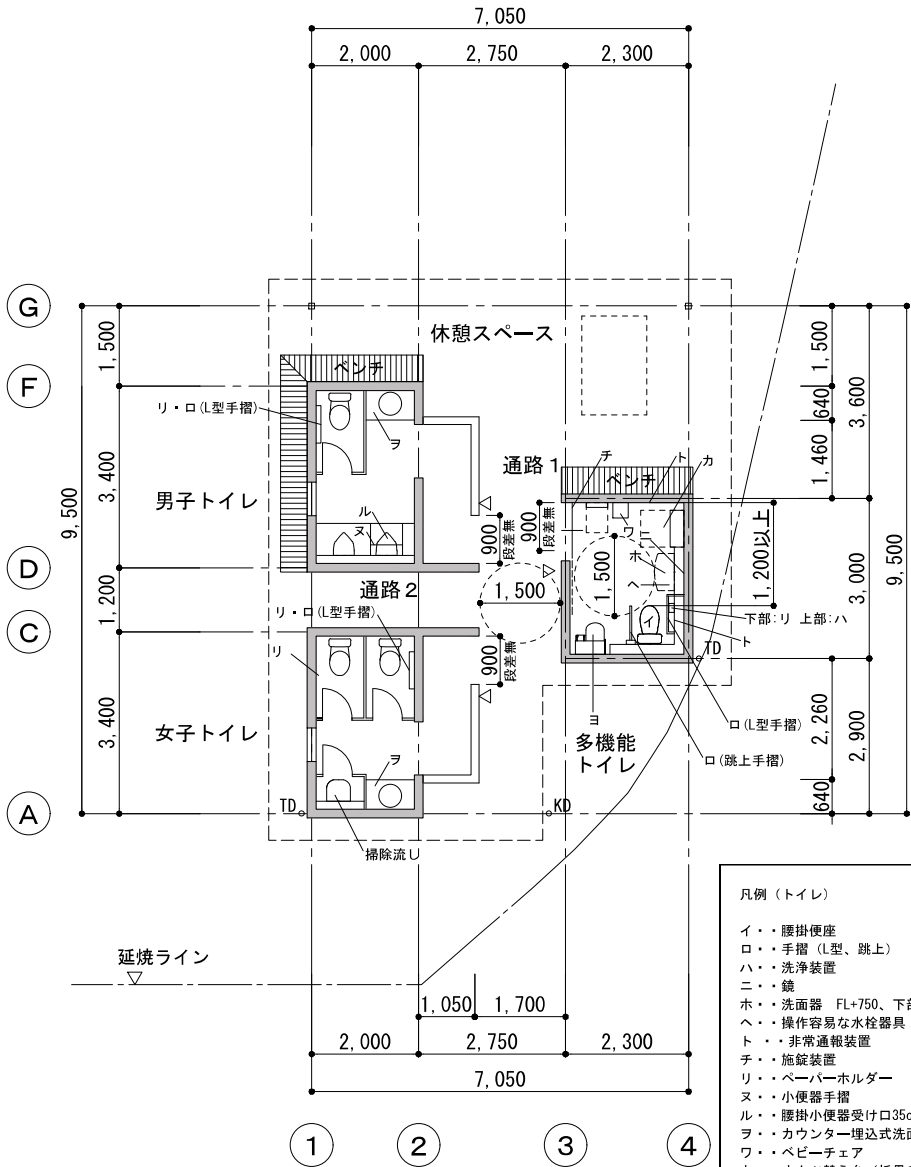


※各トイレ出入口～車椅子駐車場及び
各トイレ出入口～道までの経路は明らかに
1200以上の幅がある

凡例)

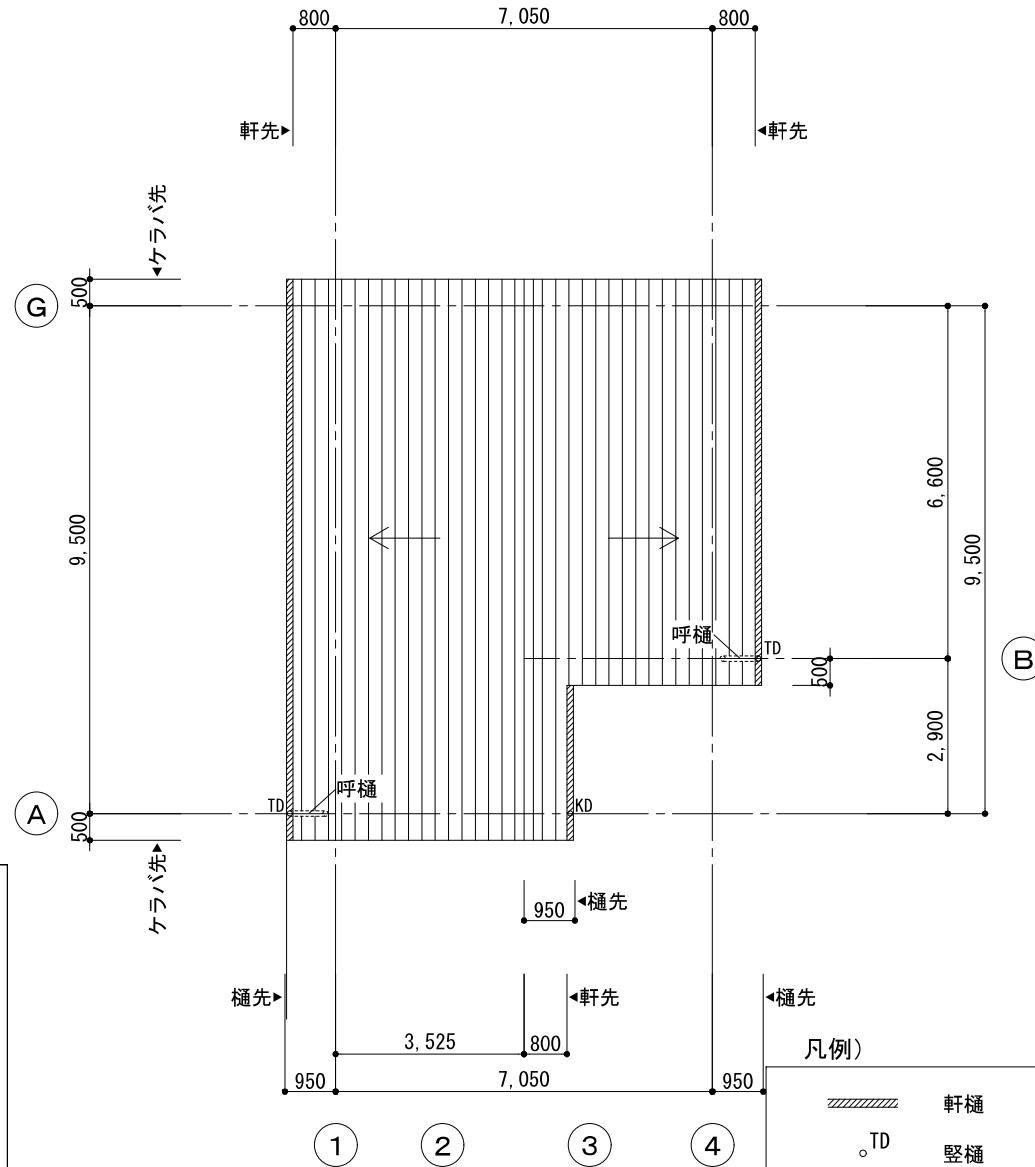
- 道路境界線
- 敷地境界線
- - - がけ条例規制ライン(2H)
- 寸法値 建物配置基準寸法を示す
- 床 コンクリート洗出し

注記	月 日				工事名称 亀山公園庭球場便所新築工事	阿波設計事務所 三重支店 <small>二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号 豊 稔 昌</small>	図面名称 配属図	日付
	変更						校閲	製図



平面図

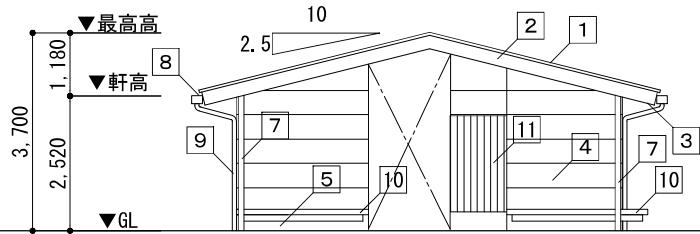
- 凡例 (トイレ)
- イ・腰掛便座
 - ロ・手摺 (L型、跳上)
 - ハ・洗浄装置
 - ニ・鏡
 - ホ・洗面器 FL+750、下部650程度
 - ヘ・操作容易な水栓器具 (自動水栓)
 - ト・非常通報装置
 - チ・施設装置
 - リ・ペーパーホルダー
 - ス・小便器手摺
 - ル・腰掛小便器受け口35cm以下
 - ラ・カウンター埋込式洗面器、自動水栓
 - ワ・ベビーチェア
 - カ・オムツ替え台 (折畳み式)
 - ヨ・汚物流し (オストメイト対応)
 - △・ピクトサイン



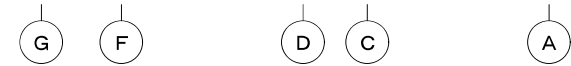
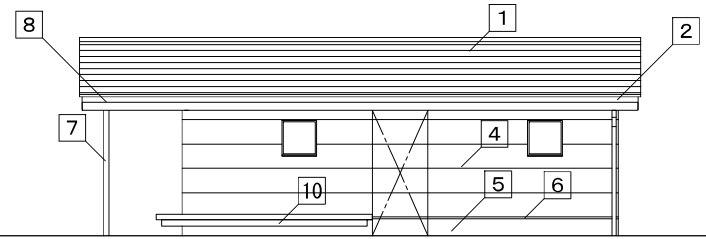
屋根伏図

- 凡例
- //// 軒樋
 - TD 縦樋
 - KD 鎖樋

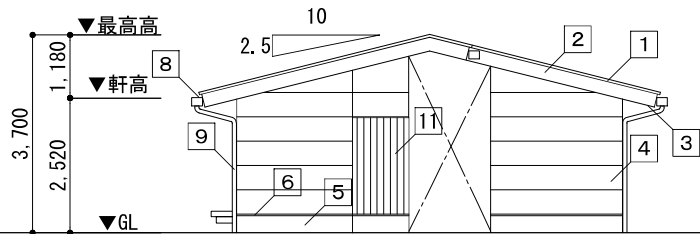
注記) 使用建材への石綿の使用はなし



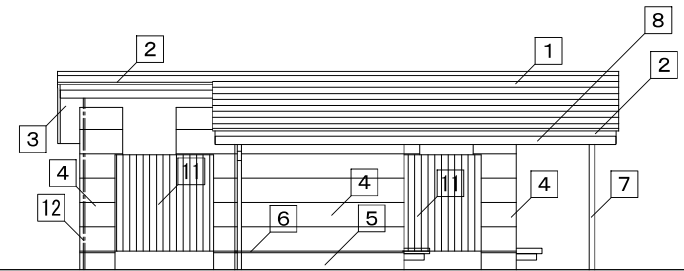
北立面図



西立面図



南立面図



東立面図

凡例

1 屋根：平形屋根用スレート t 5.2	6 土台水切：カラーガルバリウム鋼板製 t 0.35	11 目隠し塀：杉板 15×200 WP 大和張 腰：薄塗モルタル t5
2 破風板、鼻隠し：繊維混入セメントケイカル押出成形板 14×240(塗装品)	7 柱：WP塗	12 鎖樋：カラーガルバリウム鋼板製t0.35 (SUS杭共)
3 軒裏：CLT現し WP	8 軒樋：塩ビ製 (落ち葉除け共)	
4 外壁：窯業系サイディング t 14 (塗装品) 横張 (釘打工夫)	9 縦樋：カラーVP 75A	
5 腰：RC打放し補修の上、薄塗モルタル t 5	10 ベンチ：RC直均しの上、杉板(小節) 24×150 WP 木下地	

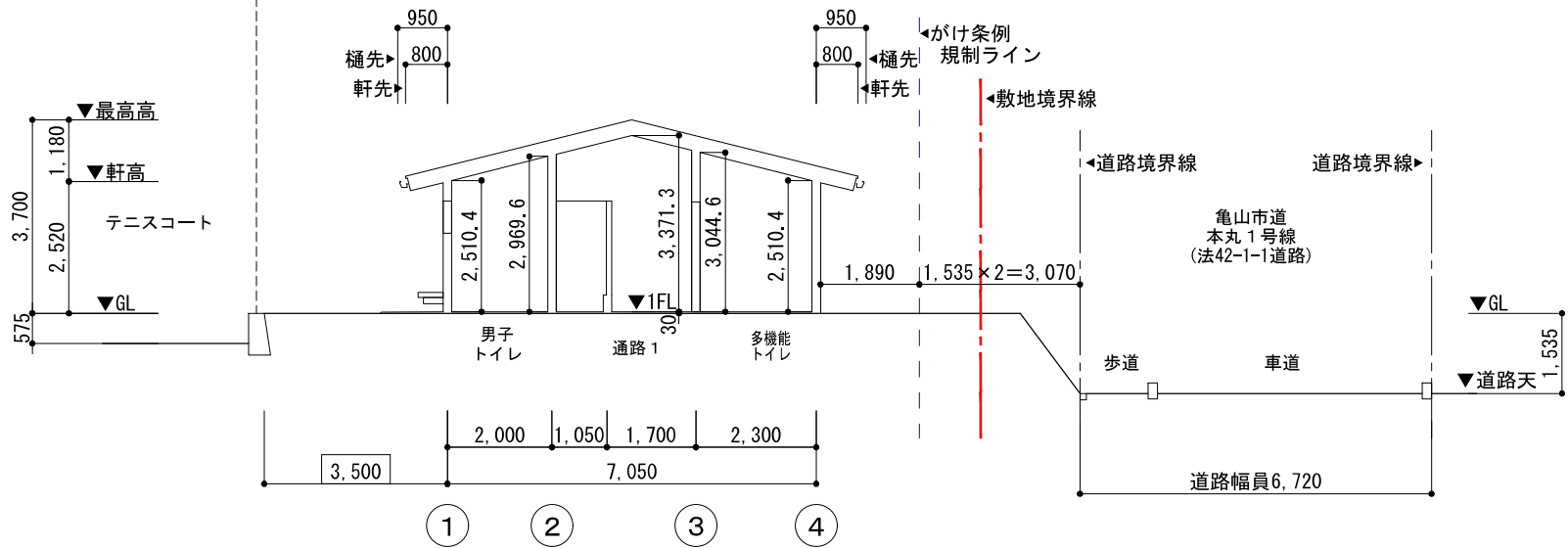
注記

変更	月 日				

工事名称
亀山公園庭球場便所新築工事

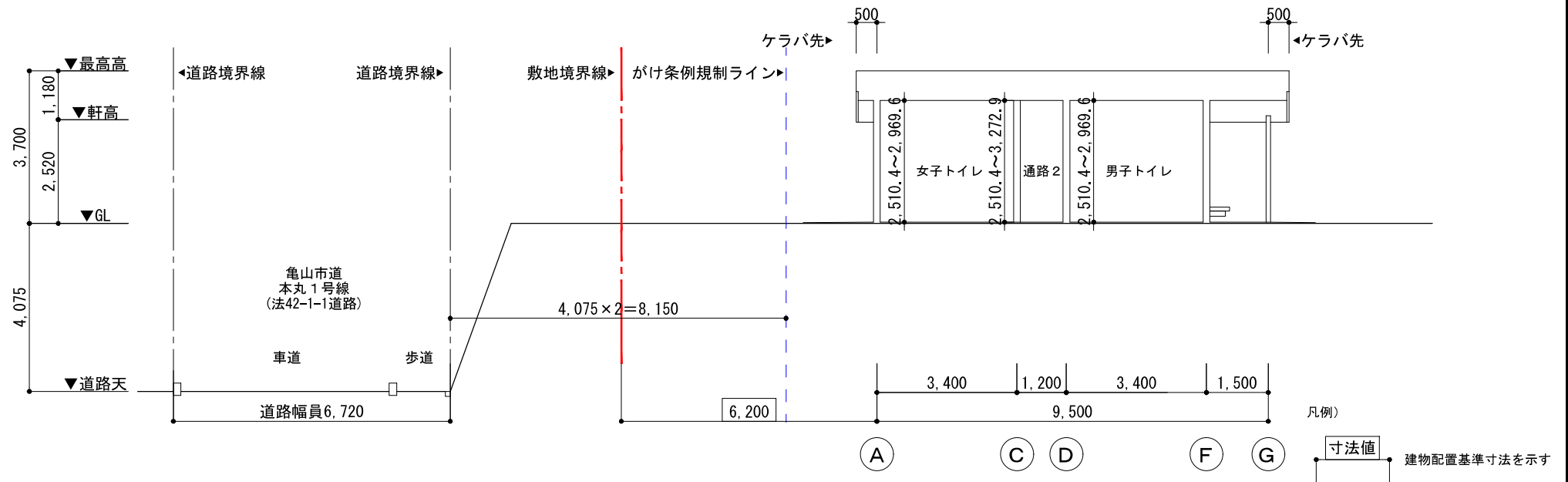
阿波設計事務所 三重支店
二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
豊 慎 昌

図面名称	立面図	日付	
校閲	製図	縮尺	1:100
		図面No.	A / 16



西-東断面図

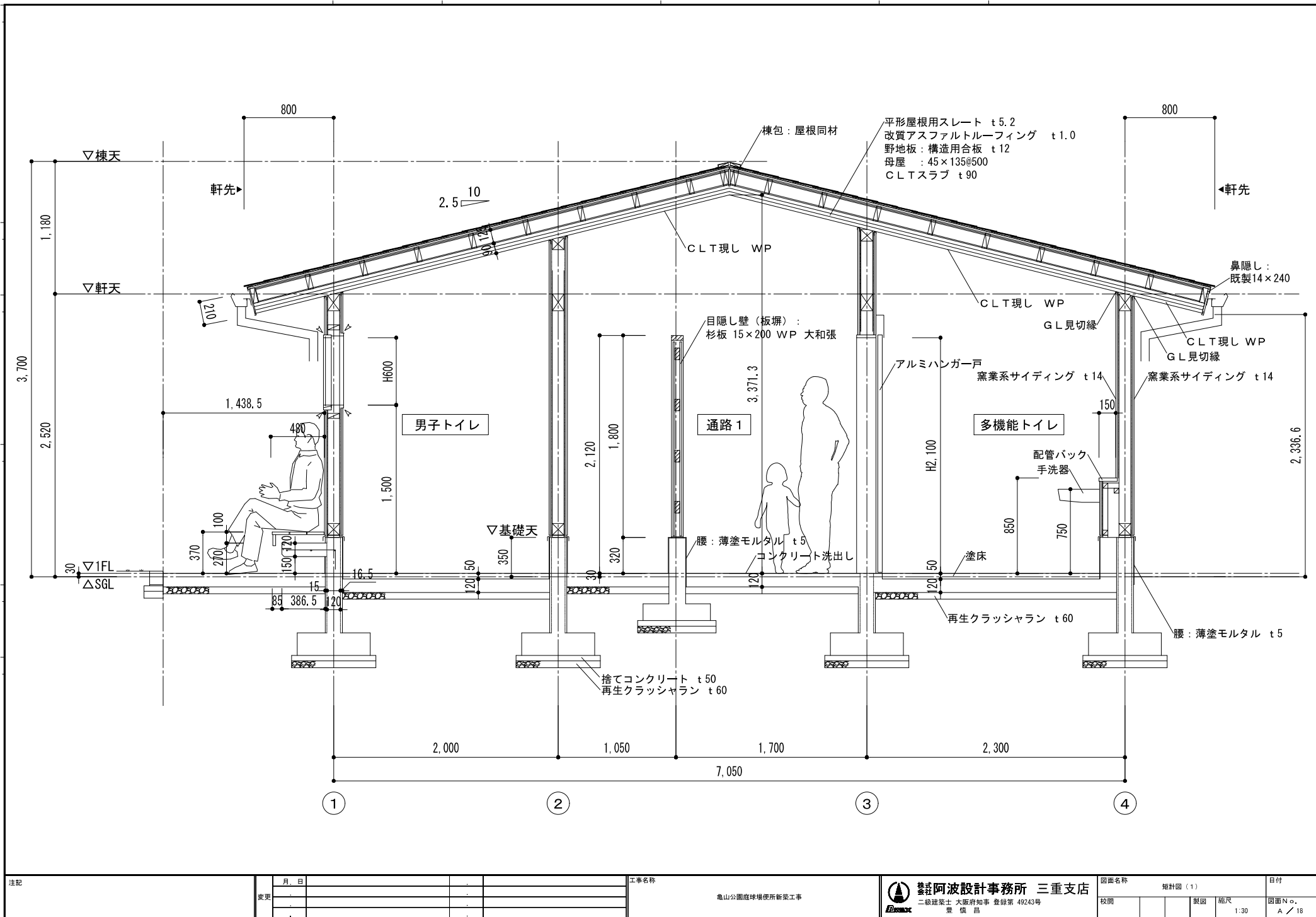
(A部 断面図) ※断面位置はA/13図による



北-南断面図

凡例) 寸法値 建物配置基準寸法を示す

注記	月、日		工事名称	亀山公園庭球場便所新築工事 阿波設計事務所 三重支店 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号 兼 横 昌	図面名称	断面図	日付
	変更				図面 No.	校閲	製図 縮尺 1:100



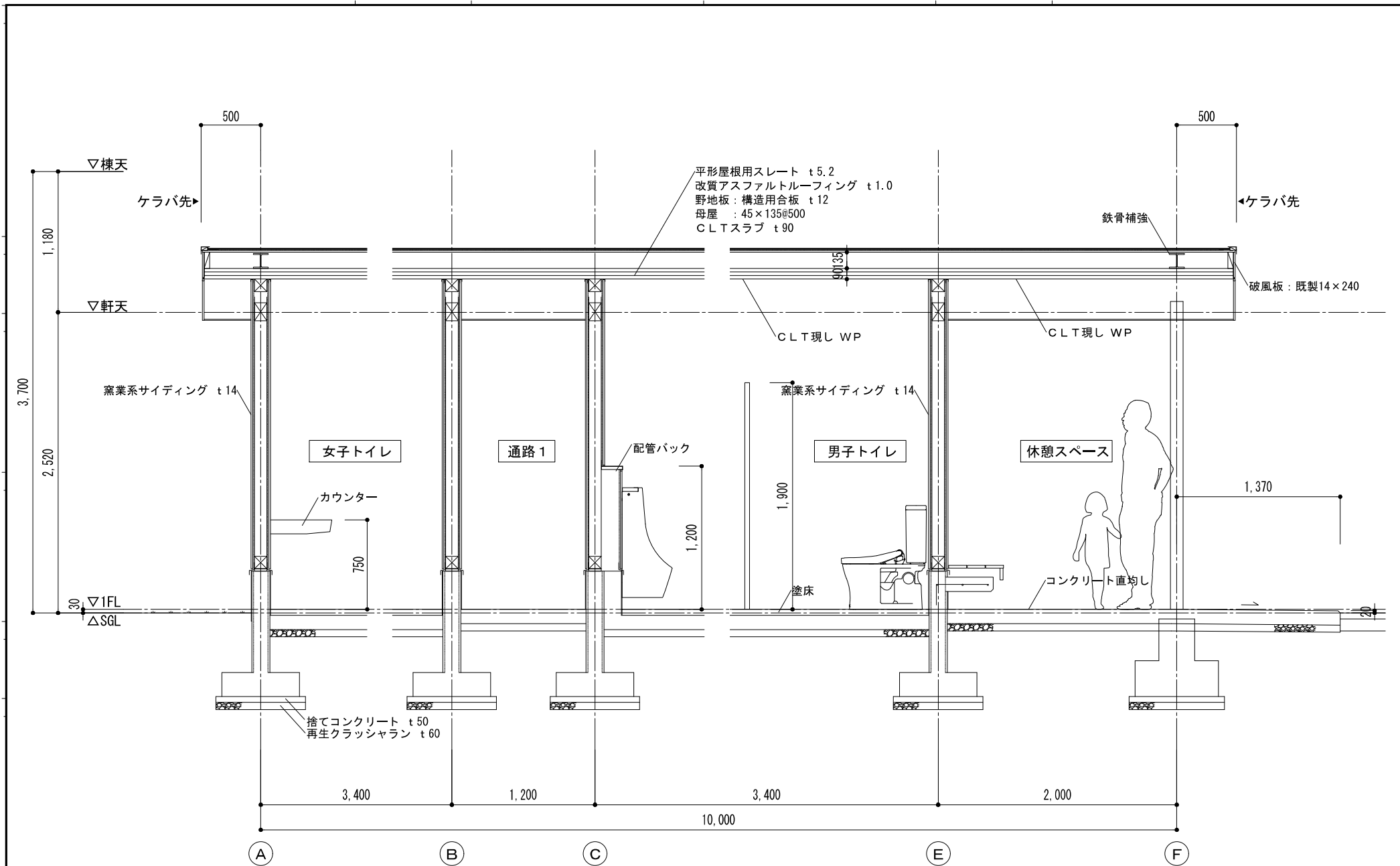
注記


変更	月	日	内容

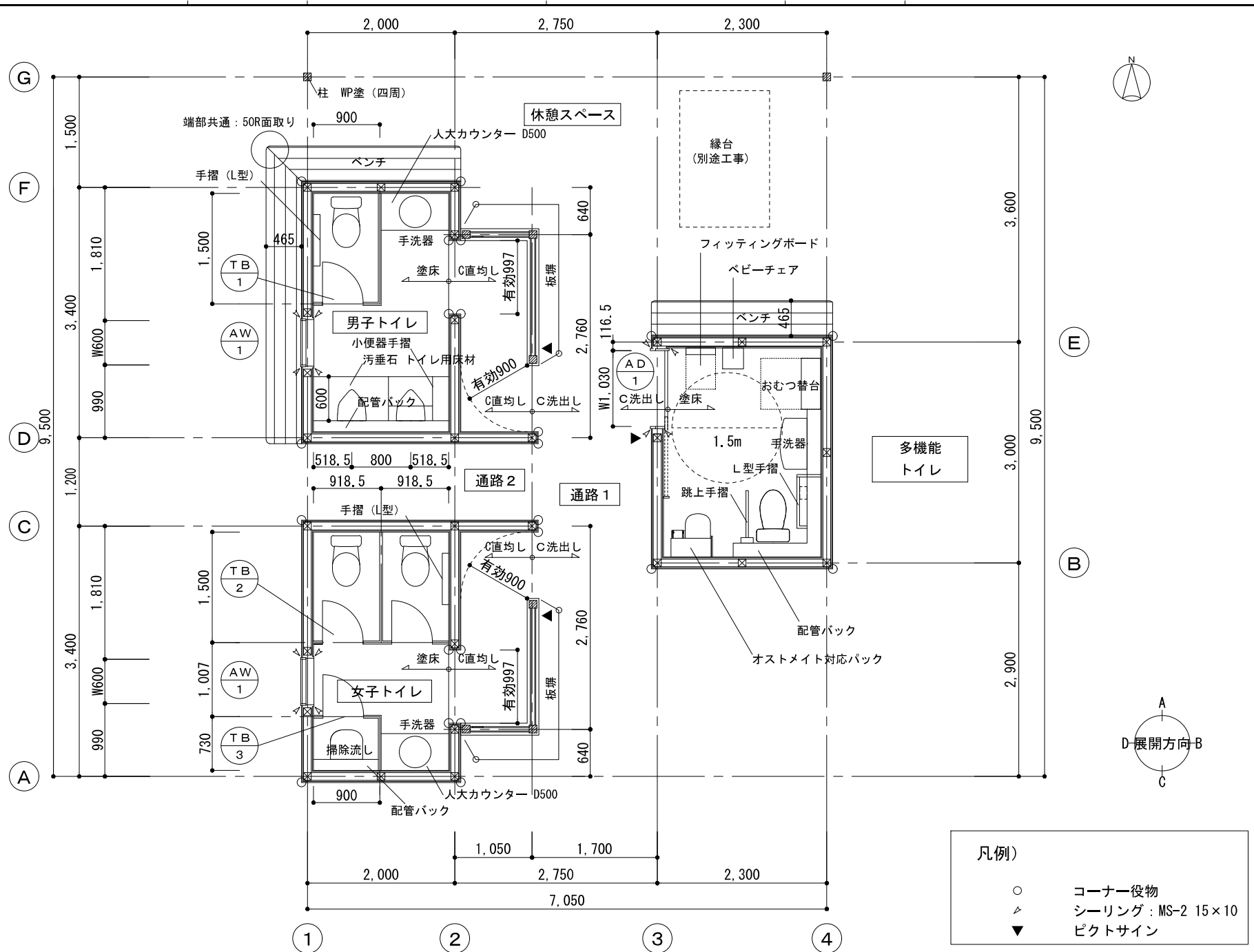
工事名称
 亀山公園庭球場便所新築工事

阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 兼 横 昌

図面名称	短計図 (1)	日付	
校閲		製図	縮尺
			1:30
		図面 No.	A / 18

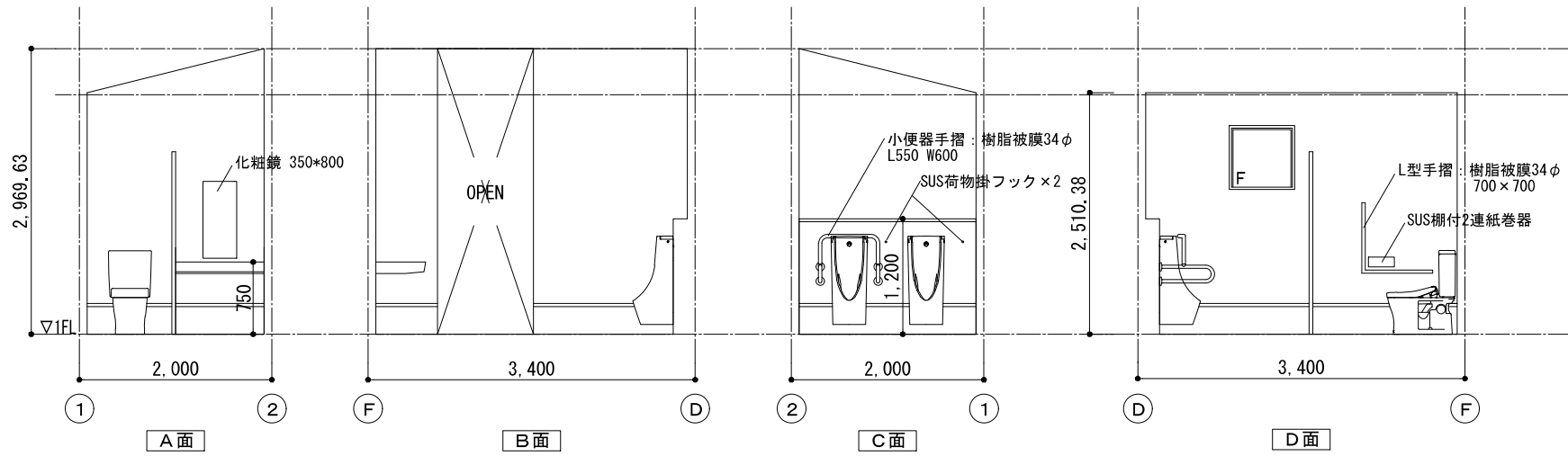


注記	月	日	工事名称	 阿波設計事務所 三重支店 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号 豊 慎 昌	図面名称	矩計図(2)	日付	
	変更				亀山公園庭球場便所新築工事	図面No.	A / 19	校閲

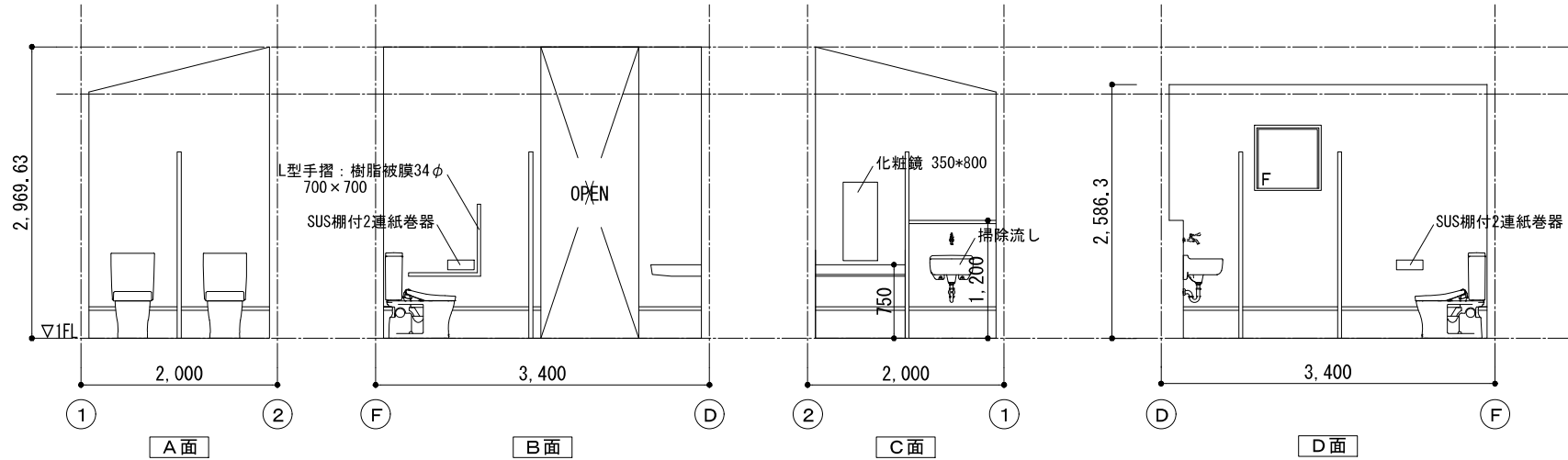


- 凡例)
- コーナー役物
 - △ シーリング : MS-2 15×10
 - ▼ ピクトサイン

男子トイレ



女子トイレ



注記

月	日		
変更			

工事名称

亀山公園庭球場便所新築工事



阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 兼 携 員

図面名称

展開図 (1)

日付

校閲

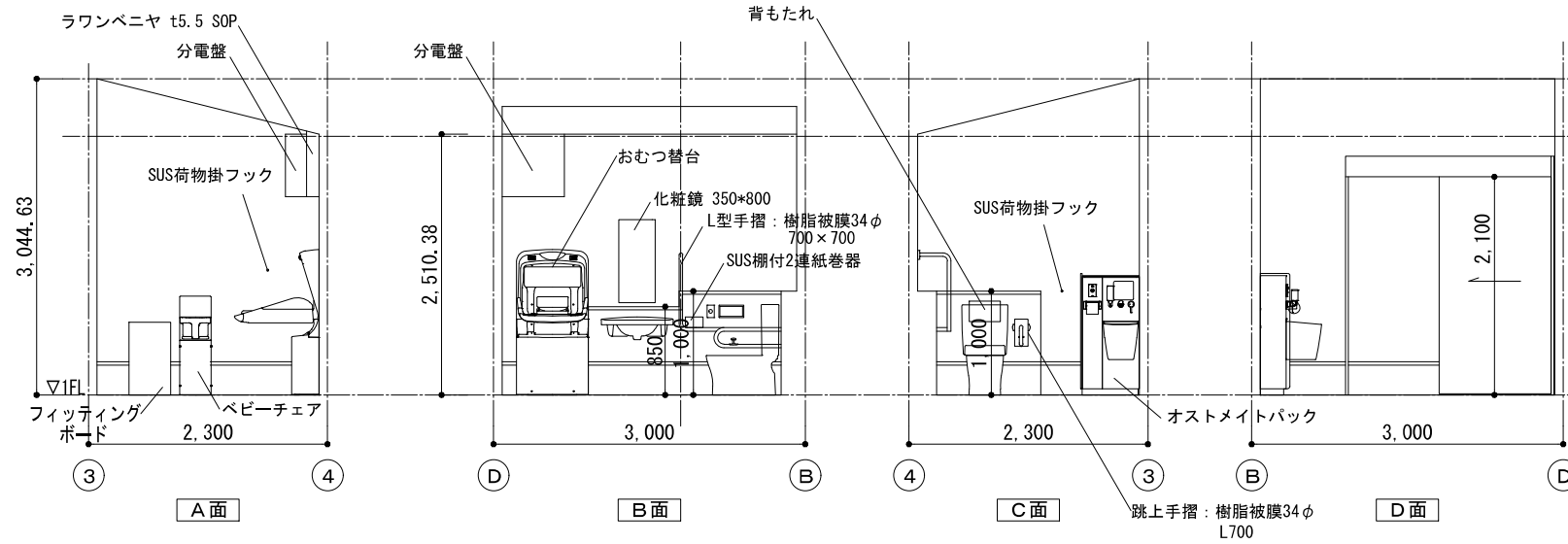
製図

縮尺

1:50

図面 No.

A / 21



注記

変更	月	日		

工事名称

亀山公園庭球場便所新築工事



阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 兼 携 員

図面名称

展開図 (2)

日付

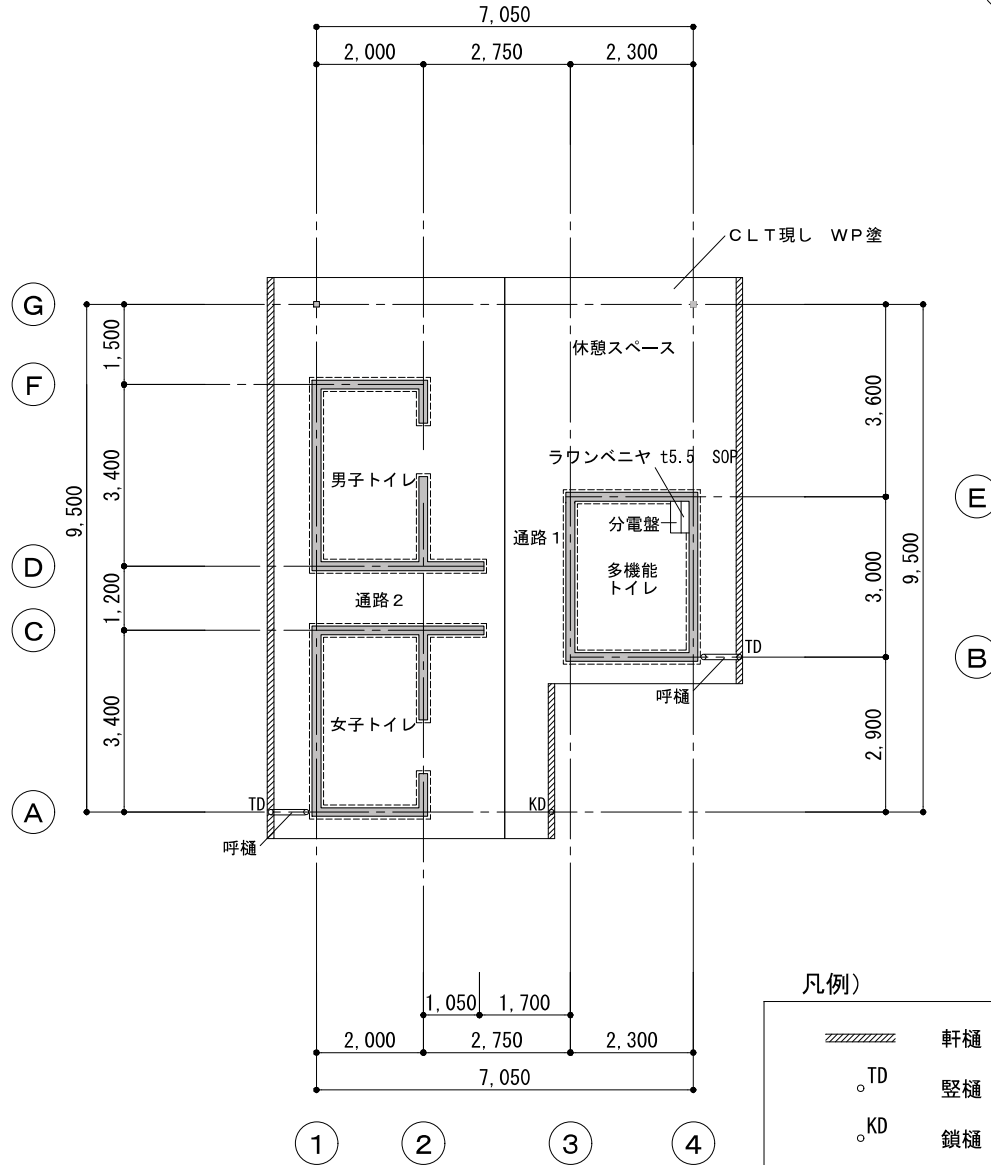
校閲

製図 縮尺

1:50

図面 No.

A / 22



凡例

- 軒樋：塩ビ製（落ち葉除けネット共）
- TD 縦樋：カラーVP 75A
- KD 鎖樋：カラーガルバリウム鋼板製 t0.35
- 見切縁：カラーガルバリウム鋼板製 t0.35

注記

変更	月	日	内容

工事名称

亀山公園庭球場便所新築工事



阿波設計事務所 三重支店
二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
兼 横 昌

図面名称

天井伏図

日付

校閲

製図

縮尺

1:100

図面No.

A / 23

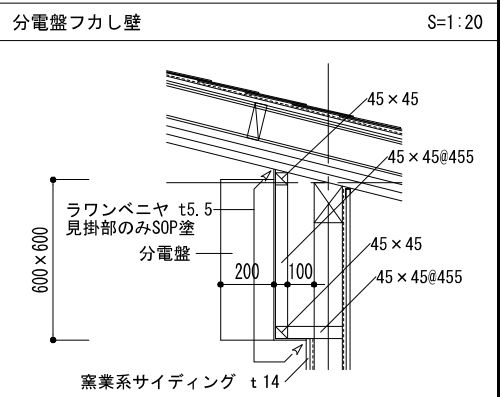
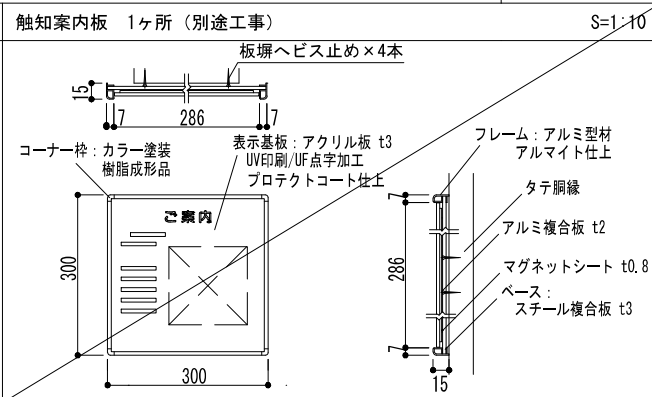
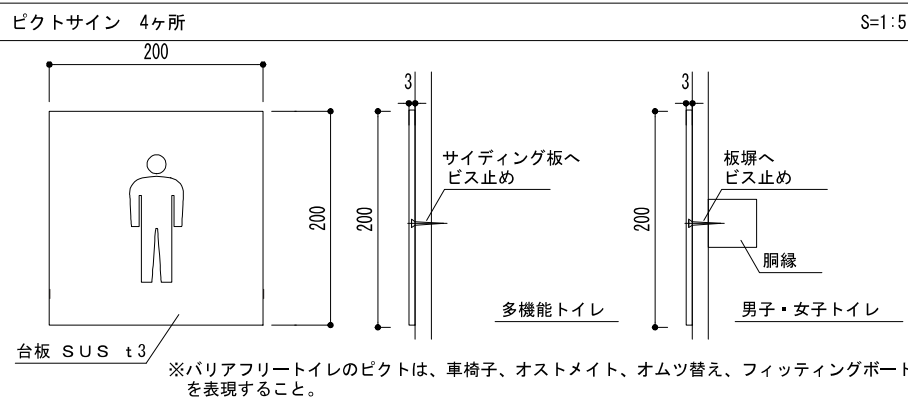
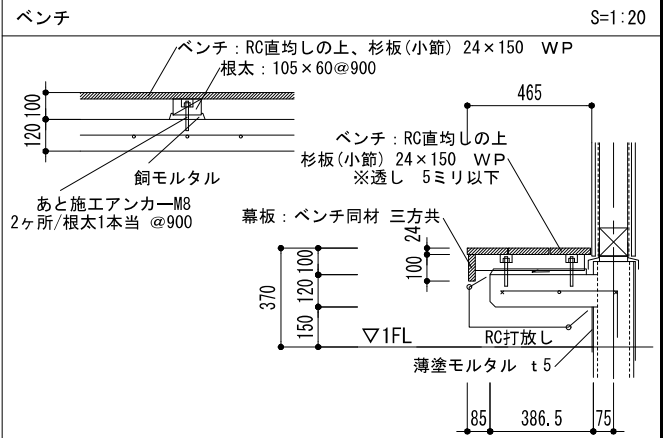
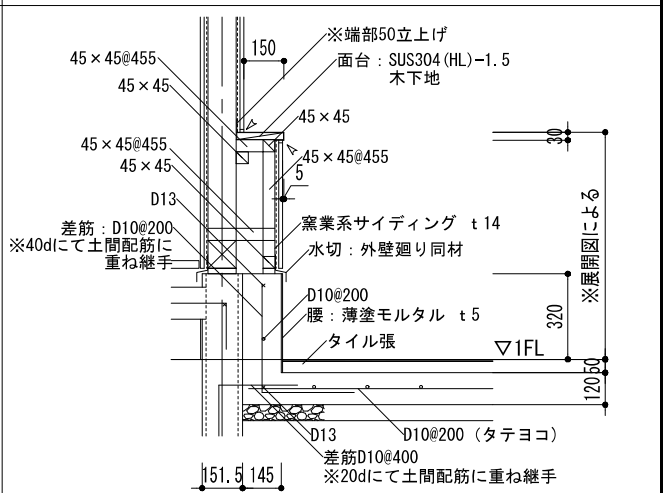
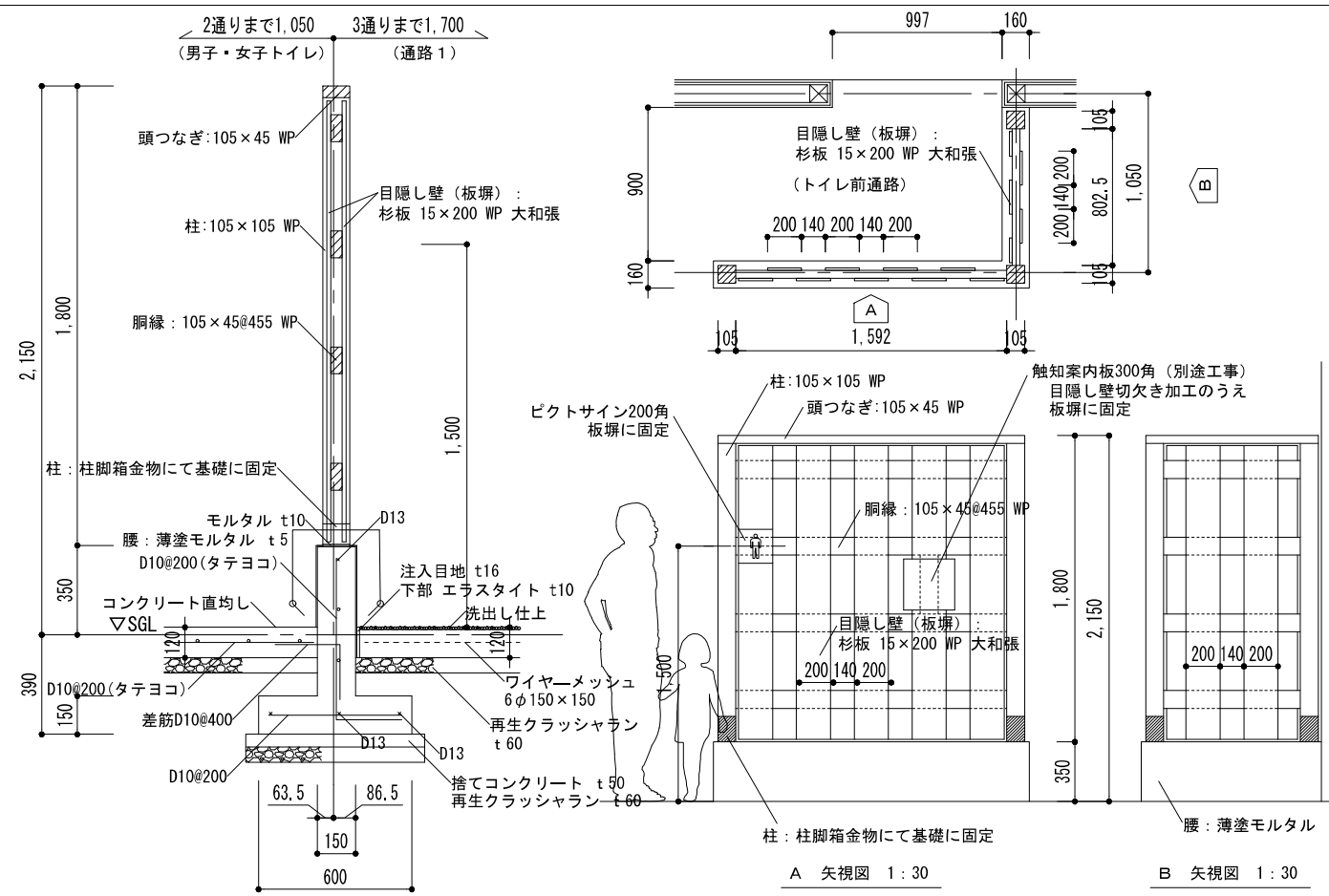
符号	名称	数量	AW 1	アルミ製FIX窓 (RCサッシ 面一)	2	AD 1	アルミハンガー戸 (重量タイプ)	1	TB 1	トイレブース	1					
形状	寸法															
設置場所	男子トイレ・女子トイレ					多機能トイレ					男子トイレ					
仕上	BB-2					BB-2					高圧メラミン化粧合板 (パーティクルボード t 9裏打)					
見込	70					150					40					
ガラス	トーメイ強化5+飛散防止フィルム貼 (目隠し)					—					—					
塗装	—					—					—					
金物	アルミ額縁 (BB-2) 25×110、付属金属一式					ハンガーレール (自閉)、ガイド、SUSバーハンドル					スライドラッチ、引手、アルミRエッジ、中心吊ヒンジ、アルミ笠木 (キャップ付)					
備考	建具性能等級: A種					表示錠 (非常解付、使用時色識別仕様)、建具性能等級: S-I シリンダー錠 (内部サムターン)					サポート、戸当り帽子掛、扉W550、プース及びドア下端: 目板、付属金物一式					
符号	名称	数量	TB 2	トイレブース	1	TB 3	掃除用具収納ブース	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><建具符号 凡例></p> <p>AW アルミ製窓</p> <p>AD アルミ製ドア</p> <p>TB トイレブース・掃除用具収納ブース</p> <p style="text-align: right;">※建具位置は平面詳細図を参照</p> <p>建具開口補強要領</p> <p style="text-align: right;"><注記></p> <p>・金属建具は、原則柱等にFBを固定の上、溶接固定させること。</p> </div>							
形状	寸法															
設置場所	女子トイレ					女子トイレ										
仕上	高圧メラミン化粧合板 (パーティクルボード t 9裏打)					高圧メラミン化粧合板 (パーティクルボード t 9裏打)										
見込	40					40										
ガラス	—					—										
塗装	—					—										
金物	スライドラッチ、引手、アルミRエッジ、中心吊ヒンジ、アルミ笠木 (キャップ付)					掃除用具引手、シリンダー錠、アルミRエッジ、中心吊ヒンジ、アルミ笠木 (キャップ付)										
備考	サポート、戸当り帽子掛、扉W550、プース及びドア下端: 目板、付属金物一式					サポート、戸当り帽子掛、扉W550、プース及びドア下端: 目板、付属金物一式										

注記	月、日	変更

工事名称	亀山公園庭球場便所新築工事
------	---------------

阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 稔 昌

図面名称	建具表	日付
校閲	製図	縮尺
		1:100
図面No.	A / 24	

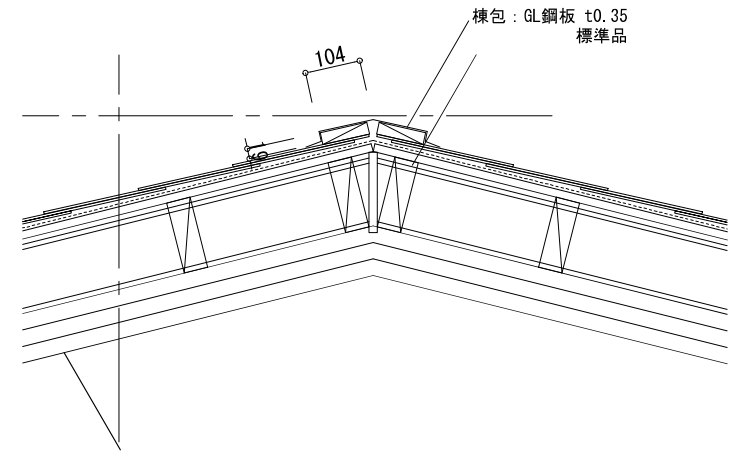
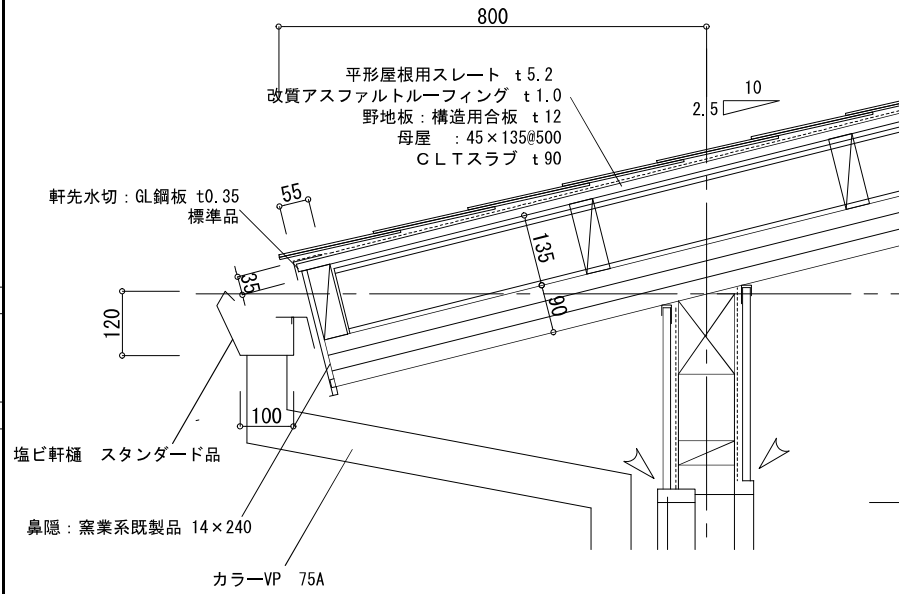


軒先

S=1:10

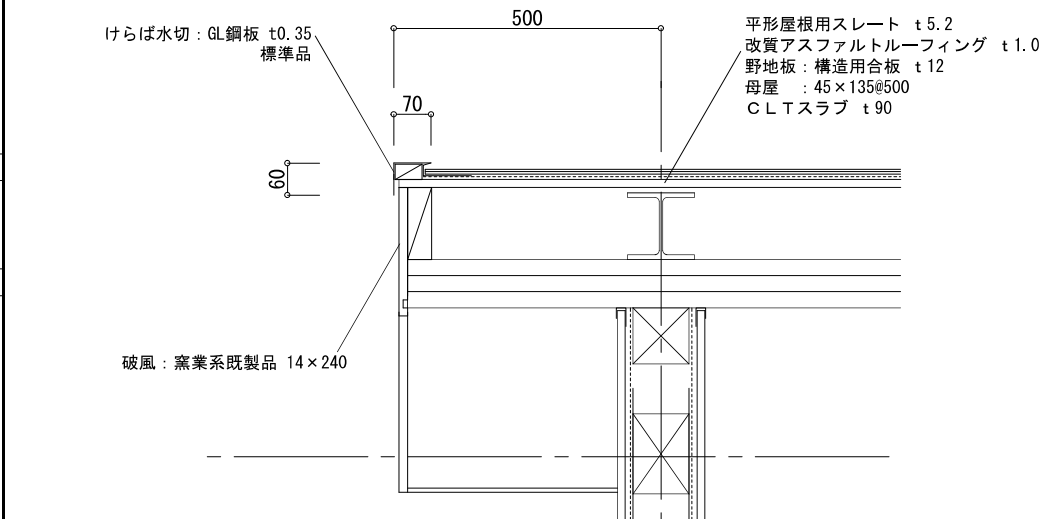
棟

S=1:10



ケラバ

S=1:10



注記

月	日		
変更			

工事名称

亀山公園庭球場便所新築工事



阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 慎 昌

図面名称

屋根詳細図

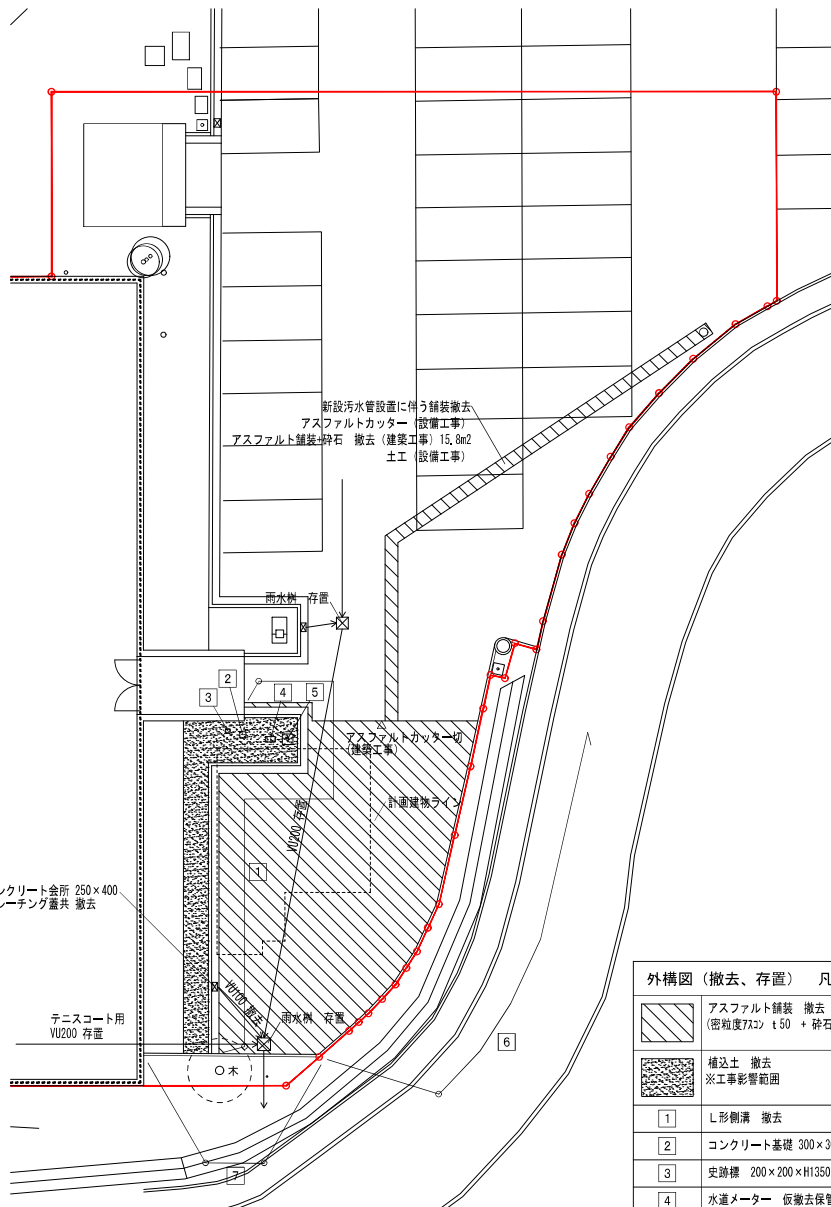
日付

校閲

製図 箱尺

図面No.

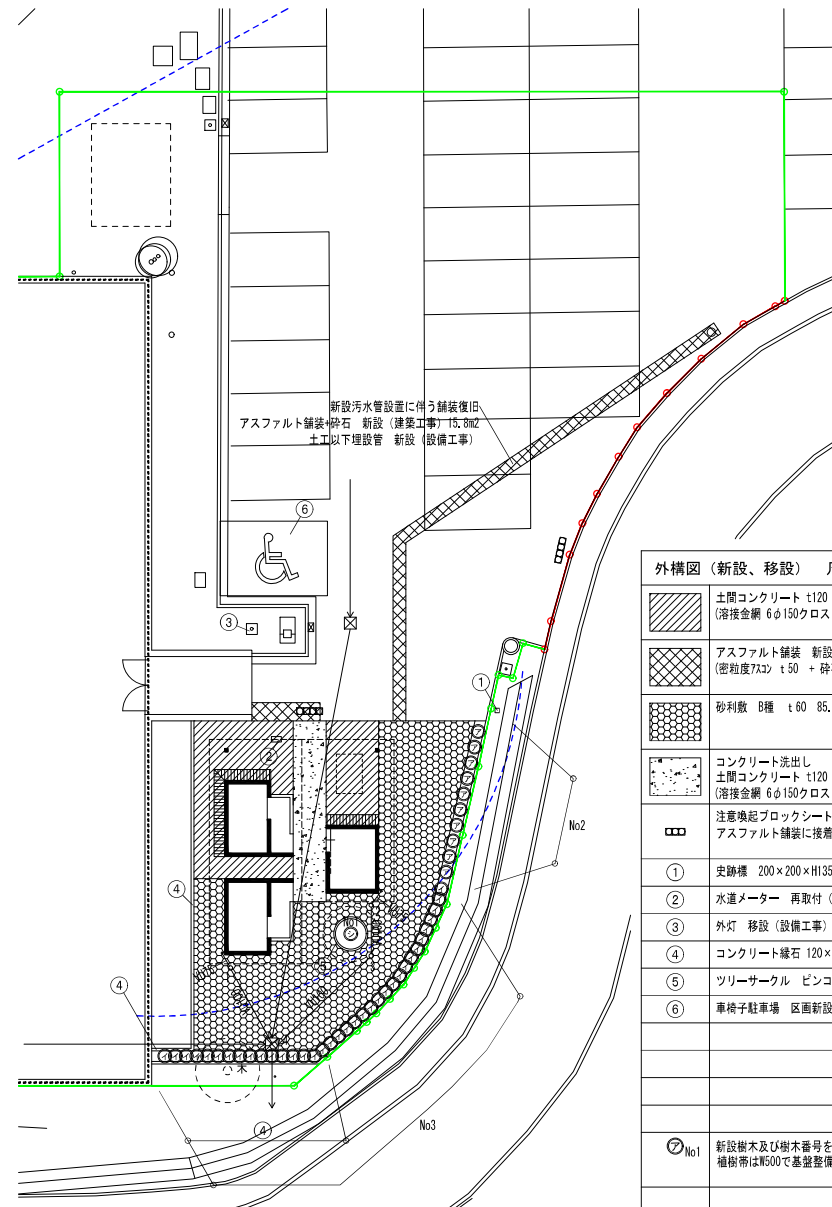
1:10 A / 26



外構図 (撤去、存置) 凡例

	アスファルト舗装 撤去 (密粒度7x3 t50 + 砕石 t150)
	埋込土 撤去 ※工事影響範囲
①	L形側溝 撤去
②	コンクリート基礎 300×300×H450 撤去 (砕石共)
③	史跡標 200×200×H1350 仮撤去保管
④	水道メーター 仮撤去保管 (設備工事)
⑤	外灯 仮撤去保管 (設備工事)
⑥	コンクリート縁石 120×120 存置
⑦	コンクリート縁石 120×120 撤去

現状



注記

- ・コンクリートはFC18N/mm2、S15とする
- ・鉄筋はSD295Aとする

外構図 (新設、移設) 凡例

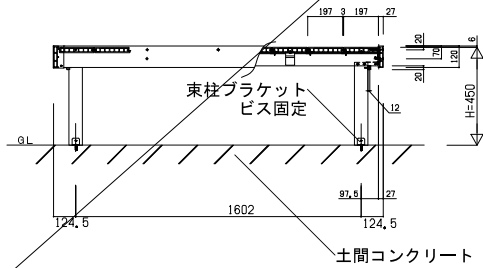
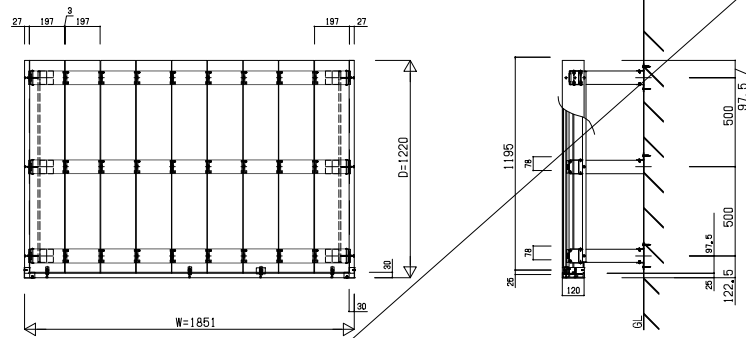
	土間コンクリート t120 新設 (溶接金網 6φ150クロス + 再生クラッシュラン t60)
	アスファルト舗装 新設 (密粒度7x3 t50 + 砕石 t150)
	砂利敷 B種 t60 85.7m ²
	コンクリート流し 土間コンクリート t120 下地 (溶接金網 6φ150クロス + 再生クラッシュラン t60)
	注意喚起ブロックシート300角 アスファルト舗装に接着張
①	史跡標 200×200×H1350 移設 ※位置は要調整 (別途)
②	水道メーター 再取付 (設備工事)
③	外灯 移設 (設備工事)
④	コンクリート縁石 120×120 新設
⑤	ソリサークル ピンコ石 90×90×90 新設 (別途)
⑥	車椅子駐車場 区画新設 ※詳細図による
○No1	新設樹木及び樹木番号を示す ※樹木リスト参照 植樹帯はR500で基盤整備を行うこと
	雨水接続管及び塩ビ小口径樹 ※管径及び材質は図示 (勾配は1/100) ※符号は会所No (会所リスト参照)

縁台 (別途工事)

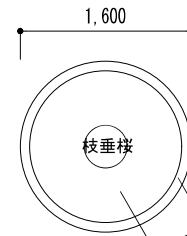
S=1:30

ツリーサークル (別途工事)

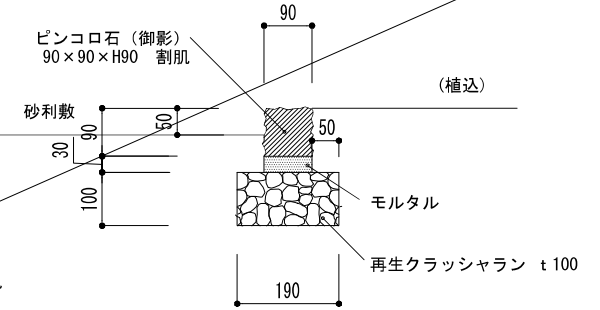
S=1:10、50



既製品参考図 (床耐荷重性能 1800 N/m²)
 デッキ・幕板: 再生木材
 束柱・大引き・根がらみ: アルミ形材
 (各部材・取付方法はメーカー仕様による)
 ※参考品番リウッドデッキ200EG YKKAP 同等品以上



ピンコロ石 (御影)
 90×90×H90 割肌
 真砂土 H500 + パーク堆肥50L/m³

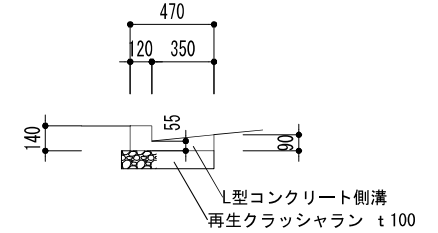
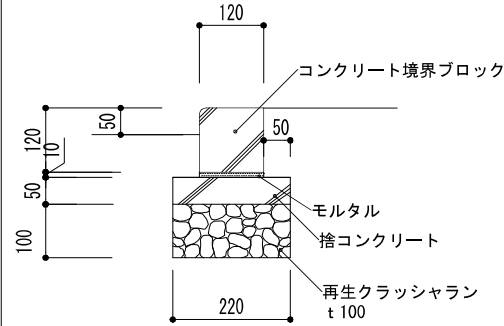


コンクリート縁石

S=1:10

既設L型側溝 (撤去)

S=1:30



注記)
 ・解体トイレ前のエプロン部復旧も上図に準ずる

注記

変更	月	日			

工事名称

亀山公園庭球場便所新築工事



阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 田 昌

図面名称

外構詳細図 (1)

日付

校閲

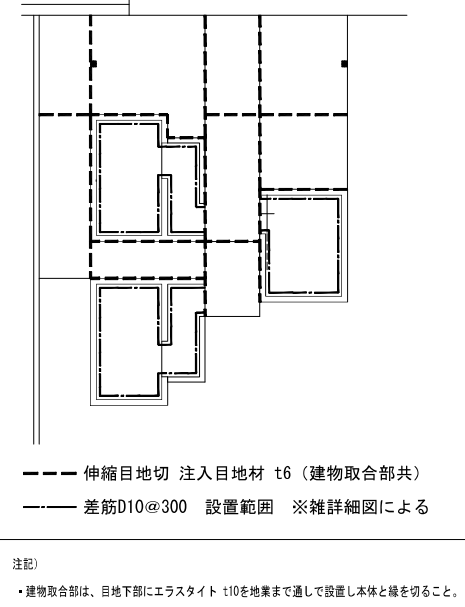
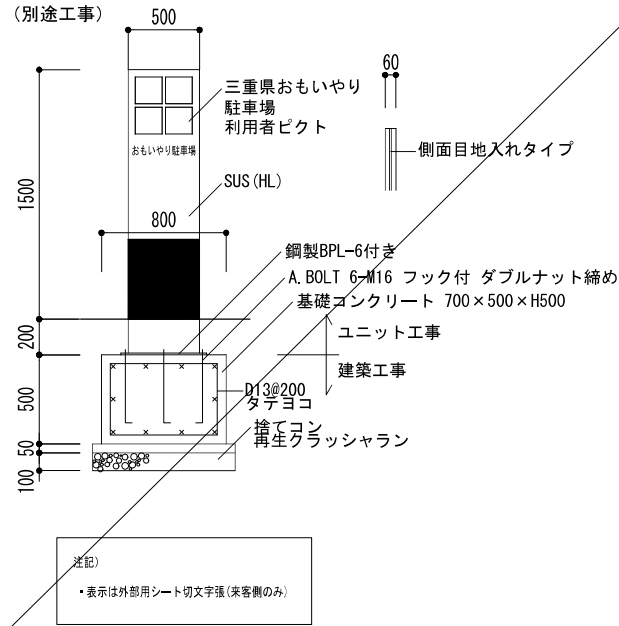
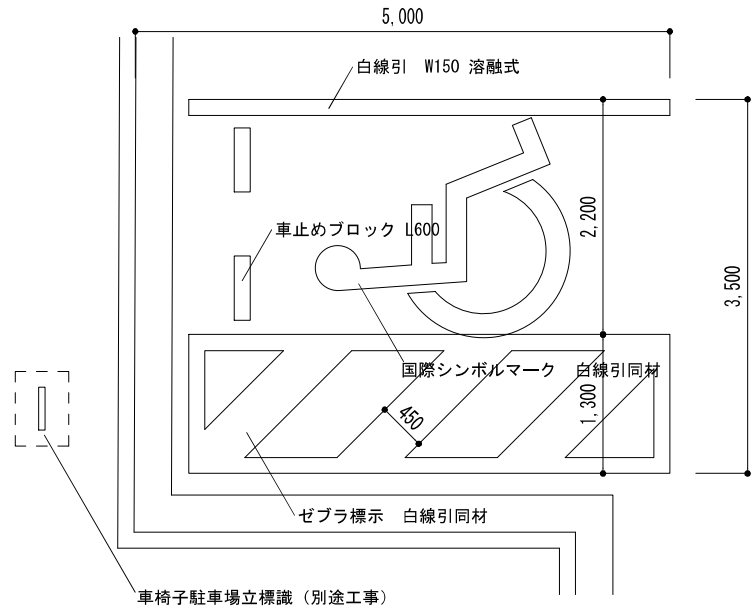
製図

縮尺

図示

図面 No.

A / 28



雨水会所リスト

雨水会所リスト					
No	蓋天	管底	H(mm)	樹仕様・仕口仕様	蓋仕様
1	±0	-300	300	塩ビ小口径 150φ	塩ビ150φ (I-2)
2	±0	-300	300	塩ビ小口径 150φ	塩ビ150φ (I-2)
3	±0	-320	320	塩ビ小口径 150φ	塩ビ150φ (I-2)
4	±0	—	1200	既設RC会所 存置	グレーチング蓋 存置

注記) 特記なき限り下記に準ずる

- ・蓋天及び管底はKBMからの高さ
- ・Hは蓋天からの管底までの高さ
- ・泥溜はH150以上設けること
- ・小口径樹立管はVUとする
- ・堅種の第一会所樹への接続や落差調整接続の場合は、上方立管VUに専用アタッチメントを取付け接続を行うこと
- ・樹形状はメーカー仕様準ずるものとする
- ・雨水樹に合わない排水接続管径がある場合、異径ソケットにて対応すること
- ・雨水会所の位置や管底に関して、再度現地調査を十分に行い施工をすること

樹木リスト

樹種凡例(単位: m)

記号	樹種	樹高	幹周	枝張	単位	数量	備考
①No1	枝垂桜	2.5	0.12	—	本	1	植栽基盤整備 H500 支柱/二脚鳥居添木なし
②No2	アジサイ	0.3	—	—	株	10	2本立/株 植栽基盤整備 H500
③No3	イヌマキ	1.0	—	0.2	本	35	植栽基盤整備 H500

※ 土壌改良材 バ→堆肥 50g/m²
 ※ 植込部 真砂土敷 H500

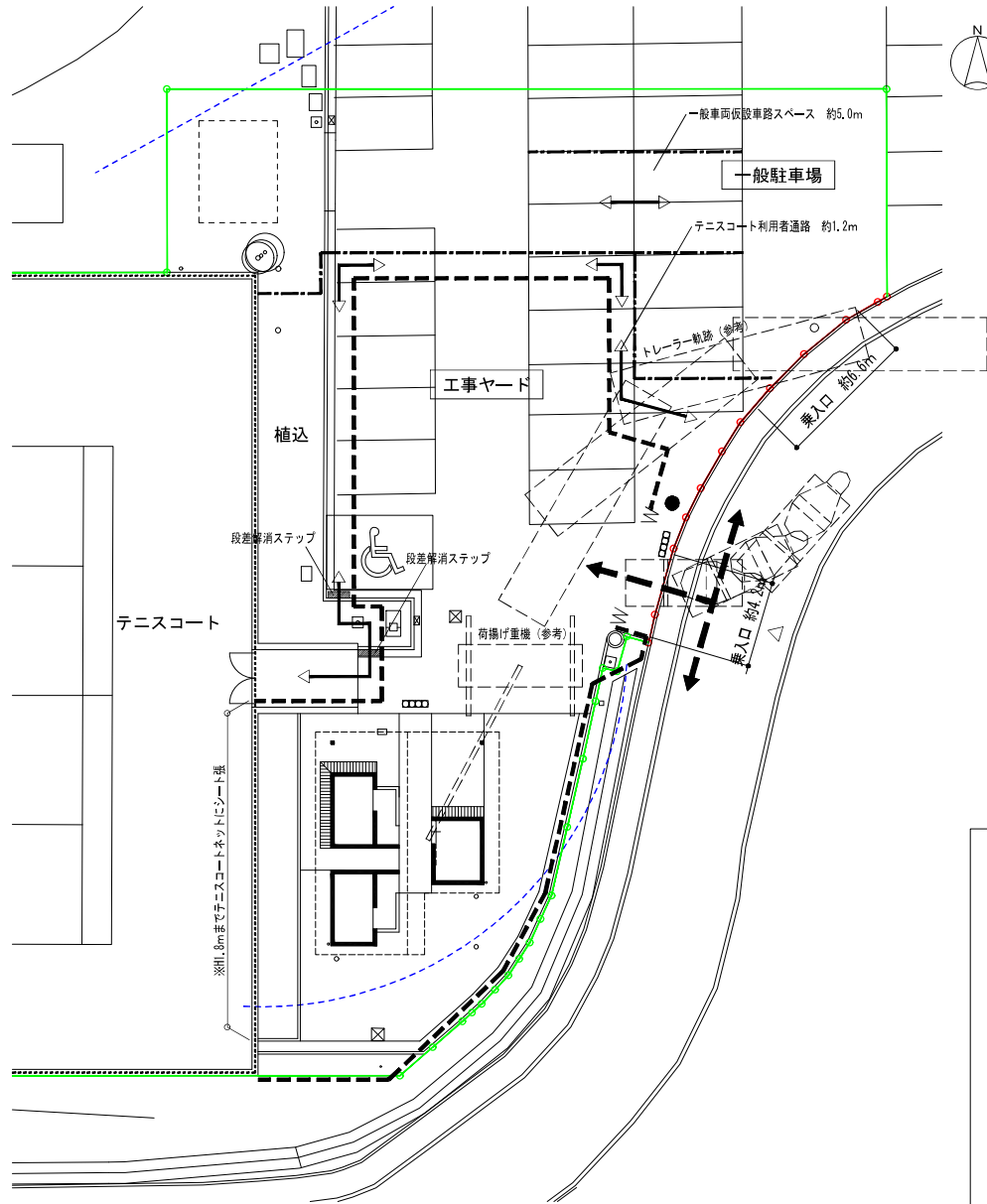
注記

変更	月、日			工事名称
				亀山公園遊球場便所新築工事

亀山公園遊球場便所新築工事

阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 岡 昌

図面名称	外構詳細図(2)	日付	
校閲		製図	箱尺
		図示	図面No.
			A / 29



凡例)

- ◁ 工事用進入口
- ← 工事車両動線を示す
- ⇄ テニスコート利用者動線を示す
- - - - ガードフェンス H1800 + 上部シート張
- - - - カラーコーン + バー
- ● 交通誘導員
- M M キャスターゲート W6000×H1800

注記)

- 駐車場内での施工となる為テニスコート利用者や駐車場利用者に配慮し、安全第一で施工を行うこと。
- 解体トイレは施工中の一般利用は行わない。
- OLTパネル搬入時は、必要に応じて臨時工事進入口6mを利用するものとし搬入時のみガードフェンスの撤替えを行う。また、その際は1か月前には監督職員を通じ駐車場利用者へ周知を行うこと。
- テニスコート利用者仮設通路は認識し易い位置に看板等を設置し交通誘導員は適切に誘導を行うこと。
- 建て方、コンクリート打設等の作業時には、既存の電線に注意し作業を行うこと。

注記

変更	月	日	工事名称

亀山公園庭球場便所新築工事

菱阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 豊 慎 昌

図面名称 新築時仮設計画図 (参考)

校閲	製図	縮尺
		1:250

日付

図面 No. A / 30

構造特記仕様書 2022年度版

9-1 一般事項 選択項目は◎印を適用し、○印が無い場合は※印を適用する。○印が複数ある場合は、共に適用する。

- 1-1 使用材料は原則としてJIS規格品、JAS規格品、又は大臣認定品とする。
1-2 設計図書の前記順次は下記による。
1)本特記仕様書
2)設計図
3)標準図
◎鉄筋コンクリート構造配筋標準図
鉄骨工作標準図
鉄筋鉄骨コンクリート構造標準図
鉄筋コンクリート壁式構法標準図
4)仕様書(公共建築協会 ※日本建築協会)
日本建築学会標準仕様書、JASS5、JASS6(最新版)とする
1-3 各工事に際して、施工計画書及び施工図を提出し、工事監理者の承認を得る。
1-4 構造関係材料及び各種試験成績書・検査報告書を作成し提出する。
第三者機関による検査・試験費用は工事費に(含む/含まない)
1-5 設計図書に示されていない材料、工法等を採用する場合は文書にて工事監理者の承認を得る。
1-6 資材位置、径、及び管径数は(必要図/構造図 ※設備図)による。
1-7 その他

9.2 構造計算ルート

Table with columns: Direction (X, Y), Frame Type (e.g., *R-1), and Frame Type (e.g., *R-1-2). It lists structural calculation paths for different directions.

2-2 鉄筋の組手(定着については設計図書もしくは標準図による)
構造計算ルート別による主筋又は、耐力壁の鉄筋の組手の置かれ方
※ 建築基準法施行令第7条第2項による仕様標準
日本建築学会 JASS5(2018)、鉄筋コンクリート構造設計・用解説
日本建築学会 平成20年18
四方両方共R-1と3及び境界耐力計算の場合は、令第7条第3項の仕様規定による(JASS5(2018))。
鉄筋コンクリート構造設計・用解説及びRC標準2018とすることができ。

9.3 仮設工事、土工事

- 3-1 山留め、掘り切り
3-2 埋戻し土、盛土、残土処分
埋戻し土 ※ 掘り切り土の中の良土
盛土 ※ 掘り切り土の中の良土
残土処分 ※ 場内均等地 ※ 場外処分(※ 自由・指定場所)

9.4 地盤工事

Table for foundation and ground work. Columns include location (場所), concrete thickness (接着コンクリート厚さ), and width (厚さ). It details specifications for independent piles and beta piles.

注1) アンカーボルト支持用プレームの、あと施工アンカーを打込む部分は100以上とする。
注2) 埋戻しは100以上とする。

4-2 設計地耐力 長期 75 kN/m2 短期 150 kN/m2 終局 kN/m2
地耐力確認試験 ※ 行う(箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ※ 行わない

- 4-3 地盤改良
鉄筋コンクリート地業
締固め工法
セメント系固化材料
圧密排水工法
[載荷試験
軸圧縮試験] ※ 行う(箇所) ※ 行わない
[六価クロム抽出試験] ※ 行う ※ 行わない
4-4 鉄筋コンクリート杭、鋼管杭、その他特種杭
1) 標準
PHC杭
A種
B種
C種
SC杭
I種
II種
III種
IV種
鋼管杭
2) 工法
打撃工法
油圧ハンマー
ディーゼルハンマー
プレローディングセメント圧入工法
プレローディング拡大掘削工法(認定工法)
杭間固定
あり/なし
中継拡大掘削工法(認定工法)
回転掘削工法(認定工法)
回転杭工法
先行掘削
あり/なし
Hyper-ME6A工法(認定工法)

Table for rebar design strength. Columns include rebar diameter (径), length (長さ), and number of bars (本数). It lists design strength values for different rebar types.

- 4) 杭の構成は設計図による。
5) 杭標準図
杭工法
場内打設鉄筋コンクリート杭、場外打設鉄筋コンクリート杭
1) 工法
アンカーボルト工法
底面アンカーボルト工法
リース工法
オールケーシング工法
2) 杭径、設計耐力、本数表(底面部は施工図を示す)

Table for pile design strength. Columns include rebar diameter (径), length (長さ), and number of bars (本数). It lists design strength values for different pile types.

- 3) 杭先端深さ
4) 杭先端測定(2方向)
5) 使用材料
コンクリートの仕様は設計図による。特記のない場合JASS5水中コンクリートによる。
鉄筋
F_o
鋼管(リブ付)
SRK400
SRK490

- 4-6 杭打込み共通事項
1) [試験杭
試験観] ※ 行う(本) ※ 行わない
2) 数値試験 ※ 行う(箇所、長期設計耐力の3倍を確認する) ※ 行わない
3) 土留布 ※ 行う ※ 行わない

9.5 鉄筋工事

Table for rebar work. Columns include rebar type (種類), diameter (径), and lap length (組手). It lists lap length requirements for various rebar types and grades.

- 5-2 ガス圧灌部の検査(第三者機関による)外観検査全数(引張り試験の場合、施工者自主検査でもよい)
引張り試験(JIS Z3210)
検査ロットにつき ※ 3本
原則、柱・梁の径毎に3本
超音波探傷試験(JIS Z3092) ※ 熱間引抜き試験
検査ロットにつき ※ 30箇所
不合格となった圧灌部は切り取り再圧灌を行う。また残存全数に対して超音波探傷試験を行う。
検査ロットは1組の作業班が1日に施工した圧灌箇所の数で200箇所以内

5-3 洋鉄、機械組手等の検査は各々の認定方法による。日本建築学会仕様書(2017年)及び下記を参照する。
JIS Z 3063(鉄筋コンクリート用異形鋼筋用溶接部の超音波探傷試験方法及び判定基準)
JIS Z 3064(鉄筋コンクリート用機械組手鋼筋の鉄筋挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準)

- 5-4 品質確認
補強筋は原則として工場製品(認定品)を使用する。
5-5 その他
基礎梁、基礎小梁の組手及び定着は原則として
①一般
②地反力を受ける
③上載荷重が大きい場合
とす。
梁の余長Dの採用
大梁・小梁 ※ D(有効有効)
埋上下下15d
中央上下20d
基礎の組立は適切な位置にスペーサーを使用し、組立は組立役者のための養生を行う。
コンクリートを打設する部材は、初期の打設後に初期の養生を行う。
コンクリート打設前に工事監理者の検査を受け不備箇所は修正を行う。

9.6 コンクリート工事

- 6-1 レディーミクスコンクリート(JIS A5308-2019)
1) セメント
普通ポルトランドセメント JIS R50210
低熱ポルトランドセメント JIS R50210
2) 粗骨材
砂利 ※ 砕石 ※ 高炉337骨材 ※ 人工軽集骨材 ※ 再生骨材
最大径(mm) ※ 20 ※ 25 ※ 40
3) 設計基準強度 f_{ck}(N/mm²) (使用区分は設計図の補註に示す)
普通コンクリート
先行掘削 ※ あり/なし
Hyper-ME6A工法(認定工法)
F_o
F_o21
F_o24
F_o27
F_o30
F_o
F_o
F_o
F_o18
F_o21
F_o24
F_o27
F_o30
F_o30
F_o
F_o

- 4) 土間コンクリート
5) 接着コンクリート
6) 防水層下コンクリート
7) かま上げコンクリート

Table for concrete strength. Columns include strength (F_c (N/mm²)), type (種別), and remarks (備考). It lists strength values for different concrete types.

- 6-2 漏れ材
※ 経水減水剤
※ 高性能減水剤
※ 躯体防水材
※ 断熱材
注1) 漏れ材は所定の品質を確保するためにブランドの特性に応じたものを使用する。

Table for concrete strength. Columns include type (種別), strength (F_c (N/mm²)), and remarks (備考). It lists strength values for different concrete types.

- 6-4 試験(躯体コンクリートの28日引張り試験は公称値に於いて行う)
1) 材料
フレッシュコンクリート
スランプレット
コンクリートコア抜き取り試験
マスキングコンクリートのひび割れ試験(温度応力降下)
2) 単位水質調整
割合管理値
材料の配合
F_o
F_o17.73or
F_o20.85F_oまたは12W/m²
注) 設計基準強度

- 6-5 鋼合(補正工事項目を含む)
引張引張試験
短径(18)
鋼管管理値
材料の配合
F_o
F_o17.73or
F_o20.85F_oまたは12W/m²
注) 設計基準強度

Table for concrete strength. Columns include type (種別), strength (F_c (N/mm²)), and remarks (備考). It lists strength values for different concrete types.

- 6-7 養生
養生表示
養生期間
養生材料
養生材料
養生材料
養生材料
養生材料
養生材料

9.7 鉄骨工事

Table for steel work. Columns include name (規格名), material name (鋼材名), and remarks (備考). It lists specifications for various steel materials and components.

Table for high strength bolts. Columns include type (高力ボルトの種類) and usage (使用箇所). It lists specifications for different types of high strength bolts.

- 7-2 高力ボルト
7-3 普通ボルト、アンカーボルト
7-4 鋼管スタッド

7-5 溶接材料

- 1) アーク溶接に使用する溶接棒、ワイヤ及びフラックスは母材の種類、寸法、及び溶接条件に相当したものを選択する。
2) ガスシールドアーク溶接に使用するシールドガスは溶接に相当したものとする。

Table for welding materials. Columns include type (種別), material name (鋼材名), and remarks (備考). It lists specifications for different types of welding materials.

- 7-6 スカラップ形状
7-7 継手
7-8 溶接手法及び管理
1) 使用する溶接ワイヤ、入熱量及びガス温度等の仕様については設計図書又は全構図の仕様で、専任の溶接技術者(溶接技術者)により管理を行うこと。
2) 完全溶接は溶接技術者(溶接技術者)の責任で行うこととする。
3) 本工事で代替タブを使用する場合は、代替タブ溶接技術者検査仕様決定付加試験 ※ 行う ※ 行わない
但し、代替タブのM線定有資格者は仕様決定付加試験を免除する。

- 7-9 デッキプレート(単位 mm)
1) 床用
2) 合成スラブ用
3) 型枠用
4) 防錆処理
7-10 塗装(工機用 ※ 2回)
1) 高圧調整
2) 下塗り用塗料

Table for materials. Columns include usage (用途), material name (鋼材名), and remarks (備考). It lists specifications for different types of materials.

- 3) 溶融溶接メッキ
4) 常温溶融メッキ
5) 高耐食メッキ鋼板

7-11 溶接部の検査(入検査)

- 1) 実入検査を行う第三者検査機関は、建築主、設計者、工事監理者又は工事施工者(元請)との直接契約による。
2) 第三者検査機関は(注)日本建築協会によるCI検査事業者認定機関における超音波探傷検査部門の認定を受けた事業者とし、当該工事の鉄骨製作工場の社内検査を行っている事業者とする。
3) 実入検査は自前による外観検査と超音波探傷検査とし、社内検査完了後に行う。
4) 外観検査の合格判定は日本建築協会平成14年による。ただし告示に定めのないものは日本建築協会(JASS5(認定工事 2018) 判別、検査成績検査基準)の取扱いによる。
5) 超音波探傷検査は日本建築協会(鋼構造建築接合部の超音波探傷検査標準・用解説)2018により、合格判定は7.2.1条を考慮しない溶接部のうち、引張応力が作用する溶接部の項を適用する。
6) 溶接部数数の取次方は「JASS5(認定工事 2018)表10.1溶接部数数の取次方による。
7) 実入検査の取次り方法及び取次り率は以下による。
a) 溶接部の検査
1) 溶接部の検査
2) 溶接部の検査
3) 溶接部の検査
4) 溶接部の検査
5) 溶接部の検査
6) 溶接部の検査
7) 溶接部の検査
8) 溶接部の検査
9) 溶接部の検査
10) 溶接部の検査
11) 溶接部の検査
12) 溶接部の検査
13) 溶接部の検査
14) 溶接部の検査
15) 溶接部の検査
16) 溶接部の検査
17) 溶接部の検査
18) 溶接部の検査
19) 溶接部の検査
20) 溶接部の検査
21) 溶接部の検査
22) 溶接部の検査
23) 溶接部の検査
24) 溶接部の検査
25) 溶接部の検査
26) 溶接部の検査
27) 溶接部の検査
28) 溶接部の検査
29) 溶接部の検査
30) 溶接部の検査
31) 溶接部の検査
32) 溶接部の検査
33) 溶接部の検査
34) 溶接部の検査
35) 溶接部の検査
36) 溶接部の検査
37) 溶接部の検査
38) 溶接部の検査
39) 溶接部の検査
40) 溶接部の検査
41) 溶接部の検査
42) 溶接部の検査
43) 溶接部の検査
44) 溶接部の検査
45) 溶接部の検査
46) 溶接部の検査
47) 溶接部の検査
48) 溶接部の検査
49) 溶接部の検査
50) 溶接部の検査
51) 溶接部の検査
52) 溶接部の検査
53) 溶接部の検査
54) 溶接部の検査
55) 溶接部の検査
56) 溶接部の検査
57) 溶接部の検査
58) 溶接部の検査
59) 溶接部の検査
60) 溶接部の検査
61) 溶接部の検査
62) 溶接部の検査
63) 溶接部の検査
64) 溶接部の検査
65) 溶接部の検査
66) 溶接部の検査
67) 溶接部の検査
68) 溶接部の検査
69) 溶接部の検査
70) 溶接部の検査
71) 溶接部の検査
72) 溶接部の検査
73) 溶接部の検査
74) 溶接部の検査
75) 溶接部の検査
76) 溶接部の検査
77) 溶接部の検査
78) 溶接部の検査
79) 溶接部の検査
80) 溶接部の検査
81) 溶接部の検査
82) 溶接部の検査
83) 溶接部の検査
84) 溶接部の検査
85) 溶接部の検査
86) 溶接部の検査
87) 溶接部の検査
88) 溶接部の検査
89) 溶接部の検査
90) 溶接部の検査
91) 溶接部の検査
92) 溶接部の検査
93) 溶接部の検査
94) 溶接部の検査
95) 溶接部の検査
96) 溶接部の検査
97) 溶接部の検査
98) 溶接部の検査
99) 溶接部の検査
100) 溶接部の検査

9.8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板・PCa板工事

Table for concrete block and panel work. Columns include type (種類), thickness (厚さ), and remarks (備考). It lists specifications for different types of concrete blocks and panels.

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1) 2022年度版

1-1 基本事項

- §1 一般事項
1. 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
 2. 設計図書に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書1-2-4に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS5(2016)」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
 3. 本標準図は異形断面を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
 4. 本標準図に示す単位は特記なき限りすべてmmとする。

1-2 その他

§2 共通事項

鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	●	○	×	⊗	⊕	×					
呼び径 d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径 D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

2-1 鉄筋の表示記号

フックのない場合
フックのある場合
本数に差がある場合
機械式継手表示
溶接継手表示
(ガス圧接、突き合せ溶接)

折曲げ角度	図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内法長さ(D)
180		柱・梁主筋 基礎主筋	SD295	D16以下	34以上
135		あら筋 スライラ筋	SD345	D19~D41	4d以上
90		スラブ筋 筋筋	SD390	D41以下	5d以上
			SD490	D25以下	5d以上
			D29~D41	D29~D41	6d以上

2-2 鉄筋の折り曲げ

鉄筋の種類	コンクリートの設計強度 (N/mm ²)	重ね継手の長さ		定着の長さ	
		上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
18	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		40d(45d)	35d	40d	15d(20d)
		40d(45d)	35d	40d	20d
21	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		35d(40d)	30d(35d)	35d	15d(20d)
		35d(40d)	30d(35d)	35d	20d
24~27	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		35d(40d)	30d(35d)	35d	15d(20d)
		35d(40d)	30d(35d)	35d	20d
30~36	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		35d(40d)	30d(35d)	35d	15d(20d)
		35d(40d)	30d(35d)	35d	20d
39~45	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		30d(35d)	25d(30d)	30d	15d(20d)
		30d(35d)	25d(30d)	30d	20d
48~60	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		30d	25d	30d	15d
		30d	25d	30d	20d
21	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		50d(-)	40d(-)	50d	20d
		50d(-)	40d(-)	50d	20d
24~27	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		45d(50d)	40d(45d)	45d	20d
		45d(50d)	40d(45d)	45d	20d
30~36	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		40d(50d)	35d(40d)	40d	15d
		40d(50d)	35d(40d)	40d	20d
39~45	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		40d(45d)	35d(40d)	40d	15d
		40d(45d)	35d(40d)	40d	20d
48~60	45(50)	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂	上層 長さ L ₁	下層 長さ L ₂
		35d(40d)	30d(35d)	35d	15d
		35d(40d)	30d(35d)	35d	20d

2-3 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

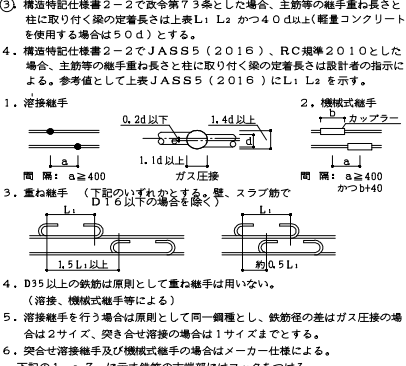
「JASS5(2016)」に準拠

一般定着の距離 L₂ または フック付きの L_{2h}, L_a, L_b の図

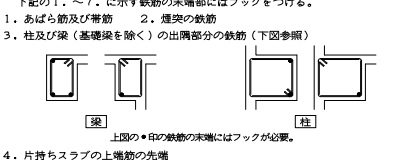
1. 重ね継手の長さは鉄筋の折曲げ起点間の距離、又、フック付きの L_{2h} は仕口面から鉄筋の折曲げ起点までとし、末端のフックは定着長さに含まない。

2. 軽量コンクリートを使用する場合は、2-3の数値に 5d を加算する。

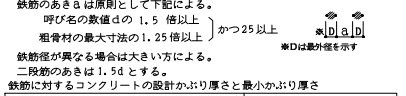
2-4 継手一般



2-5 鉄筋のフック



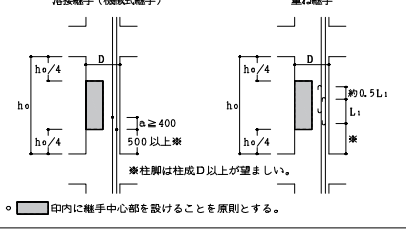
2-6 鉄筋のあき



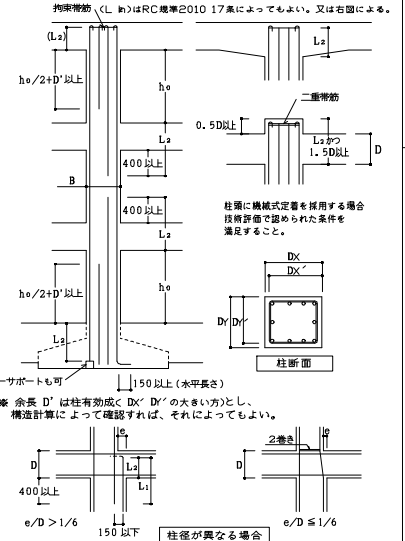
2-7 かぶり厚さ

部位	土に接しない部分	かぶり厚さ	
		仕上げあり	仕上げなし
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	層内	30(20)
		層外	30(20)
		柱・梁 耐力壁	40(30)
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁 基礎の立上り 基礎・擁壁	層内	40(30)
		層外	40(30)
		柱・梁・床スラブ・壁	50(40)
	基礎の立上り	50(40)	
	基礎・擁壁	70(60)	

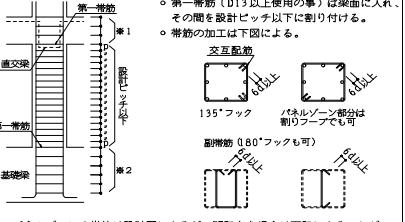
3-1 主筋の継手



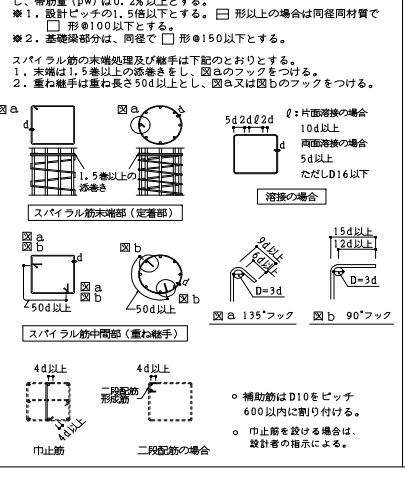
3-2 主筋の定着



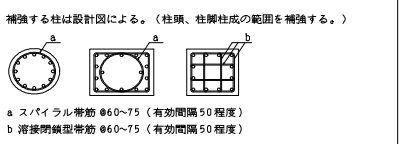
3-3 帯筋



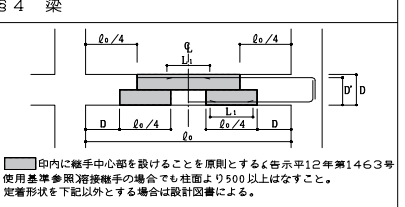
3-4 補助筋



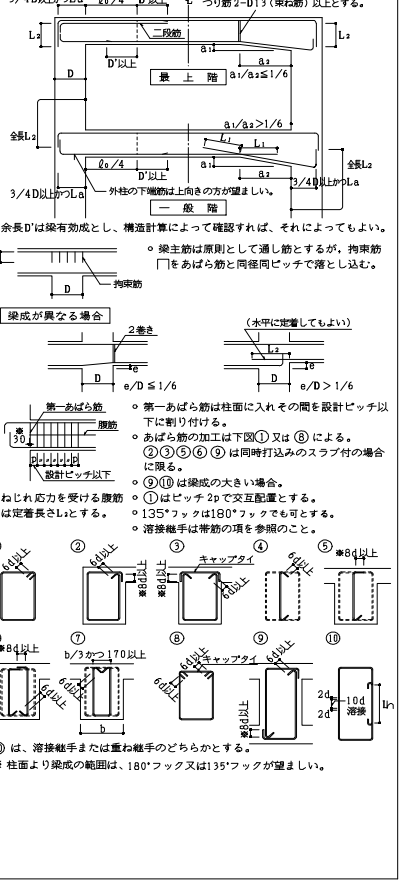
3-5 柱のコンファインド補強



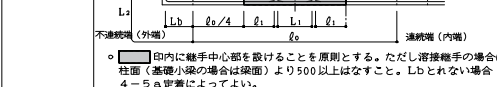
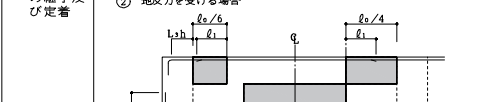
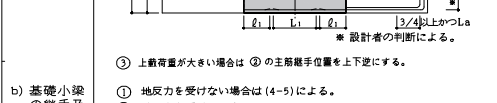
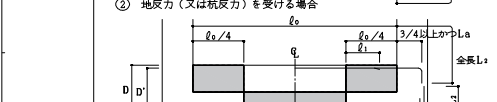
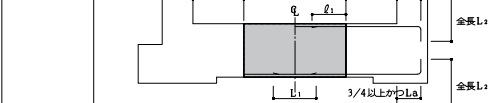
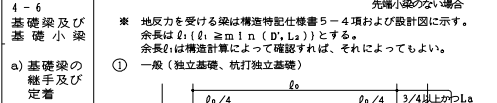
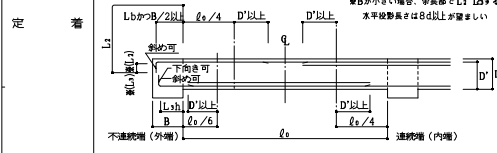
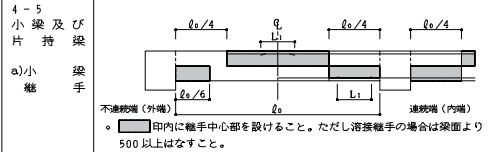
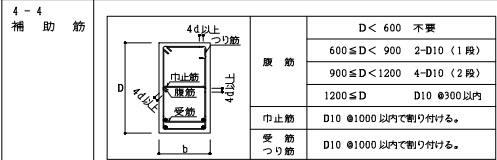
4-1 主筋の継手



4-3 あばら筋

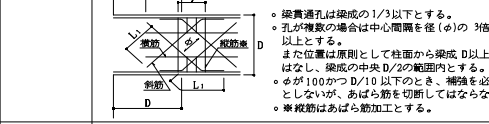


鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2022年度版

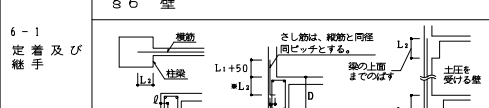
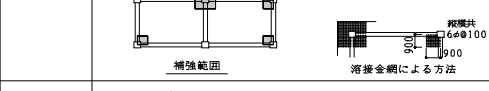
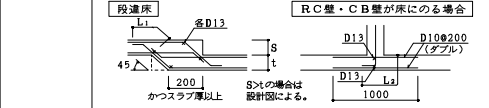
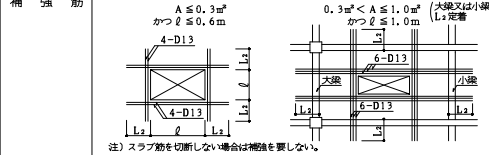
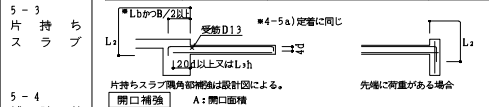
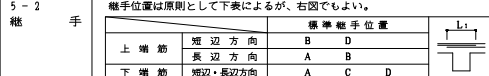
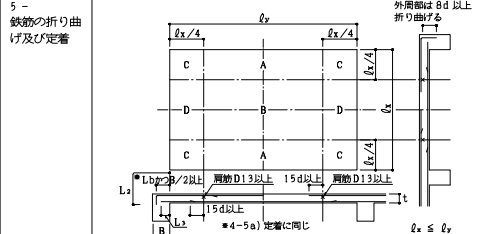


4-7 梁の貫通補強

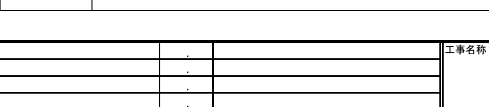
1. 補強筋は原則として工場製品(認定品)を使用する。
2. 認定品を使用しない場合は下記によるが、補強筋は設計者の指示による。



§5 スラブ



§6 壁

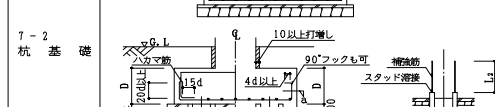
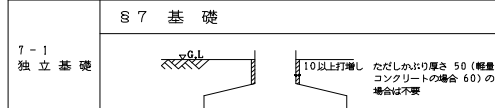
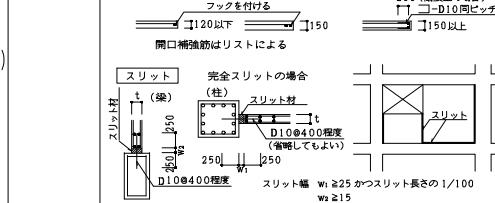
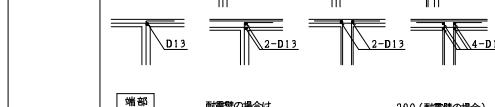
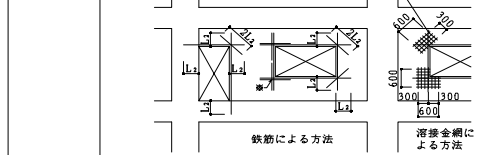


6-2 壁配筋

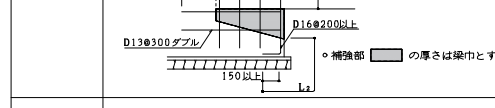
6-3 補強筋

- 定着長さはl_e及び継手長さはl_bとする。
- ただし耐震壁で帯筋、あばら筋の内側に定着できない場合は、l_e = 8dかつ150以上 45~90°折り曲げ、定着長さはl_eかつD/2以上とする。
- (通し配筋の場合は不要)
- 土圧を受ける壁の外側鉄筋の定着は○図による。
- 継手位置は○の部分でもよいが、土圧を受ける壁は5-2項の土圧面側を上端筋側に読み替える。
- 壁の配筋は設計図による。
- ダブル配筋では巾止筋を縦横共D10⑩1000以内を標準とする。

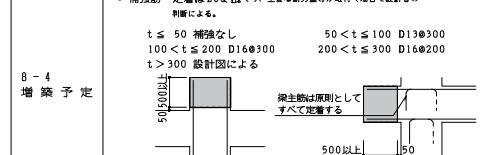
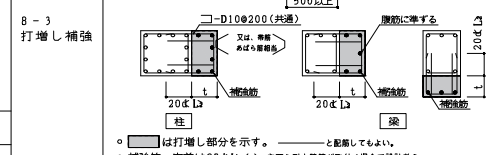
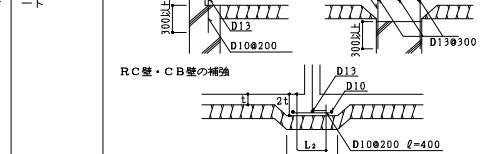
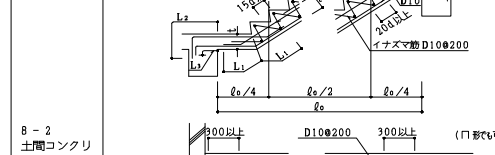
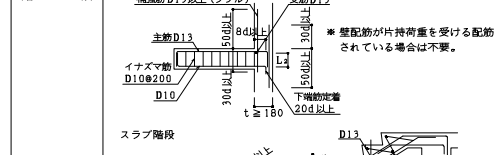
§7 基礎



7-4 基礎と基礎梁



§8 その他

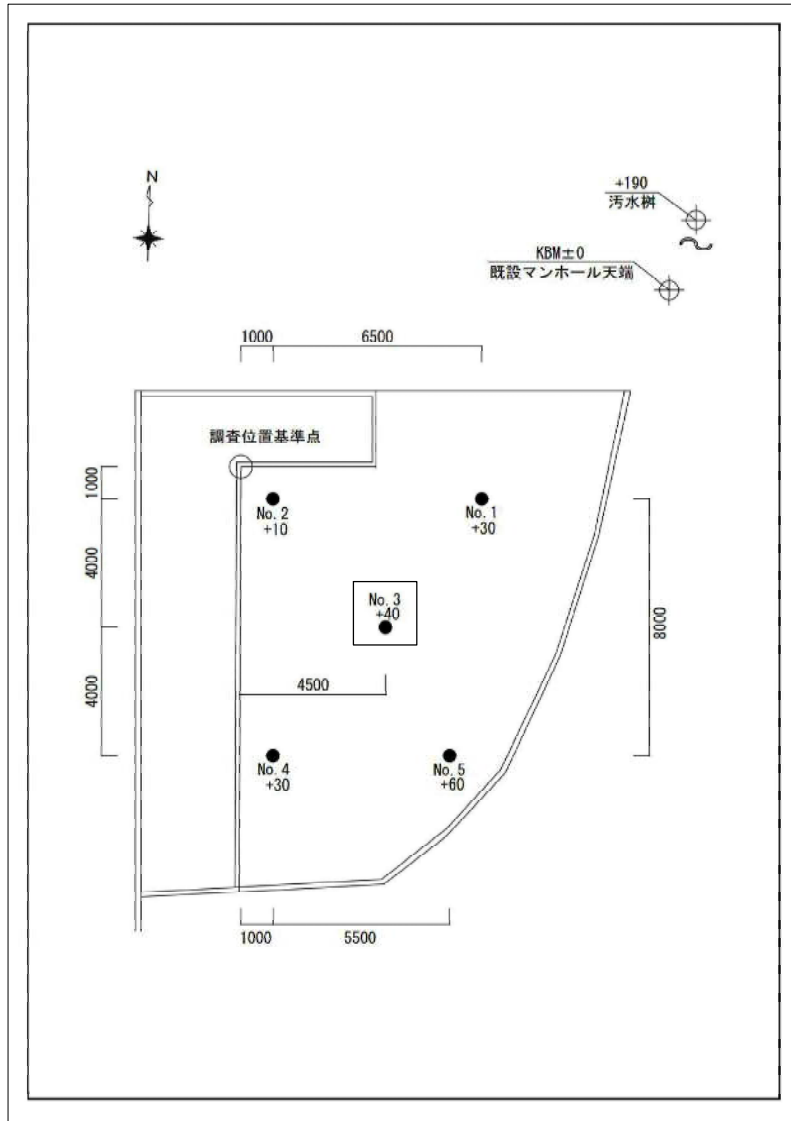


注記

変更	月 日	工事名称

変更	月 日	工事名称

電山公園庭球場便所新築工事



調査位置図

スクリーウエイト貫入試験結果

管理番号	S2022-021-00706-02 / No.20221203257		調査名	亀山公園（フェニックスコート）使用仮構工事改修調査	
調査地住所	三重県亀山市西丸町地内		測点番号	3	
試験深度	1.37 m		調査者	藤野 剛志	
年月日	令和4年12月28日		調査時刻	11:18 ~ 11:30	
緯度・経度	北緯: 34° 01' 23.43"	東経: 139° 24' 31.10"	標高	66m 0.04 m	
シリアル番号	本体: 40035	前脚装置: 40036	水位	6L- 確認できず m	
試験装置	ジオタルテIV 天候 曇				

貫入 深さ h (m)	貫入量 L (mm)	貫入 速度 V (mm/s)	半徑 R (mm)	平均 貫入 抵抗 q _{av} (kN/m ²)	記事 音・感測 貫入状況	貫入量1m当り 平均抵抗 q _{1m} (kN/m ²)	設定 柱状回 径 (mm)	換算 N値 (kN/m ²)	換算 q _v (kN/m ²)
0.25	25	1.06	31.0	124	ガリガリ	25.55 77	700	16.3	164
0.50	28	1.00	48.0	126	ジャリジャリ	28.55 103	700	15.1	123
0.75	25	1.00	47.0	108	ジャリジャリ	25.55 77	700	14.5	120
1.00	25	1.00	81.0	324	ジャリジャリ	25.55 77	700	20.0	120
1.25	25	1.00	145.0	580	挿打響直入	25.55 77	700	20.0	120
1.37	12	1.00	118.0	982	ジャリジャリ 挿打響直入	25.55 77	700	20.0	123

土質凡例			
	砂質粘土	砂質土	

	区別層	前地層

柱状図

注記

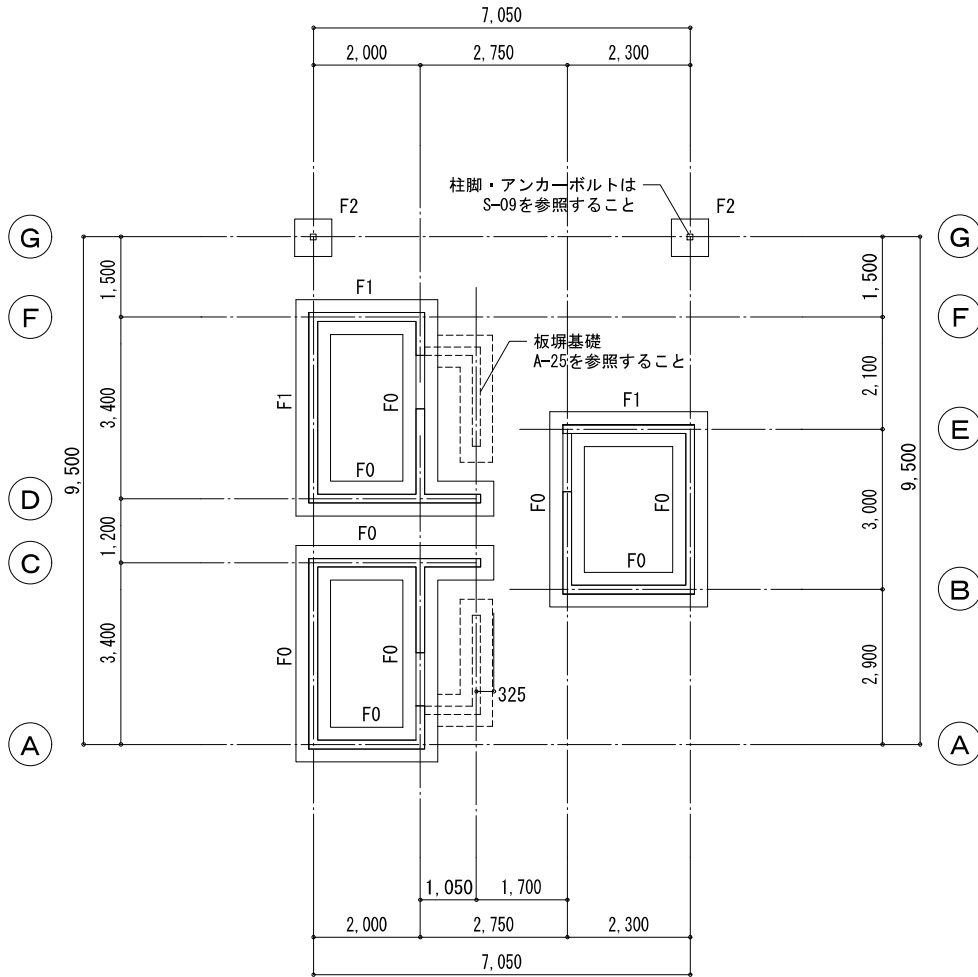
変更	月	日			工事名称
					亀山公園庭球場便所新築工事

亀山公園庭球場便所新築工事

阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
 兼 携 員

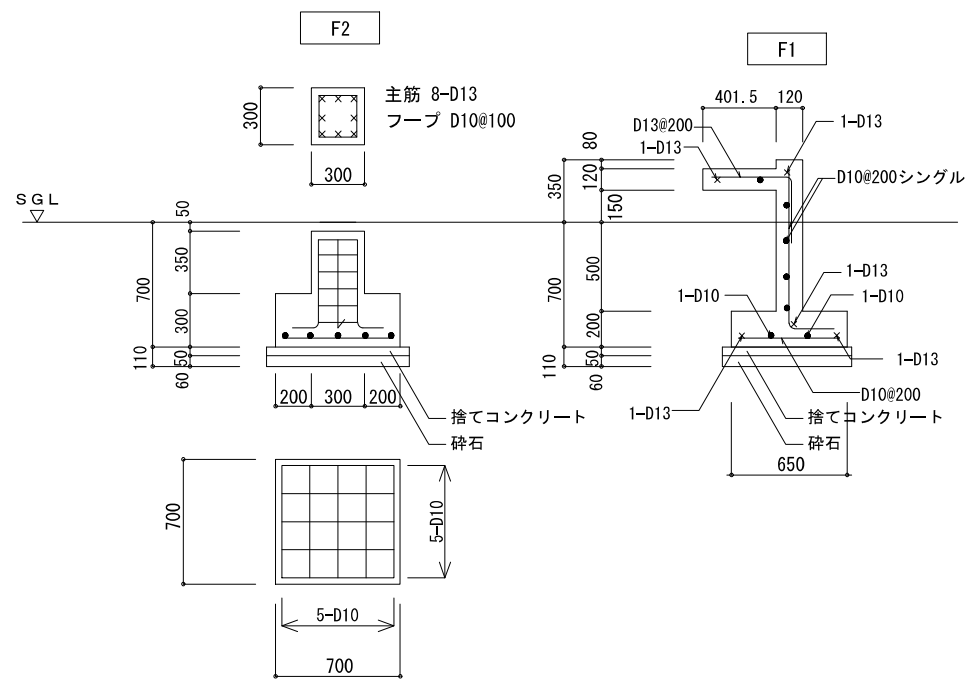
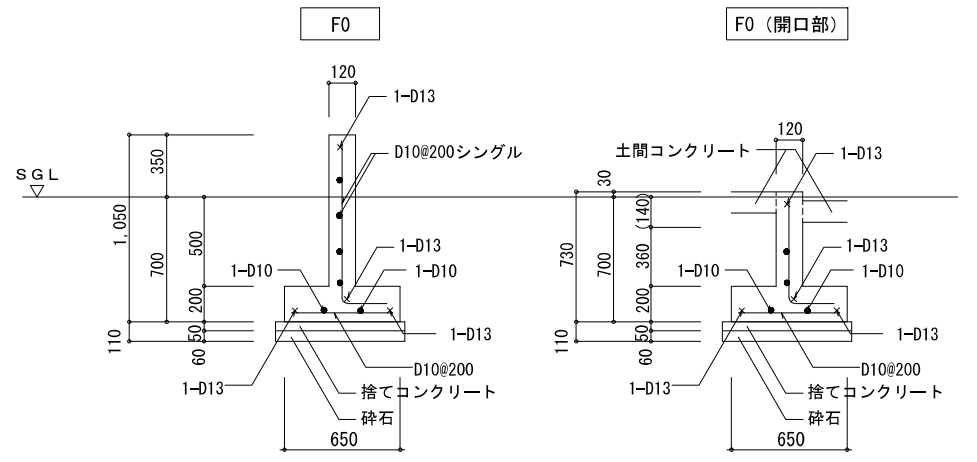
図面名称	柱状図	日付	
校閲		製図	縮尺
			図面No. S / 04

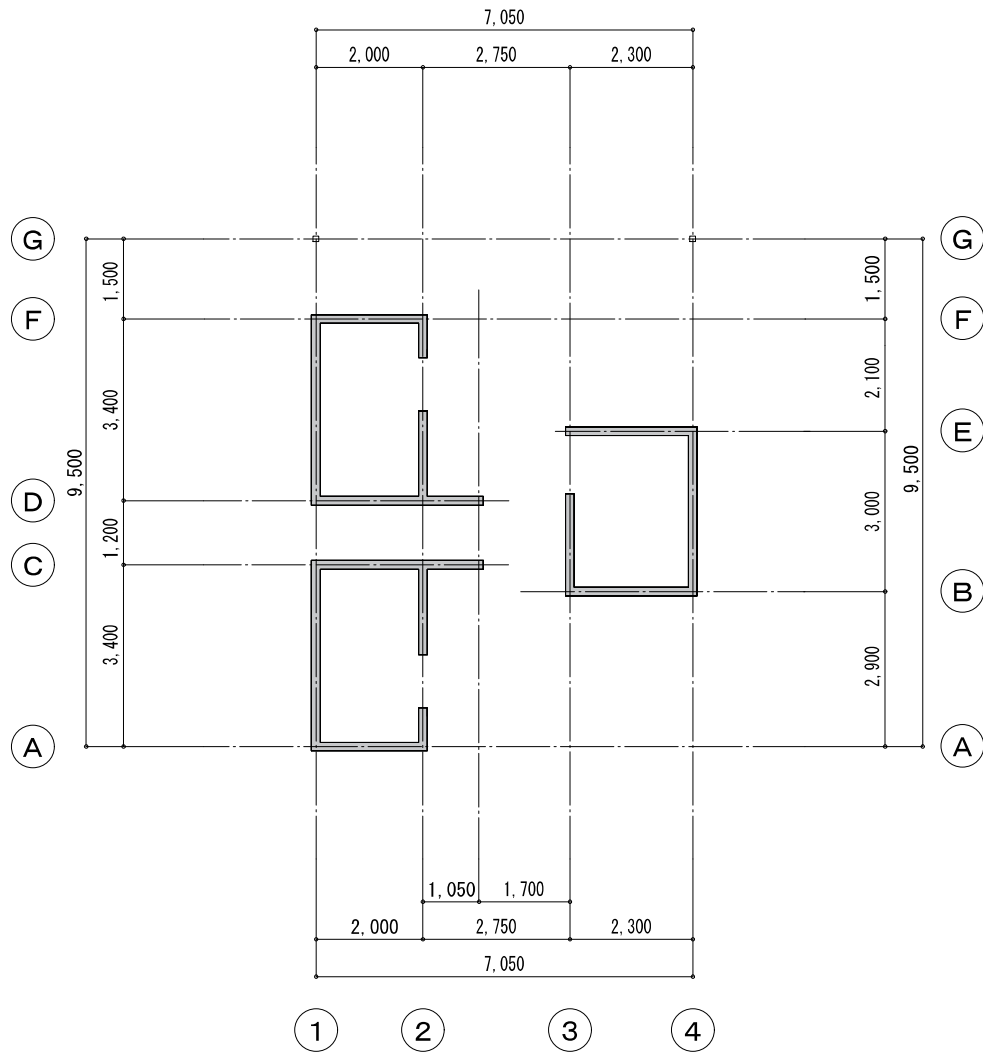
基礎リスト 1:30



1:100

※特記事項
 ° 基礎下端はSGL-700とする。
 °

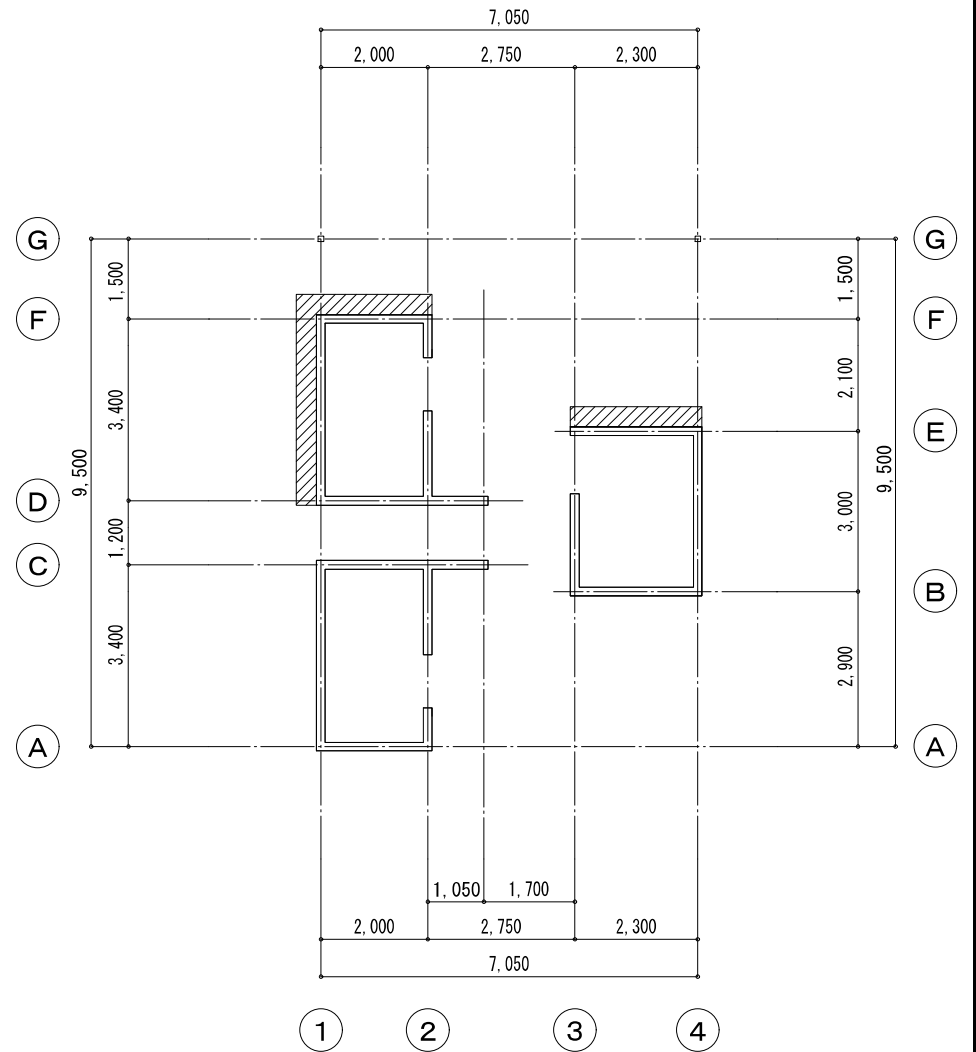




1:100

※特記事項

- 印は立ち上がり壁を示す。GL+350とする。
-



1:100

※特記事項

- 部分はベンチを示す。t=120 配筋D13@200シングル
-

注記

変更	月	日				

工事名称

亀山公園庭球場便所新築工事

阿波設計事務所 三重支店
二級建築士 大阪府知事 登録第 49243号
兼 携 員

図面名称

1階床伏図

日付

校閲

製図

縮尺

1:100

図面No.

S / 06

木工事特記仕様書 non-scale

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
(2) 設計図書
(3) 標準仕様書
(4) 準拠基準
(5) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
(6) 根工架及びプレカートの提出
(7) 製作工場の選定、承諾
(8) 各種証明書・検査記録の提出

- (9) 検査項目
(10) 検査時期
(11) 検査場所

2. 材料の品質

- 2.1 木質材料
(1) 用途別無垢材
(2) 構造用集成材
(3) 構造用無垢材
(4) 構造用合板
(5) 構造用繊維強化プラスチック
(6) 構造用繊維強化プラスチック
(7) 構造用繊維強化プラスチック

- (3) その他木質材料
a. 構造用材料の仕様
b. 構造用合板の仕様

Table with 2 columns: 片側寄置 and 両側寄置. It shows cross-sections of wood joints with dimensions like t ≤ 1.6 and 1.6 ≤ t ≤ 4.0.

Table with 2 columns: 規格 and 構造用規格. It lists dimensions for various wood products like 厚さ t and 設計サイズ S.

- (2) ファスナー（ボルト、ナット、座金、ドリフトピン、ラグスクリューボルト等）

Table listing fasteners with columns for 種類 (Type), 規格 (Specification), and 備考 (Remarks). Includes items like 釘 (Nails), ボルト (Bolts), ドリフトピン (Drift pins), etc.

Table listing bolts with columns for 種類 (Type), ボルト径 (Bolt diameter), and 規格 (Specification). Includes items like 引張力を要するボルト (Bolts requiring tension) and せん断力を要するボルト (Bolts requiring shear force).

3. 材料の塗装

- (1) 本質材料
a. 製品の塗装は下記の通り。
b. 養生塗装は特記なき限り、床・天井・天井・天井は標準塗装とする。

Table for material coating with columns: 種類 (Type), 塗布位置 (Application position), 備考 (Remarks). Lists items like 養生塗料 (Protective coating) and ファスナー (Fasteners).

4. 材料の加工

- (1) 加工寸法
a. 既製品は、メーカー仕様にする。
b. ファスナーの仕様は下記の通り。(d: ボルト径)

Table for material processing with columns: 種類 (Type), 部位 (Part), 仕様 (Specification). Lists items like アンカーボルト (Anchor bolts) and ボルト (Bolts).

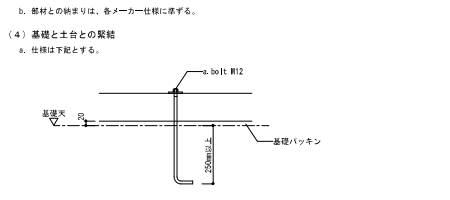
5. その他

- (1) 釘接合
a. 釘材の繊維に対して打ち直し、割れを生じないように調整。
b. 釘の長さは材料の厚さ、t 値以上とする。
(2) 在来仕口、継手の取付
a. 在来仕口、継手の方法は標準図による。

(3) 仕口既製品

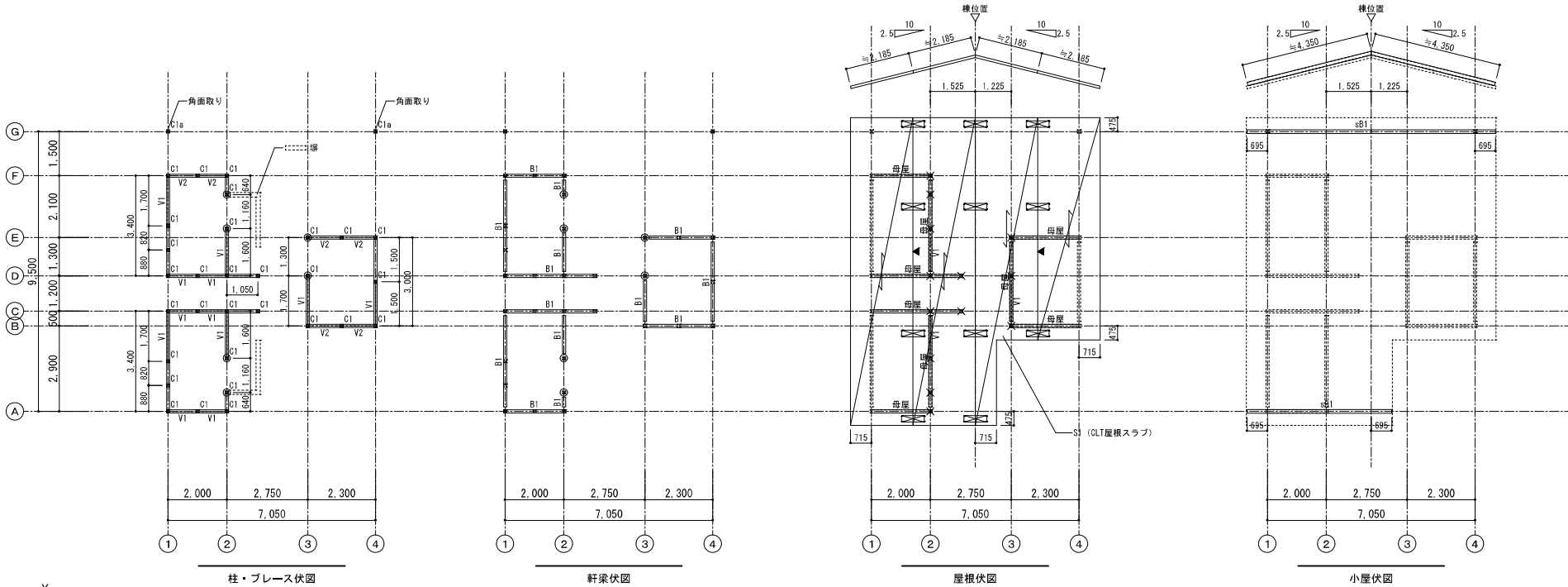
Table for standard joints with columns: 種類、仕様 (Type, Specification) and 種類、仕様 (Type, Specification). Lists items like TH-10, TH-19, TH-24, TH-33.

Table for standard joints with columns: 種類、仕様 (Type, Specification) and 種類、仕様 (Type, Specification). Lists items like PS-105U, PS-105D, PS-105S, PS-245U, PS-245D, PS-245S.



- b. 部材との納まりは、各メーカー仕様にする。
(4) 基礎と土台との繋結
a. 仕様は下記とする。
(5) 基礎と土台との繋結
a. 仕様は下記とする。
(6) 表記方法

Table for notation method with columns: ボルト種 (Bolt type), 規格 (Specification), and 規格 (Specification). Lists items like BT, LG, DP, etc.



特記なき限り
 ① □ は土台を示す。
 ② ⊙ は柱持ち位置を示す。
 ③ プレース方向は軸組図参照。

特記なき限り
 ① 梁天端レベル=RSL±0
 ② ⊙ は柱持ち位置を示す。

特記なき限り
 ① × は柱・束負け位置を示す。
 ② ← はCLTパネル強軸方向を示す。
 ③ ▼ はスプライン接合ラインを示す。
 ④ ≡ はWP-STF金物を示す。

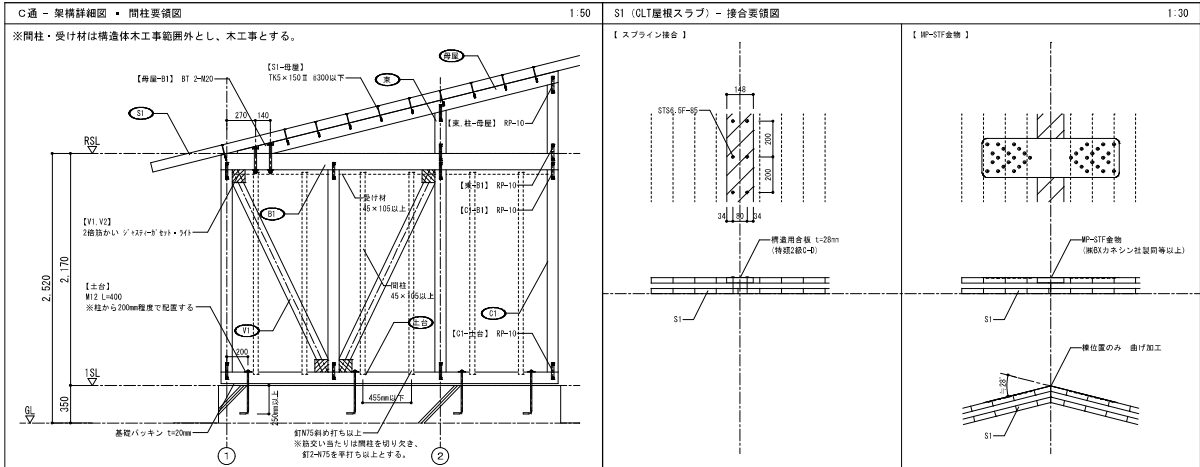
特記なき限り

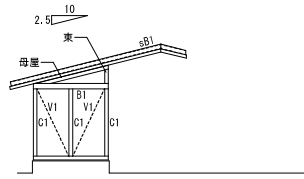
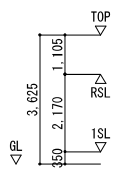
部材リスト

特記なき限り
 ①接合部は詳細図による。 ②既製金物は備考による。 ③製材(現し材)の材面品質は、小節同等とする。

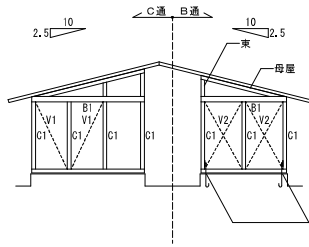
木質部材 断面リスト

符号	断面	材種	使用環境	備考
土台	105×105	無等級材	ヒノキ	防腐防蟻処理
C1	105×105	E70以上	スギ	—
C1a	105×105	E70以上	スギ	柱脚：ステンレス装飾柱受 S1-100角 (※BXカネシマ社製同等以上)
V1	45×90 (片筋かい)	無等級材	スギ	—
V2	2-45×90 (両筋かい)	無等級材	スギ	—
B1	105×150	E70以上	スギ	PS-10SU
sB1	H-125×125×6,5×9	SS400	—	CLT屋根補強 (※構造体木工事範囲外)
束	105×105	E70以上	スギ	—
母屋	105×105	E70以上	スギ	PS-10SU
S1	t=90	S60-3-3 A種	スギ	B CLT屋根スラブ

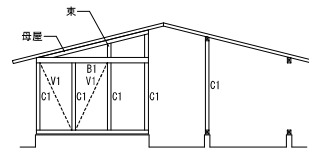




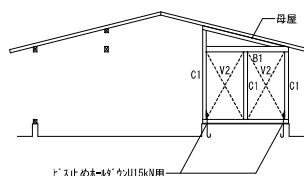
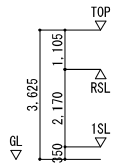
A通 軸組図



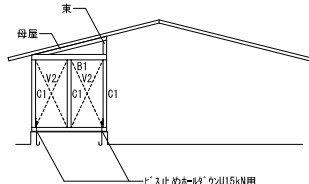
B~C通 軸組図



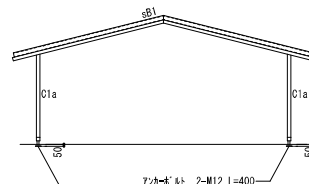
D通 軸組図



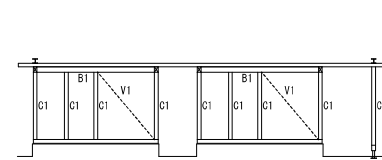
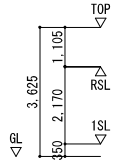
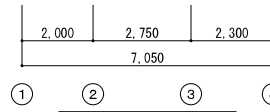
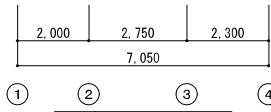
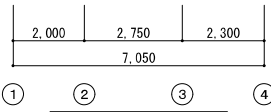
E通 軸組図



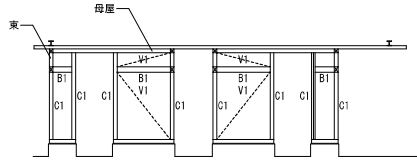
F通 軸組図



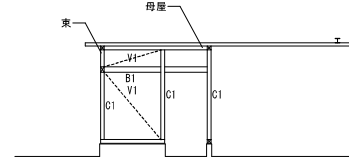
G通 軸組図



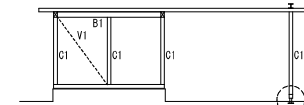
1通 軸組図



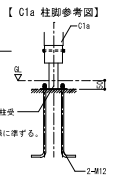
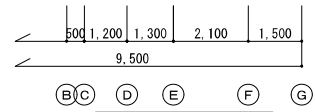
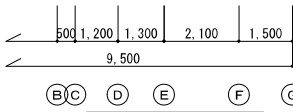
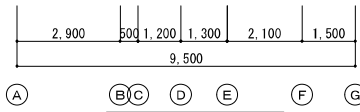
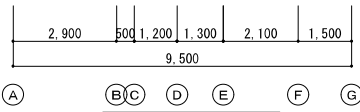
2通 軸組図



3通 軸組図



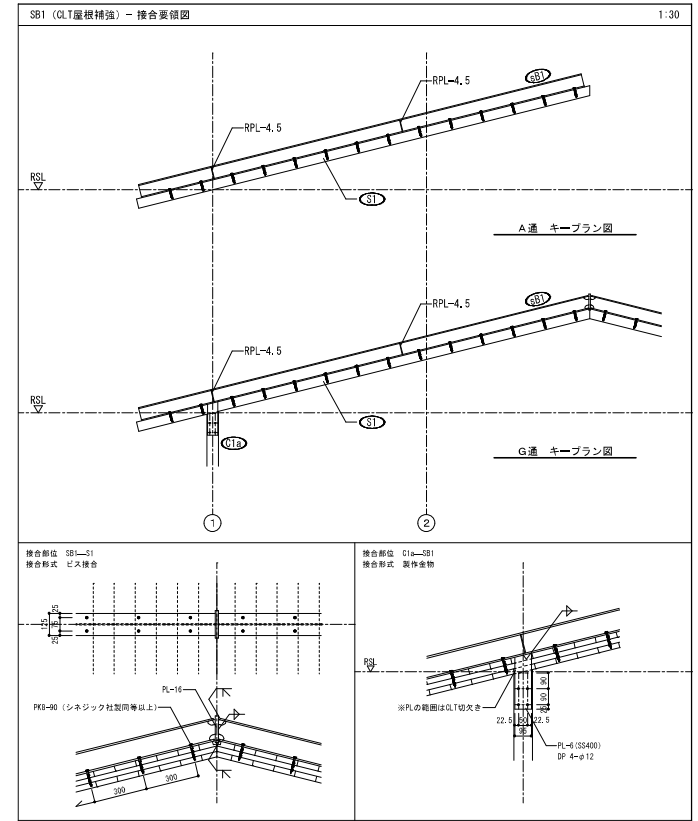
4通 軸組図



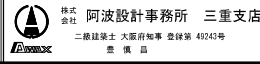
【C1a 柱部参考図】

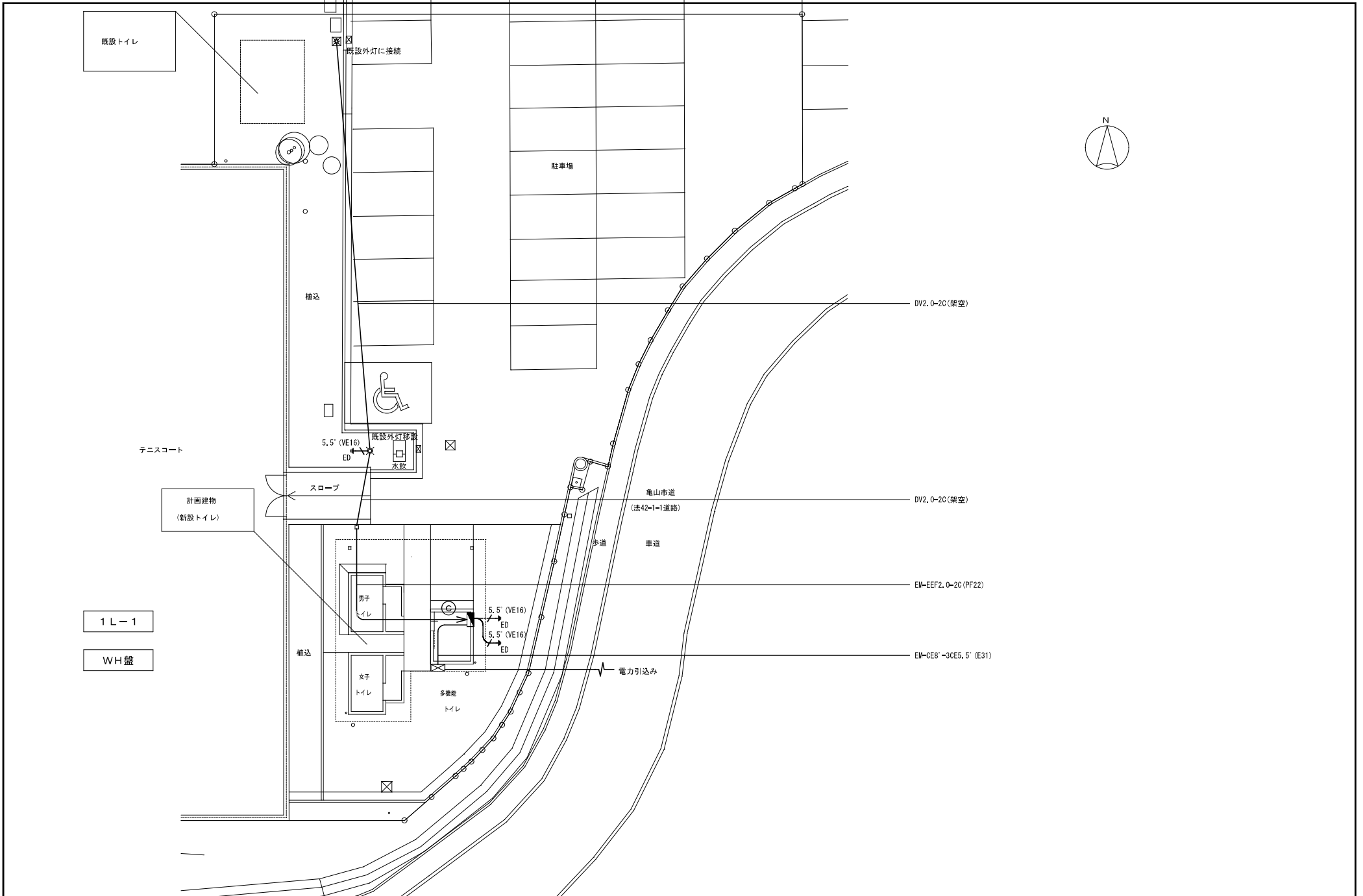
特記なき限り

- ① ISLは基礎立上り天端を示す。
- ② 基礎は基礎伏図参照とする。



項目		特記事項		項目		特記事項					
● 工事概要 1. 工事概要 2. 建物概要 3. 工事項目 4. 建築部分				● 電気設備 1. LED照明器具 2. 非常用照明器具の調査 3. 照明制御設備の調査 4. 照明器具 5. 照明回路 6. 施工の留意 7. インバータ機器の取付 8. 動力設備 9. 受電設備 10. 充電設備 11. 電気設備 12. 使用燃料 13. 電気設備 14. 太陽光 15. 構内交換設備 16. 構内配電線路 17. 構内通信線路 18. 電力設備 19. 電力設備 20. 電力設備 21. 電力設備				● 特記事項 1. LED照明器具 2. 非常用照明器具の調査 3. 照明制御設備の調査 4. 照明器具 5. 照明回路 6. 施工の留意 7. インバータ機器の取付 8. 動力設備 9. 受電設備 10. 充電設備 11. 電気設備 12. 使用燃料 13. 電気設備 14. 太陽光 15. 構内交換設備 16. 構内配電線路 17. 構内通信線路 18. 電力設備 19. 電力設備 20. 電力設備 21. 電力設備			
● 仕様書 1. 標準仕様 2. 特記仕様				● 仕様書 1. 標準仕様 2. 特記仕様							
● 仕様書 1. 標準仕様 2. 特記仕様				● 仕様書 1. 標準仕様 2. 特記仕様							





既設トイレ

既設外灯に接続

駐車場



植込

DV2, 0-20 (架空)



テニスコート

5.5' (VE16)

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

ED

テニスコート

計画建物
(新設トイレ)

スロープ

亀山市道

(法42-1-1道路)

DV2, 0-20 (架空)

歩道

車道

EM-EEF2, 0-20 (PF22)

1 L - 1

WH盤

植込

多機能
トイレ

多機能
トイレ

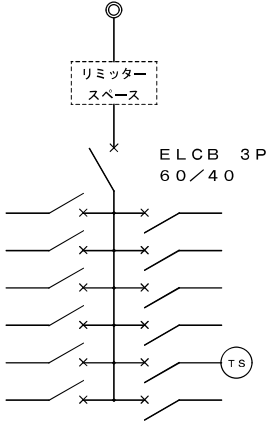
電力引込み

EM-CE8'-30E5, 5' (E31)

注記	変更	第1号		工事名称	株式会社 阿波設計事務所 三重支店 二級建築士 大田有知事 登録第 49243号 豊 田 昌	図面名称 改修後配置図 枚数 製図 幅尺 1:200 図面No. E / 0.2	日付
				電山公園庭球場便所新築工事			

1L-1 屋内壁掛型

1φ3W 200-100V 5.500kVA



- | | | | | | | | |
|-------|------|---------|---|---|-------|------|---------|
| コール親機 | 100V | 50 VA | ① | ② | コンセント | 100V | 1000 VA |
| コンセント | 100V | 700 VA | ③ | ④ | コンセント | 100V | 800 VA |
| コンセント | 100V | 1300 VA | ⑤ | ⑥ | 自販機用 | 100V | 1000 VA |
| ヨビ | 100V | | ⑦ | ⑧ | ヨビ | 100V | |
| 照明 | 100V | 250 VA | Ⓐ | Ⓑ | 照明 | 100V | 100 VA |
| 外灯 | 100V | 300 VA | Ⓒ | Ⓓ | ヨビ | 100V | |

BS: 100V MCCB 2P 50/20 x 12
24時間タイムスイッチ x 1

照明器具姿図



非常用照明
軒下用ダウンライト (パナソニックXNW0631WL相当品)

A 1	LED 4.6W 電球色
-----	--------------



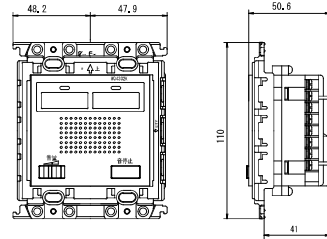
庭園灯 (パナソニックXLGE532BLZ相当品)

B 1	LED 4.3W
-----	----------

呼出機器姿図

コール親器 (2回路)

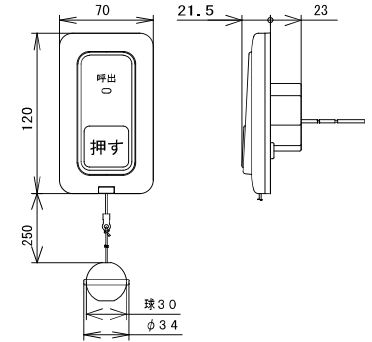
コール親器 (2回路)



定格	電源電圧 AC100V 50/60Hz
	消費電力 待機時: 3W以下 最大時: 5.5W以下
形状	埋込型 (適合ボックス 2用スイッチボックス (深型))

パナソニックWA4302K相当品

トイレ呼出押ボタン (引きひも付)



定格	微小電流形 (30mA 12V)
----	------------------

パナソニックMS667Z相当品

WH盤 屋外壁掛型

1φ3W 200-100V

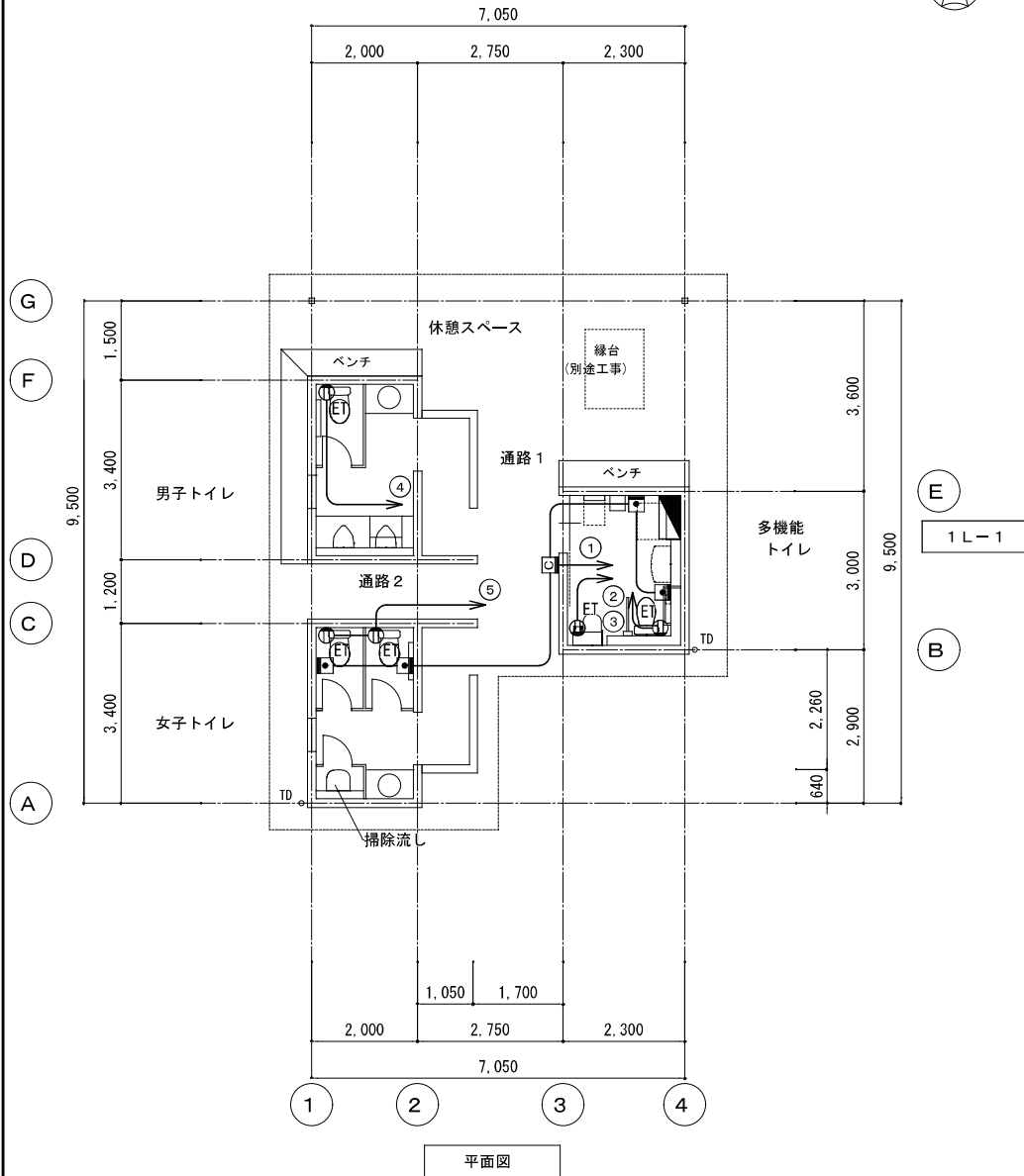


注記	変更	月	日	工事名称
				亀山公園庭球場便所新築工事

工事名称
亀山公園庭球場便所新築工事

株式会社 阿波設計事務所 三重支店
二級建築士 大田博知 登録第 49243号
〒 590 0000 津 信 島

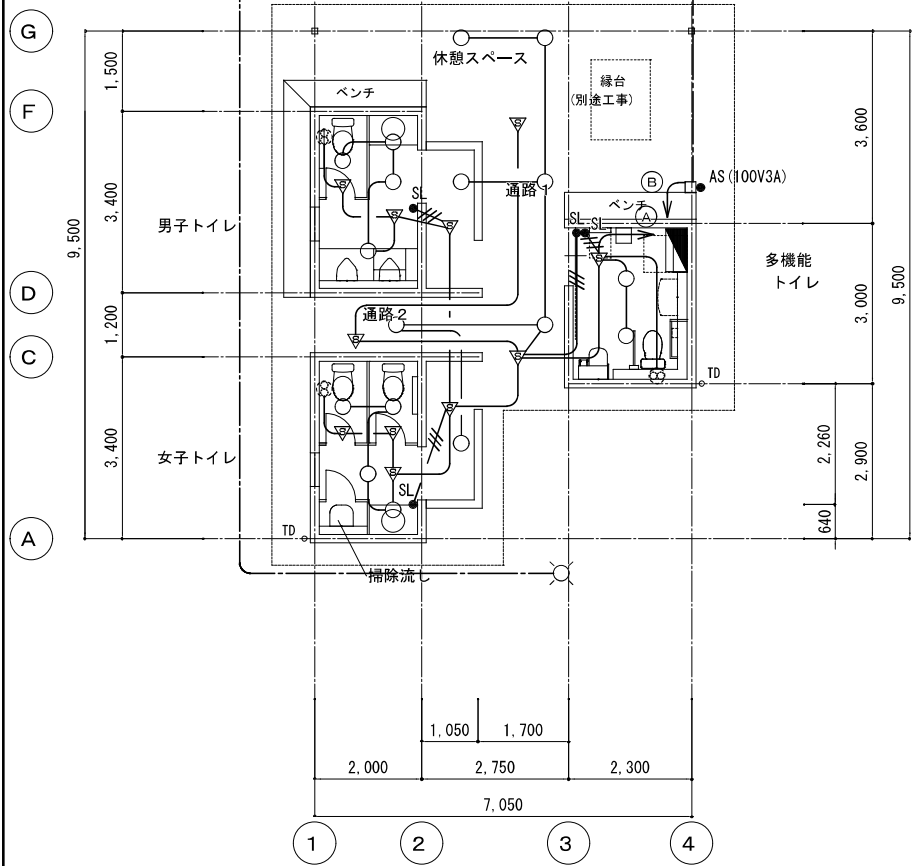
図面名称	盤結線図・照明器具姿図	日付	
枚数		製図	幅尺
		NO SCALE	図面No.
			E / 0.3



平面図

注記)
 図中、特記なき配線は下記とする
 EM-EEF2.0-3C 1C7-ス (PF22)
 但し、床・壁等の埋設部分はP F管にて保護する
 露出する配管は金属管とし、指定色塗装とする

凡 例			
	分 電 盤		
	壁付コンセント	2P15A×2 E, ET付	1個又は3個以上は傍記
	コール親機	2回路	パナソニック製WQ4302K相当品
	トイレ呼出押ボタン (引きひも付)		パナソニック製WS6772相当品
	アウトレットボックス		
	プルボックス		
	天井隠ぺい埋込配管		
	床埋込配管		
	露出配管		
	OAフロア内配線		



平面図

E
1 L-1

B

通路・休憩スペース	
A 1	7
B 1	3

バリアフリートイレ	
A 1	2

男子トイレ	
A 1	4

女子トイレ	
A 1	4

注記)

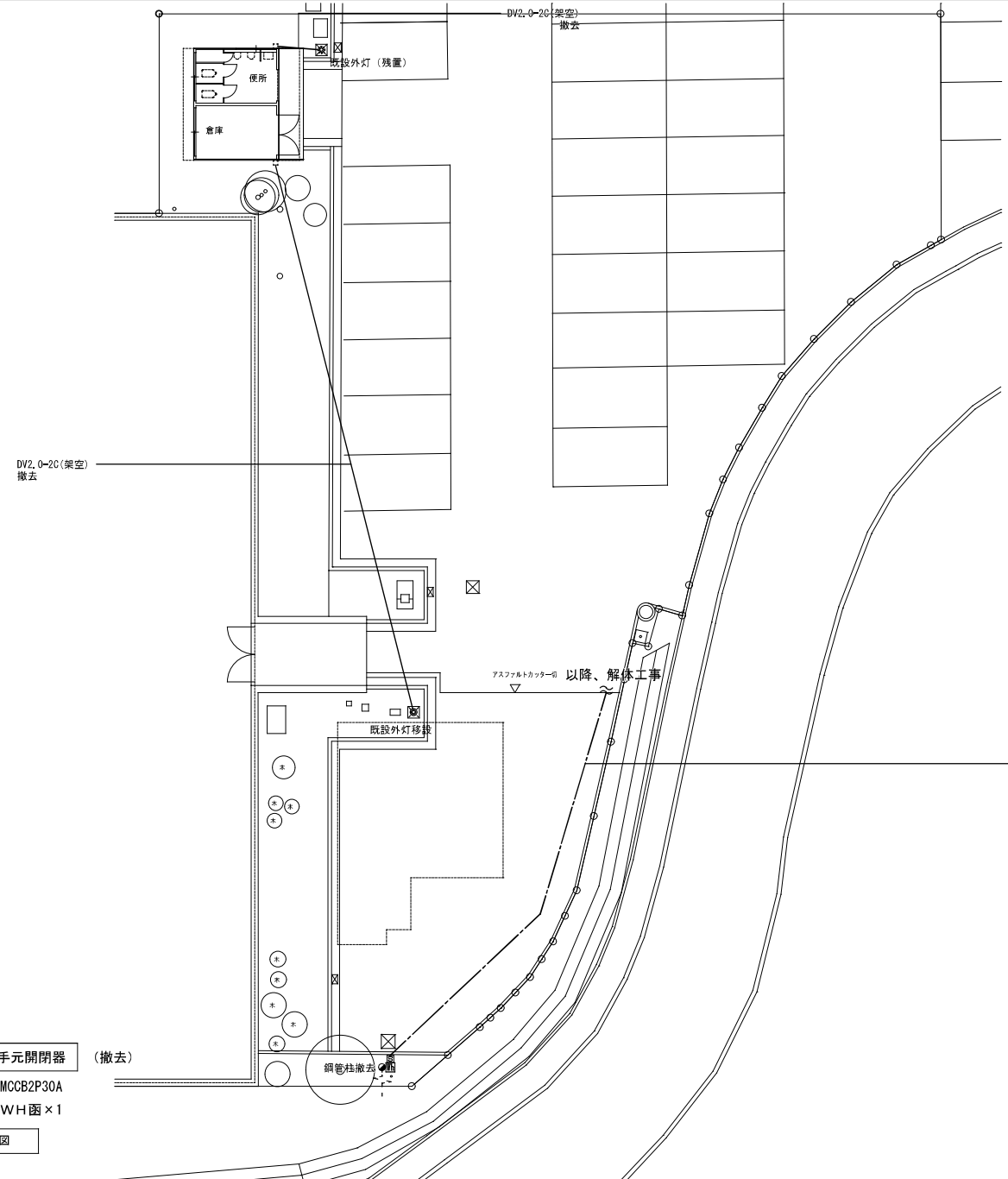
図中、特記なき配線は下記とする

- EM-EEF 1.6-3C 107-ス (PF16)
- // EM-EEF 1.6-2C × 2 107-ス (PF16)
- /// EM-EEF 1.6-2C + EM-EEF 1.6-3C 107-ス (PF22)
- //// EM-EEF 1.6-3C × 2 107-ス (PF22)
- ///// EM-EEF1.6-2C×2 + EM-EEF1.6-3C 107-ス (PF22)

但し、床・壁等の埋設部分はP F管にて保護する
露出する配管は金属管とする
分電盤より第1ボックスまでは、2.0とする

凡 例

	分電盤	
	ダウンライト	
	庭園灯	
	換気扇	機械工事
	自動点滅器	100V 3A
	熱線センサ付自動スイッチ	
	熱線センサ付自動スイッチ用操作ユニット	
	アウトレットボックス	
	天井隠ぺい埋込配管	
	床埋込配管	
	露出配管	
	地中埋込配管	




CV8'-2C (FEP30) 配管配線共撤去
(コンクリートカッターは本工事、アスファルト復旧は建築工事)

注記)
図中、特記なき配線は下記とする
—— VVF 2.0-2C
——//—— VVF 2.0-3C

注記なき図中の照明器具、配線を撤去する

手元開閉器 (撤去)
MCCB2P30A
WH函 x1

既設平面図

注記	月	日	工事名称	 株式会社 阿波設計事務所 三重支店 二級建築士 大田有知事 登録第 49243号 豊 田 昌	図面名称 既設撤去図				日付
	変更				電山公園庭球場便所新築工事	図面No.	幅尺	1:200	E / 0.6

工事名称 亀山公園庭球場便所新築工事 仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所 三重県 亀山市 西丸町 地内

2. 建物概要

建物名称	構造及び階数	延べ面積	消火用の適用	備考
公衆便所	木造、平屋建	66.41 m ²		

3. 工事種目

建物別及び箇所	工事種別	種別	種別
工率種目	屋内		屋外
○ 空調設備			
○ 換気設備	一式		
○ 排煙設備			
○ 衛生器具設備	一式		
○ 屋内給水設備	一式		
○ 屋外給水設備			一式
○ 屋内排水設備	一式		
○ 屋外排水設備			一式
○ 給湯設備			
○ 消火設備			
○ ガス設備			

4. 設備概要

方式及び種別	設備概要	要 (・ 本工事 ・ 既存)
○ 空調方式	・ 空気調和 ・ ダクト方式 ・ パッケージ方式 (マルチ方式) ・ ファンコイル方式	
○ 暖房方式	・ ダクト方式	
○ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ 空気式	
○ 給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高置水槽方式 ・ 圧カタンク方式 ・ 電気式 ・ ポンプ圧送方式	
○ 排水方式	○ 建物内汚水・雑排水 (○ 分流 ・ 合流) ○ 建物外放流汚水・雑排水-下排水 雨水	
○ 消火設備の種類	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 消火栓設備 ・ 消火器 ・ 室内ガス消火設備 ・ 屋外消火栓設備	
○ ガスの種類	・ 都市ガス (種類) ・ 液化石油ガス (発熱量: kcal/Nm ³) 12,000 kcal/kg	

II 特記仕様書

1. 共通仕様

特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁業務部監修の公共建築工事標準仕様書 (機械設備工率編) (最新版) 及び公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工率編) (最新版) 並びに国土交通省官庁業務部監修・環境課監修の公共建築設備工率標準仕様書 (機械設備工率編) (最新版) による。

2. 指定部分 無 有 対象部分

3. 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用する。

4. 工事仕様

1) 業は●印の付いたもの、項目は○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項のうち選択する事項は、●印の付いたものを適用する。

業	項目	特記事項
○ 一般共通事項	○ 1. 資材等	本工事に使用する資材等は、設備資材等指定表によるほか、同等品以上とする。 ただし、同等品以上のものとする場合は、総括監督員の承認を受ける。 ○ 2. 技能士の適用 ○ 3. 主任技術者の資格 ○ 4. 電気保安技術者の資格 ○ 5. 資材等の検査及び試験 ○ 6. 監督員事務所 ○ 7. 官公署への手続 ○ 8. 工事用電力・水 ○ 9. 工事用仮設物 ○ 10. 騒音の措置

1. 足場・さん積機

1.1. 積土処理

1.2. 埋め戻し土・盛土

1.4. 養生材の処理

1.5. 製作図・施工図

1.6. 見本等

1.7. 完成図・その他

1.8. 案内板

1.9. 総合調整

2. 電動機

2.1. 電動機

2.2. 電源周波数

2.3. 容量等々の表示

3. 耐震施工

設計用水平震度 (増倍係数は1.0とする)			
震度の区分	1階	2階床以上	塔屋・屋上
重要度の区分	地階		地上階
重要機器等	0.6	1.0 (1.3)	1.5 (2.0)
一般機器等	0.4	0.6	1.0

2. 弁の耐圧

3. 支持金物及び架台類

3.1. 防塵り金物及び防塵支持金物

3.2. 地中埋設機

3.3. 管溝接続の検査

3.4. 防食処置

3.5. 塗装

3.6. 吹き出しの色

3.7. 塗装

3.8. その他

3.9. はつり

3.10. 天井上区分

3.11. 他工事の取り合い

3.12. 配管の保温

3.13. 配管の防食

3.14. 配管の防振

3.15. 配管の防音

3.16. 配管の防熱

3.17. 配管の防湿

3.18. 配管の防虫

3.19. 配管の防鼠

3.20. 配管の防鳥

3.21. 配管の防蛇

3.22. 配管の防猫

3.23. 配管の防犬

3.24. 配管の防猴

3.25. 配管の防熊

3.26. 配管の防狼

3.27. 配管の防豹

3.28. 配管の防虎

3.29. 配管の防獅

3.30. 配管の防象

3.31. 配管の防犀

3.32. 配管の防龍

3.33. 配管の防鳳

3.34. 配管の防麟

3.35. 配管の防龜

3.36. 配管の防蛇

3.37. 配管の防蟻

3.38. 配管の防蜂

3.39. 配管の防蝶

3.40. 配管の防蛾

3.41. 配管の防蚊

3.42. 配管の防蚋

3.43. 配管の防蠅

3.44. 配管の防蛆

3.45. 配管の防蠍

3.46. 配管の防蜘蛛

3.47. 配管の防蜈蚣

3.48. 配管の防蠍

3.49. 配管の防蠍

3.50. 配管の防蠍

1. 設計温度

外気	屋内 (調整目標値)			
	一般系統	温水	冷却水	空調用冷水
夏季	18	18	18	18
冬季	18	18	18	18

2. パッケージ形空調機

3. 地下オイルタンク

4. ばいじん測定計

5. ばいじん濃度計

6. ダクト

7. チャンパー

8. 配管材料

9. 弁

10. 温度計

11. 測定器

12. 測定器

1. ダクト

2. チャンパー

3. チャンパー

4. その他

1. ダクト

2. 排煙口の形状

3. 排煙口開放装置

1. 浴槽ふた

2. 掃除機

3. 水石けん入れ

4. 水栓

5. 衛生器具等の色

1. 配管材料

2. 量水器

1. 引き込み給付金

2. 配管材料

3. 量水器

4. 量水機器

5. 水栓

6. 埋設表示テープ

7. 管の埋設深さ

1. ステンレス洗い

2. 配管材料

3. 試験

1. 放流納付金

2. 配管材料

3. 下水本管工事

1. 配管材料

2. 防食措置

3. 保温

1. 配管材料

2. 屋内消火栓箱

3. 屋内消火栓

4. 地中埋設機の検査

5. 消火器

1. 配管材料

2. ガスメーター

3. ガスポンペ

4. ガス漏れ警報器

5. 気密試験

6. その他

1. 放流納付金

2. 配管材料

3. 下水本管工事

1. 配管材料

2. 防食措置

3. 保温

1. 配管材料

2. 屋内消火栓箱

3. 屋内消火栓

4. 地中埋設機の検査

5. 消火器

1. 配管材料

2. ガスメーター

3. ガスポンペ

4. ガス漏れ警報器

5. 気密試験

6. その他

1. 放流納付金

2. 配管材料

3. 下水本管工事

1. 配管材料

2. 防食措置

3. 保温

1. 配管材料

2. 屋内消火栓箱

3. 屋内消火栓

4. 地中埋設機の検査

5. 消火器

1. 配管材料

2. ガスメーター

3. ガスポンペ

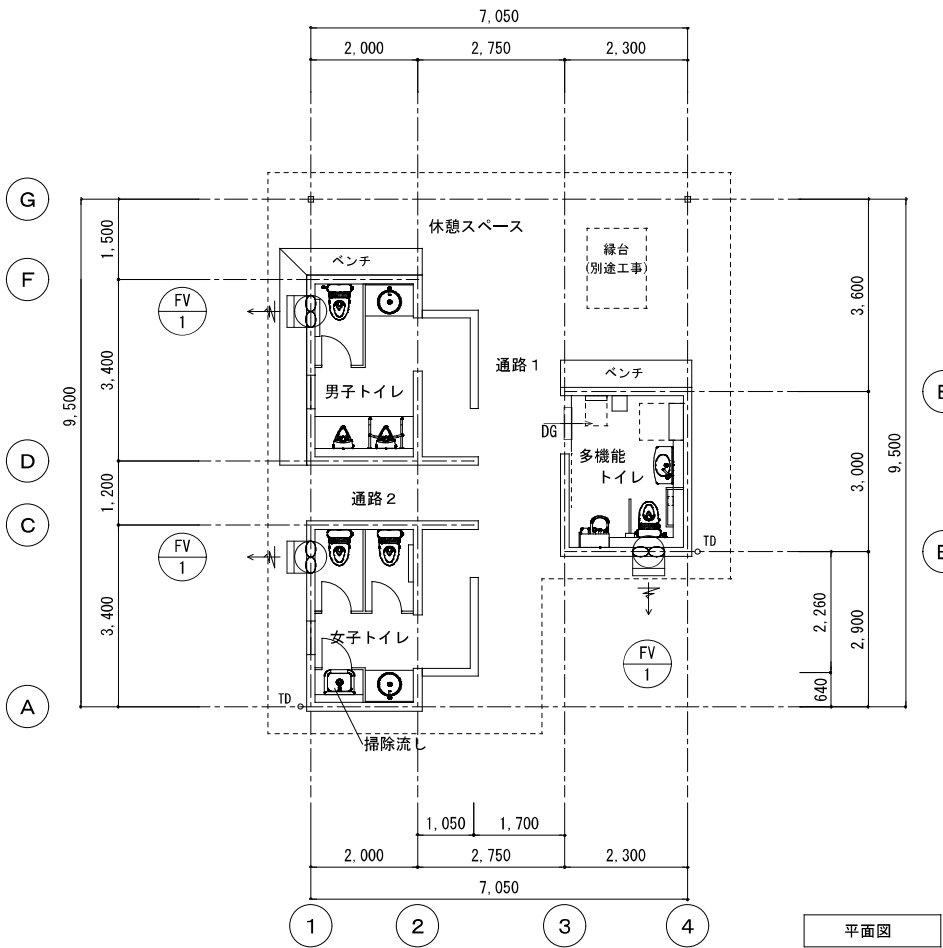
4. ガス漏れ警報器

5. 気密試験

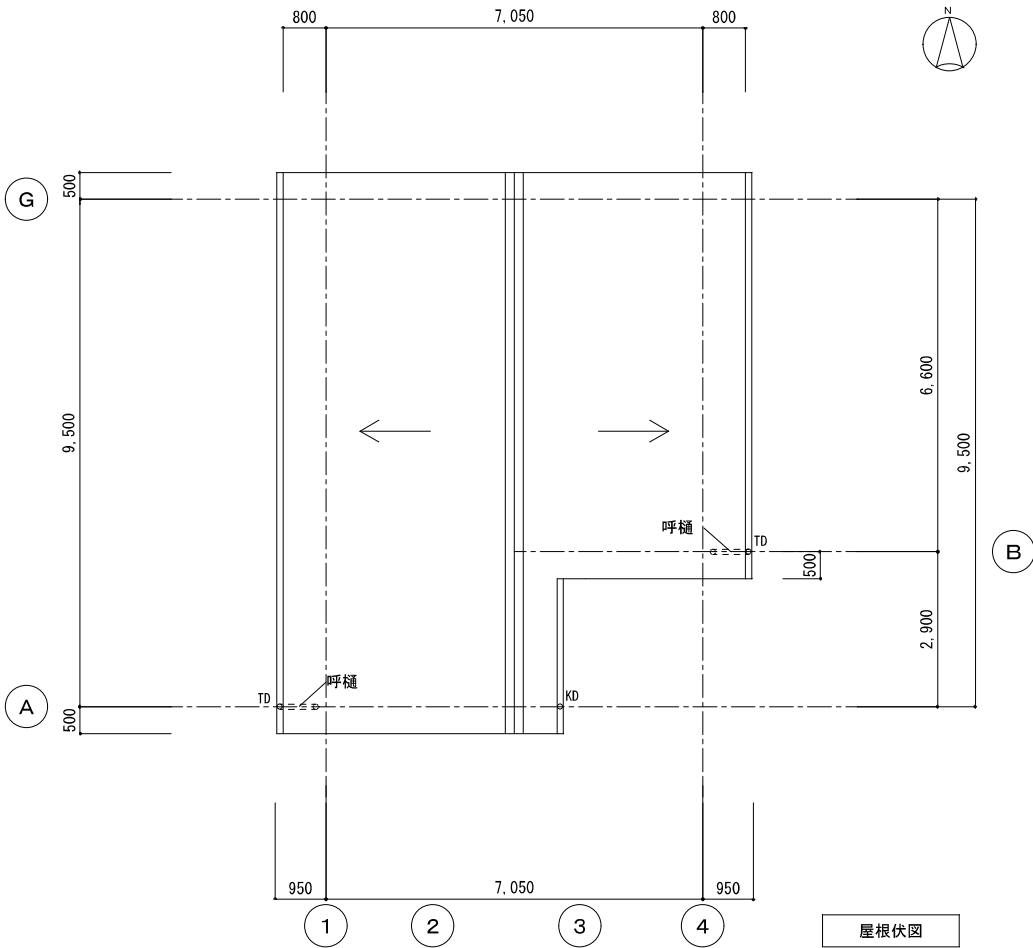
6. その他

機器一覧表 (換気)

記号	名称	形式	羽根径	風量	静圧	電気特性			防振	台数	設置場所	備考
						相	電圧	消費電力				
			m ² /h	Pa	φ	V	W					
FV-1	壁付換気扇	型式 格子タイプ	20cm	300		1	100	13.5		3	多機能トイレ	
		付属品 電動式シャッター、取付枠、防鳥網									女子トイレ	
		SUS製ウェザーカバー									男子トイレ	
共通事項 ※ 電源周波数は60HZとし、機器の動力は参考値とする。												



平面図



屋根伏図

注記

変更	月	日	内容

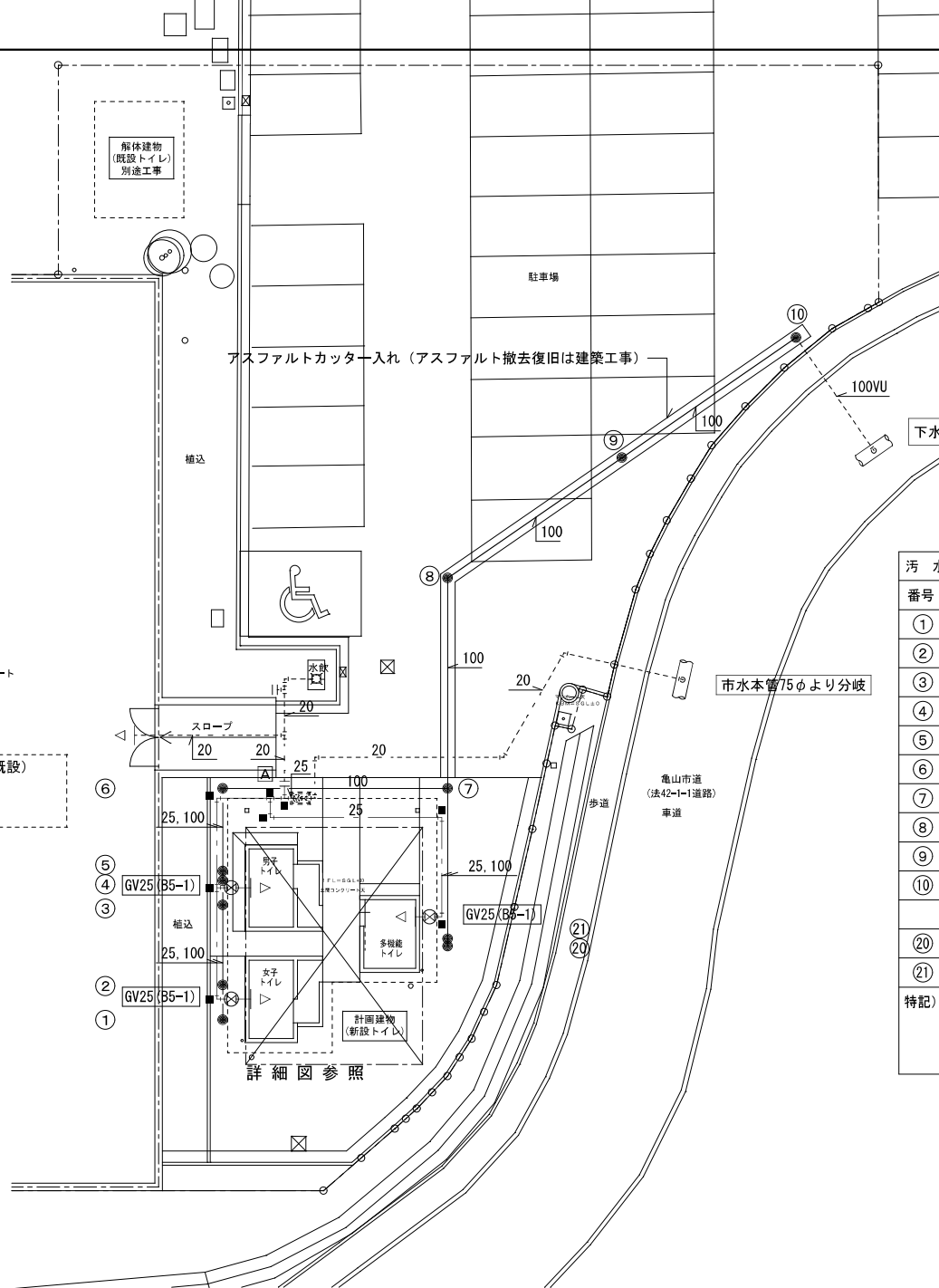
工事名称
 亀山公園庭球場便所新築工事


 株式会社 阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大原裕知事 登録第 49243号
 電話 059-222-1111

図面名称		図面No.	
換気設備	機器表、平面図		
枚数	製図	縮尺	1:100
			M/02

器 具 表				合計個数	屋外	男子トイレ	女子トイレ	多機能トイレ	備考
品名	JIS記号	参考品番 (上段:TOTO) (下段:LIXIL)	附属品・他						
洋風大便器	C1200S	CFS498BC	タンク SP498BAY、洗浄便座 TCF5830AUPS (AC100V:1,262W、蓋無し・金属製ベースプレート・擬音装置)、便器洗浄ユニット TCA347、排水ソケット HP498	3		1	2		
		BC-P110SM	タンク DQ-PA150CH、洗浄便座 CW-PA21LQE-NEC-R1 (AC100V、蓋無し)、強化ポルト 303-1009、分岐栓 CF-020-SET						
洋風大便器	C1200S	CFS498BC	タンク SP498BAY、洗浄便座 TCF5840AUPN (AC100V:1,260W、蓋無し・金属製ベースプレート)、排水ソケット HP498	1				1	
		BC-P110SM	タンク DQ-PA150CH、洗浄便座 CW-PC12QE-NECK (AC100V:1,300W、蓋無し)、分岐栓 CF-020-SET						
壁掛型自動洗浄小便器	U620	UFS900WR	自己発電、排水フランジ HP900D	2		2			
		U-A51MP	アクエナジー仕様						
コンパクトオストメイトパック		UAS81LSB1N	リモコン便器洗浄ユニット (AC 100V:30W)、電気温水器 (AC 100V:600W)、側板 UTR141	1				1	
		PTOM-B210S	電気温水器 (AC 100V:700W)						
洗面器 (カウンター式)		L530	立水栓 TLC11AR、床排水金具 TLDS2105J、ブラケット TL516GLR	2		1	1		
		L-2260	シングルレバー単水栓 LF-E02、床排水金具 LF-105SAL、ブラケット LF-625K、排水口カバー A-6224						
洗面器 (壁掛)	L410	L270C	自動水栓 TLE28SS1W (自己発電)、壁排水金具 TLDP2201J、取付金具 TL220D	1				1	
		L-275FCR	自動水栓 AM-300C (アクエナジー)、壁排水金具 LF-WN7PF、バックハンガー SF-10E、ホネジ KF-30DN						
横水栓	13-F12	T28AKUH13 LF-35G-13-CV	キー式、カップリング付	1				1	
掃除流し	S210	SK22A	横水栓 T23AEQ20C、床排水金具 T37SGEP、リムカバー TK22、アングル止水栓 TN114、バックハンガー T9R、樹脂プラグ HH04060×2、鎖付きゴム栓 TH403G	1				1	
		S-202A	横水栓 LF-7KEZ-19、床排水金具 SF-20SAF-P、バックハンガー SF-10E、給水ホース SF-202、鎖付きゴム栓 SF-20G						
紙巻器		建築工事							
化粧鏡		建築工事							
手摺 (L型)		建築工事							
手摺 (小便器用)		建築工事							
ベビーチェア		建築工事							
ベビーシート		建築工事							
フィッティングボード		建築工事							
洗面カウンター		建築工事							

凡 例											
記号	名称	材質	備考	記号	名称	材質	備考	記号	名称	材質	備考
---	給水管	硬質塩化ビニル(コ)鋼管	SGP-VB (一般) SGP-VD (土間)	○	給水栓			---	通気金物		SUS製
		ポリエチレン管	PP (土中)	◎	床排水トラップ			●	汚水樹		
	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP (一般) (土間)	⊙	床上掃除口			⊙	トラップ樹		
----	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP (一般) (土間)	⊗	バルブ		JIS 10Kg/cm ²	◆	埋設表示	鉄製(舗装部)	
VP	屋外排水管	硬質ポリ塩化ビニル管	VP					■	埋設表示	R C製(土壌部)	

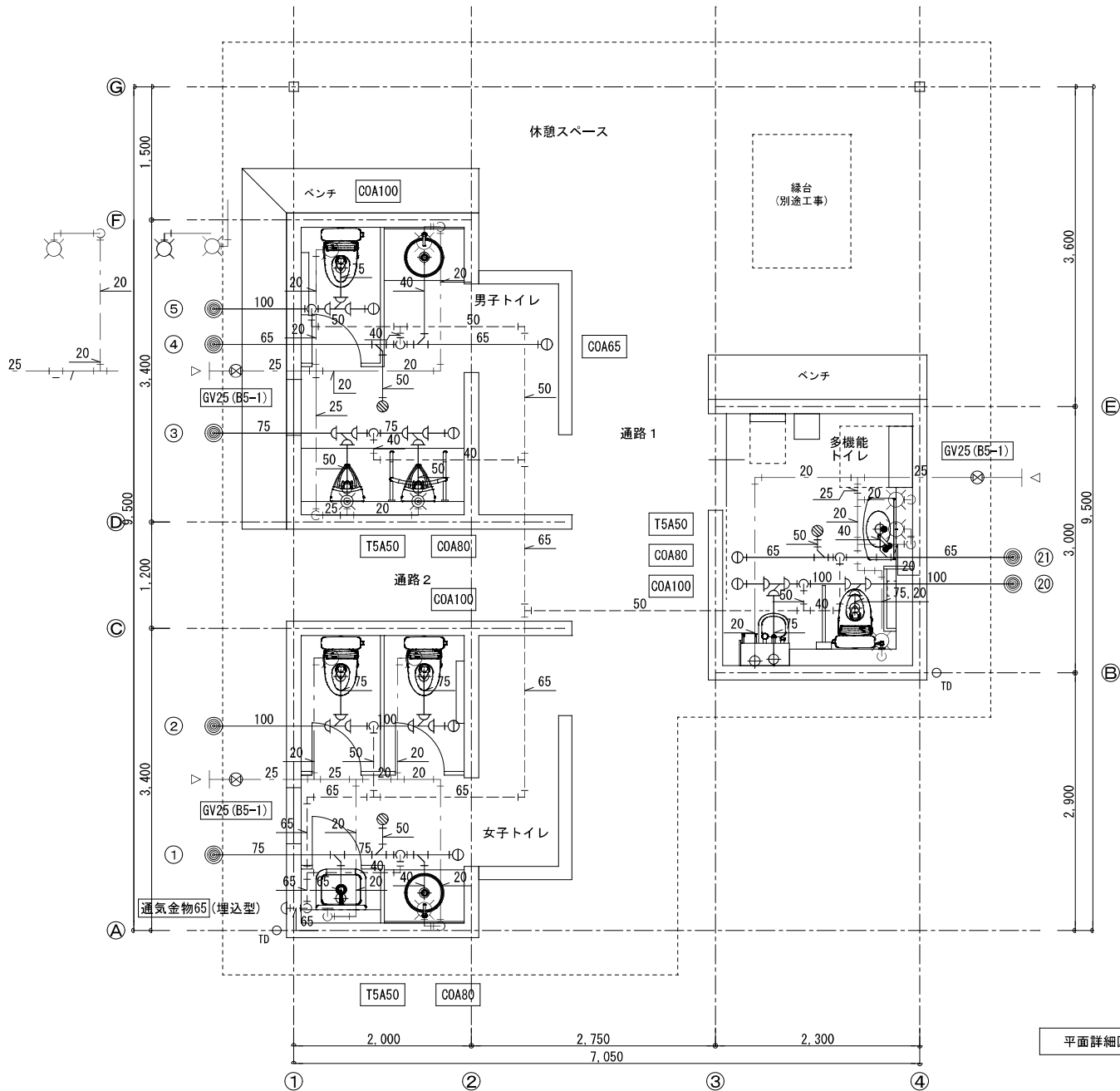


汚水樹リスト

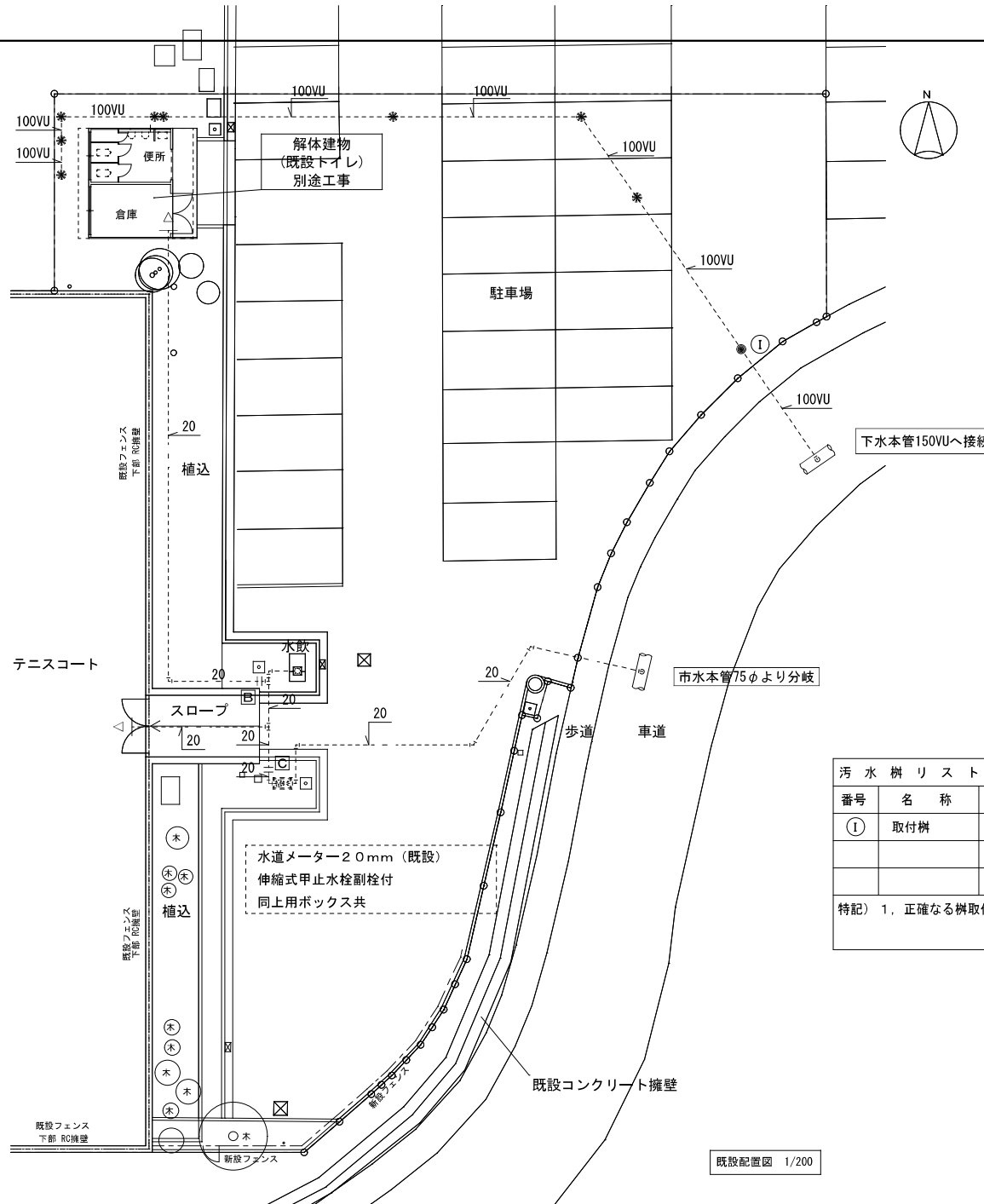
番号	名称	本体材質	樹径	管底	仕様	蓋
①	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-400	90° 曲がり100-200	塩ビ製200φ
②	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-415	90° 合流100-200	塩ビ製200φ
③	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-450	90° 合流100-200	塩ビ製200φ
④	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-460	90° 合流100-200	塩ビ製200φ
⑤	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-465	90° 合流100-200	塩ビ製200φ
⑥	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-500	90° 曲がり100-200	塩ビ製200φ
⑦	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-595	90° 合流100-200	塩ビ製200φ
⑧	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-685	45° 曲がり100-200	铸铁製防護蓋200φ
⑨	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-775	ストレート100-200	铸铁製防護蓋200φ
⑩	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-865	90° 曲がり100-200	铸铁製防護蓋200φ
⑳	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-520	90° 曲がり100-200	塩ビ製200φ
㉑	インパート樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-530	90° 合流100-200	塩ビ製200φ

特記) 1. 小口径樹の蓋は、ワンタッチ開閉密閉式とする。
 2. 铸铁防護蓋は、T-25仕様とする。
 3. 正確なる樹取付場所・深さは現場合わせとする。

- (注記)
1. 図中 ----- 表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中 ———— 表記は新設配管・器具を示す。
 3. [A] : 切断・接続を示す。
 4. [B] : 切断・プラグ止めを示す。
 5. [C] : 切断を示す。
 6. 既設現場を十分調査の上、支障ある箇所は監督職員と協議し本工事にて対処すること。



平面詳細図



汚水樹リスト(撤去)

番号	名称	本体材質	樹径	管底	仕様	蓋
①	取付樹	小口径塩ビ樹	200φ	GL-1.030	ストレート100-200	

特記) 1. 正確なる樹取付場所・深さは現場合わせとする。

- (注記)
1. 図中 ----- 表記は既存残置配管・器具を示す。
 2. 図中 ———— 表記は撤去配管・器具を示す。
 3. 図中 X X 表記は埋設し機器・配管を示す。
 4. [A] : 切断・接続を示す。
 5. [B] : 切断・プラグ止めを示す。
 6. [C] : 切断を示す。
 7. 既設現場を十分調査の上、支障ある箇所は監督職員と協議し本工事にて対処すること。

既設配置図 1/200

注記	用 日	工事名称
変更		電山公園庭球場便所新築工事

株式会社 阿波設計事務所 三重支店
 二級建築士 大田有知事 登録第 49243号
 備 品

図面名称	給排水衛生設備 既設配置図	日付	
図番No.		製図	
幅尺		縮尺	1:200
図面No.		製図	M/O 6